

令和5年度

岩手県立博物館

年報

岩手県立博物館令和5年度年報



特別展「ポケモン化石博物館」
令和5年12月19日（火）～令和6年3月3日（日）

目で見る岩手県立博物館この1年



トピック展 五月人形
令和5年4月7日（金）～5月30日（火）



テーマ展 新収蔵・新指定展Ⅱ 自然史編 展示解説会
令和5年4月23日（日）



トピック展 本県出身者初のプロ棋士誕生（将棋）
令和5年4月26日（水）～8月31日（木）



トピック展 県博ギャラリー 県博で5・7・5
令和5年5月1日（月）～6月8日（木）



トピック展 聴いてみよう♪音の出る昔の道具たち
令和5年5月2日（火）～5月4日（木・祝）



第85回自然観察会（滝沢市）
令和5年5月7日（日）



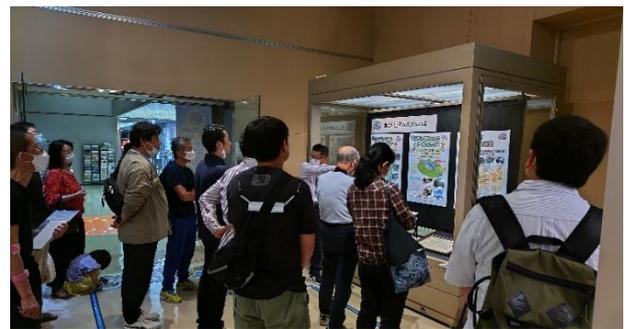
トピック展 北上市鳩岡崎遺跡
縄文中期の拠点集落（1）
令和5年5月13日（土）～10月9日（月）



文化財等取扱講習会（前期）
令和5年5月25日（木）～5月26日（金）



テーマ展 北上川上流五大ダム探検大作戦
令和5年6月10日（土）～8月20日（日）



テーマ展 北上川上流五大ダム探検大作戦
展示解説会
令和5年6月24日（土）



テーマ展 北上川上流五大ダム探検大作戦
関連日曜講座
令和5年6月25日（日）



トピック展
岩手と世界のカブトムシ・クワガタムシ
令和5年7月1日（土）～8月31日（木）



テーマ展 北上川上流五大ダム探検大作戦関連
自然観察会 四十四田ダムの森を探検！
令和5年7月2日（日）



第85回地質観察会（大船渡市）
令和5年7月2日（日）



トピック展 牧野富太郎先生からの手紙
令和5年7月9日(日)～8月20日(日)



第86回自然観察会(滝沢市)
令和5年7月17日(月・祝)



トピック展 昭和の娯楽 操り人形
(県立平館高校 博学連携事業)
令和5年8月1日(火)～



教員のための博物館の日
令和5年8月4日(金)～8月5日(土)



ナイトミュージアム
令和5年8月4日(金)～8月5日(土)



トピック展 むかしのあかり
令和5年8月4日(金)～10月25日(水)



民俗講座① たいけん! むかしの暮らし
令和5年8月19日(土)



博物館館園実習
令和5年8月17日(木)～8月24日(木)



トピック展 岩手県のコウモリ類
令和5年8月20日（日）～11月19日（日）



トピック展 県政150周年パネル展
令和5年8月22日（火）～10月5日（木）



テーマ展 早池峰山の花と森
令和5年9月23日（土）～12月3日（日）



トピック展 滑田鬼剣舞と庄ヶ畑さんさ踊り
令和5年9月23日（土）～10月7日（土）



県立博物館バーチャルツアー公開
令和5年9月23日（土）～



考古学セミナー 現地見学会（遠野市）
令和5年9月30日（土）



トピック展 むかしのくらし大図鑑（冬）
令和5年10月5日（木）～



トピック展 クモの巣
令和5年10月7日（土）～11月19日（日）



博物館まつり 滑田鬼剣舞
令和5年10月7日(土)



博物館まつり テーマ展 早池峰山の花と森
展示解説会
令和5年10月7日(土)



博物館まつり
たんけん! がんせきえん・しょくぶつえん
令和5年10月8日(日)



博物館まつり 早池峰ウォータードームづくり
令和5年10月8日(日)



博物館まつり
令和5年10月8日(日)



民俗講座② たいけん! むかしのくらし
令和5年10月22日(日)



文化講演会
令和5年11月3日(金・祝)



文化財等取扱講習会(後期)
令和5年11月16日(木)~11月17日(金)



特別展 ポケモン化石博物館
オープニングセレモニー・内覧会
令和5年12月18日（月）



文化財防火デー 消防訓練
令和6年1月26日（金）



トピック展 ひな人形
令和6年2月1日（木）～3月31日（日）



特別展 ポケモン化石博物館 来館3万人セレモニー
令和6年2月18日（日）



職場体験
令和6年2月20日（火）



館内調査研究報告会
令和6年2月26日（月）



テーマ展 ラグビーと岩手
令和6年3月23日（土）～5月19日（日）



テーマ展 ラグビーと岩手 展示解説会
令和6年3月24日（日）

目次

目で見る岩手県立博物館この1年	前付
1 沿革	3
2 施設の概要	
(1) 建築の概要	6
(2) 施設配置図・展示室等平面図	6
(3) 各室面積表	7
3 博物館協議会	8
4 予算	9
5 事業の概要	
(1) 展示活動	10
(2) 教育普及活動	24
(3) 調査研究活動	47
(4) 資料収集保管活動	56
(5) 総務企画調整	64
(6) 新型コロナウイルスへの対応について	70

6	被災文化財等再生活動	
(1)	はじめに	72
(2)	これまでと現在	72
(3)	今後の課題	73
7	「東北発 博物館・文化財等防災力向上プロジェクト」事業について	
(1)	はじめに	74
(2)	事業別成果報告	74
(3)	今後の展望	77
8	岩手県立博物館友の会	
(1)	概要	78
(2)	会員数	78
(3)	主催事業	78
9	博物館利用者入館状況	80
10	令和5年度公益財団法人岩手県文化振興事業団博物館組織	83
11	岩手県立博物館使命書	84
12	関係条例・規則等	85

1 沿革



- 昭和 48 年 4 月 県教育委員会事務局社会教育課に博物館準備係（3名）を設置
- 昭和 48 年 5 月 県庁内に副知事を委員長とし関係部長等を委員とする博物館調査委員会を設置
- 昭和 48 年 6 月 博物館資料調査委員（委員 22 名）を委嘱
- 昭和 48 年 7 月 民意集約機構として博物館建設調査協議会（委員 25 名）を設置
- 昭和 48 年 8 月 展示内容等の専門的指導助言を得るため、博物館専門委員会（委員 20 名）を設置
- 昭和 49 年 4 月 県教育委員会事務局に博物館開設準備室（庶務係、学芸班 10 名）を設置
- 昭和 50 年 5 月 博物館建設調査事務終了に伴い、引続き県立博物館建設委員会（委員 6 名）を設置
- 昭和 51 年 1 月 県立博物館の建設地を、盛岡市上田字松屋敷四十四田公園地内に決定
- 昭和 51 年 10 月 建設基本設計の委託を株式会社佐藤武夫設計事務所（東京都）に決定
- 昭和 52 年 4 月 博物館開設準備室を廃し、博物館建設事務所（総務課、学芸課、工務課、17 名）を設置
- 昭和 53 年 6 月 起工式
- 昭和 53 年 10 月 展示工事着手、民家の移築復元工事を財団法人文化財建造物保存技術協会に委託
- 昭和 54 年 11 月 定礎式
- 昭和 55 年 7 月 博物館条例公布、館の名称を岩手県立博物館 と決定
- 昭和 55 年 7 月 コンパニオン（非常勤専門職員 15 名）任用
- 昭和 55 年 10 月 岩手県立博物館設置
- 昭和 55 年 10 月 落成記念式典及びマイヨール作「三人の妖精」除幕式（4 日）
- 昭和 55 年 10 月 岩手県立博物館開館（5 日）
- 昭和 55 年 10 月 日本博物館協会、全国科学博物館協議会加盟
- 昭和 56 年 3 月 第 1 回岩手県立博物館協議会開催
- 昭和 59 年 10 月 皇太子同妃両殿下ご来館（14 日）
- 昭和 60 年 4 月 財団法人岩手県文化振興事業団発足、岩手県立博物館管理運営を委託
- 昭和 62 年 5 月 入館者 100 万人を突破（1 日）

平成 元年 3月 地質総合展示室改修完了
 平成 2年 5月 岩手県立博物館友の会設立（1日）
 平成 2年 7月 歴史古代展示室改修完了
 平成 2年 10月 開館10周年記念特別企画展「北の鉄文化」開催
 平成 3年 2月 入館者、県民人口を超える（14日）
 平成 3年 11月 入館者、150万人を達成（1日）
 平成 3年 12月 歴史中世展示室改修完了
 平成 4年 1月 コンパニオンを「解説員」に改称
 平成 5年 2月 秋篠宮同妃両殿下ご来館（5日）
 平成 5年 3月 現勢展示室イヌワシの山改修完了
 平成 5年 10月 国民文化祭いわて'93 記念展「じょうもん発信」開催
 平成 5年 10月 皇太子殿下ご夫妻ご来館（10日）
 平成 6年 1月 「中尊寺黄金秘宝展」開催
 平成 6年 12月 屋上改修工事完了
 平成 8年 4月 重要文化財勸告出品館となる
 平成 9年 12月 文化振興事業団10周年記念「柳之御所遺跡発掘調査展」開催
 平成 9年 2月 重要文化財公開承認施設となる
 平成 9年 7月 入館者、200万人を達成（16日）
 平成10年 1月 ハイビジョン室設置
 平成12年 3月 収蔵庫等改修工事完了
 平成12年 3月 企画展第50回目を迎える（「岩手の経塚」）
 平成12年 10月 開館20周年記念特別企画展「北の馬文化」開催
 平成13年 5月 近代美術展示閉鎖（美術館へ移管）
 平成14年 3月 マメンキサウルス（モシリユウ）全身骨格複製標本展示
 平成18年 4月 施設等の管理部門に「指定管理者制度」導入。（財）岩手県文化振興事業団が指定管理者となる
 平成21年 1月 入館者、250万人を達成（10日）
 平成21年 4月 （財）岩手県文化振興事業団が2期目の指定管理者となる
 平成22年 1月 外部階段改修工事完了
 平成22年 10月 開館30周年記念特別企画展「いわての漆」開催
 平成23年 3月 美化事業完了
 平成24年 4月 （公財）岩手県文化振興事業団が3期目の指定管理者となる
 平成24年 12月 秋篠宮同妃両殿下ご来館（20日）
 平成25年 1月 岩手県議会商工文教委員会現地調査（22日）
 平成26年 3月 文部科学大臣から科学研究費補助金規程に規定する研究機関に指定される（20日）
 平成26年 3月 仮設陸前高田市被災文化財等保存修復施設設置（建築面積115.22㎡、延床面積230.44㎡）
 平成26年 5月 仮設陸前高田市被災文化財等保存修復施設開所（可視化により一般公開）
 平成27年 1月 岩手県議会商工文教委員会現地調査（14日）
 平成27年 4月 （公財）岩手県文化振興事業団が4期目の指定管理者となる
 平成28年 1月 文化庁巡回展「発掘された日本列島2015」、特別展「海に生きた歴史」開催
 平成29年 3月 中央監視システム更新工事完了

平成 29 年 3 月 旧佐々木家・旧藤野家住宅保存修理（屋根）工事完了
平成 29 年 3 月 正面入口案内看板設置
平成 29 年 8 月 ボイラー更新工事完了
平成 30 年 2 月 岩手山眺望確保のための樹木剪定
平成 30 年 3 月 昇降機改修工事完了
平成 30 年 4 月 (公財)岩手県文化振興事業団が 5 期目の指定管理者となる
平成 30 年 12 月 マメンキサウルス補修工事完了
平成 31 年 1 月 不活性ガス消火設備更新工事完了
令和 元年 12 月 非常用発電機更新工事完了
令和 2 年 3 月 冷却塔更新工事完了
令和 2 年 10 月 開館 40 周年を迎える（新型コロナウイルス感染拡大により記念特別展延期）
令和 3 年 6 月 県立博物館 開館 40 周年記念特別展「みる！しる！わかる！三陸再発見」開催
（6 月 12 日～8 月 15 日）
令和 3 年 11 月 入館者、300 万人を達成（13 日）
令和 4 年 2 月 直流電源装置更新工事完了
令和 4 年 4 月 重要文化財旧藤野家住宅及び旧佐々木家住宅耐震補強工事完了（15 日）
令和 4 年 12 月 三陸ジオパーク推進協議会との連携協力に関する協定の締結（15 日）
令和 4 年 12 月 岩手県立博物館屋上防水改修工事完了（23 日）
令和 4 年 12 月 岩手県立博物館外構タイル改修工事完了（26 日）
令和 5 年 4 月 (公財)岩手県文化振興事業団が 6 期目の指定管理者となる
令和 5 年 10 月 岩手県立博物館トラックヤードシャッター更新工事完了（16 日）
令和 5 年 12 月 特別展「ポケモン化石博物館」開催（19 日～令和 6 年 3 月 3 日）

2 施設の概要

(1) 建築の概要

〈総工事費〉 44億3,000万円

〈工期〉 ●着工 昭和53年3月15日 ●完成 昭和55年9月30日

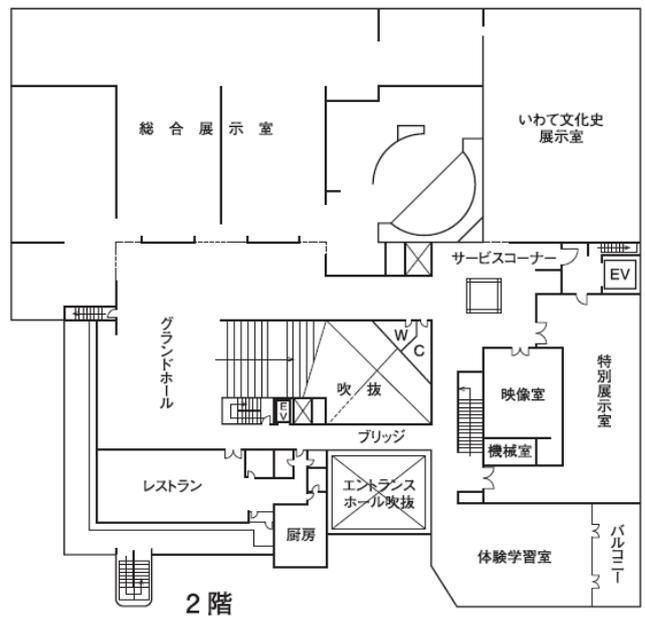
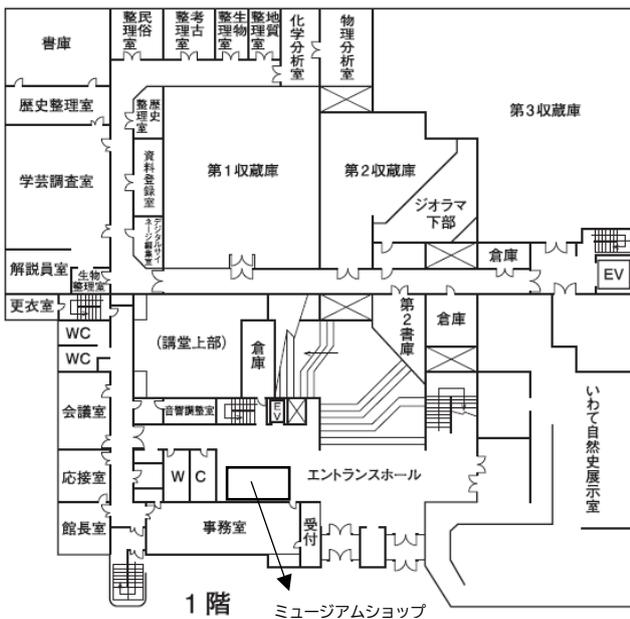
〈建築概要〉 ●敷地面積 53,112.78㎡ ●建築面積 5,192㎡ ●延床面積 12,051.56㎡

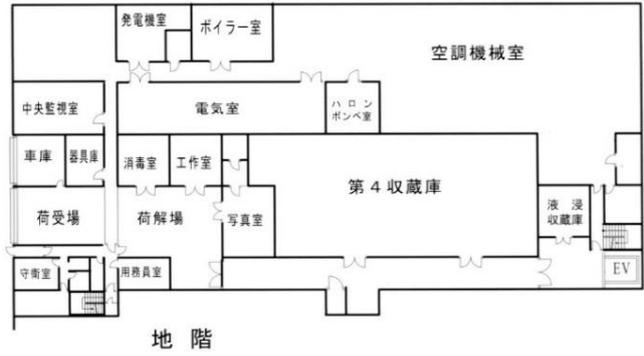
※仮設施設の面積等は含んでいない

(2) 施設配置図・展示室等平面図



駐車場面積		
第1駐車場	2,804.4㎡	普通車62台
第2駐車場	1,251㎡	普通車12台、大型バス14台
第3駐車場	410.9㎡	普通車8台
身障者等用駐車場	93.5㎡	普通車5台





(3) 各室面積表

部屋名	面積 (㎡)
空調機械室	766.09
発電機室	50.26
蓄電機室	9.71
ボイラー室	64.36
中央監視室	64.67
電話交換機室	8.89
電気室	142.54
ハロンポンベ室	37.86
消火栓ポンプ室	17.14
エレベーター機械室	20.52
第4収蔵庫	464.48
第5収蔵庫 (液浸)	39.72
エレベーターシャフト	18.24
車庫	38.33
器具庫	25.24
消毒室	37.86
工作室	35.90
暗室	11.91
作業室	4.06
写真室	52.94
荷受場	79.63
荷解場	113.75
用務員室	26.39
守衛室	18.00
宿直室	21.17
湯沸室	3.81
浴室	5.71
便所	6.75
タラップ室	6.75
フォークリフト置場	12.75
廊下・階段・その他	280.32
小計	2,485.75
いす保管庫	98.61
外部用倉庫	20.38
教室	81.07
準備室	22.83
実技室	115.66
便所	29.02
講堂	164.09
効果室	14.50
ホワイエ	68.29
タラップ室	5.14
廊下・その他	232.78
小計	852.37

部屋名	面積 (㎡)
いわて自然史展示室	729.27
パネル倉庫	35.56
風除室	3.21
受付	18.65
印刷室	8.50
事務室	116.01
館長室	43.33
応接室	41.40
会議室	64.23
倉庫	14.25
身障者便所	6.47
No.3 便所	43.85
No.2 便所	39.67
音響調整室	20.84
同上前室	10.28
予備室	32.07
ロッカー室	10.45
女子更衣室	20.55
学芸調査室	236.04
歴史整理室	59.21
書庫	113.36
民俗整理室	35.84
考古整理室	35.84
生物整理室	25.10
地質整理室	25.20
歴史整理室	35.43
第1資料登録室	21.90
化学分析室	41.66
物理分析室	53.94
デジタルサイネージ編集室	20.72
第1収蔵庫	365.15
第2収蔵庫	188.25
第3収蔵庫	608.38
倉庫	9.18
第2書庫	42.69
ジオラマ下部	119.13
グランドホール	133.19
ロビー1	101.79
ロビー2	35.84
階段・廊下・その他	888.10
小計	4,454.53

部屋名	面積 (㎡)
総合展示室	1,553.85
県土の誕生	102.35
いわての夜明け	187.60
いわてのあゆみ	743.20
庶民のくらし	210.00
いわての今	310.70
いわて文化史展示室	489.07
ミニプラザ (1)	210.42
ミニプラザ (2)	129.50
特別展示室	292.20
映像室	124.00
No.4 便所	30.11
体験学習室	217.17
厨房	54.93
休憩室	160.08
休憩室便所	10.98
厨房事務室	10.24
厨房便所	4.16
食品庫	6.90
グランドホール	213.66
階段・廊下・その他	618.20
小計	4,125.47
塔屋	133.44
合計	12,051.56

- 展示面積 3,404.31 ㎡
- 収蔵庫面積 1665.98 ㎡
- 学芸調査室 236.04 ㎡
- 研究室 274.91 ㎡

3 博物館協議会

岩手県立博物館協議会は、館長の諮問に応じ、博物館の運営に関し調査審議するとともに、館長に対して意見を述べる機関として設置されている。令和5年度の開催期日・協議事項は次のとおりである。

- 期日：令和6年2月20日（火）
- 場所：岩手県立博物館会議室
- 報告・協議事項
 - ・ 令和4年度 岩手県立博物館協議会の意見等への対応状況について
 - ・ 令和5年度 岩手県立博物館 事業実施状況について
 - ・ 岩手県立博物館中期計画について
 - ・ 令和6年度 岩手県立博物館 事業計画(案)について

岩手県立博物館協議会委員名簿

委員任期 令和5年6月23日～令和7年6月22日

公募委員任期 令和5年12月23日～令和7年12月22日

氏名	職	分野
阿部俊一	盛岡市立東松園小学校長	学校教育 県小学校長会
丸橋友之	盛岡市立上田中学校長	学校教育 県中学校長会
上柿剛	岩手県立盛岡第四高等学校長	学校教育 県高等学校長協会
桂川いづみ	岩手県青年団体協議会会員	社会教育
沼田けさ子	特定非営利法人 岩手県地域婦人団体協議会副会長	社会教育
向井隆	一般社団法人岩手県PTA連合会会長	学識経験者 県博物館等連絡協議会
福島茜	もりおか歴史文化館学芸員	学識経験者 県市町村教育委員会協議会
太田厚子	滝沢市教育委員会教育長	学識経験者 県立博物館友の会
細越千絵子	岩手県立博物館友の会会員	学識経験者
細田清	(株)岩手日報社論説委員会副委員長	学識経験者
松政正俊	岩手医科大学教授	学識経験者
齊藤邦雄	前公益財団法人岩手県文化振興事業団 埋蔵文化財センター所長	学識経験者
山本玲子	啄木研究家（元石川啄木記念館学芸員）	学識経験者
石川京子	盛岡ふるさとガイドの会副会長兼事務局長	学識経験者
松本勝徳	田老和心会特別養護老人ホーム ふれあい荘施設長	公募委員

(令和6年3月31日現在)

4 予算

(単位:千円)

項目	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
管理運営費	170,462							
総務企画調整費	5,243	3,759	4,172	3,945	3,782	5,317	4,471	3,984
展示活動費	11,673	10,074	7,090	10,826	8,115	3,949	7,443	6,619
資料収集保管活動費	40,319	29,894	27,599	21,846	21,983	22,817	20,911	21,109
調査研究活動費	7,273	7,326	7,585	7,276	7,304	7,556	6,921	6,703
教育普及活動費	1,987	1,633	1,683	1,798	1,558	1,616	1,664	1,770
業務管理費		37,699	34,282	34,155	33,251	32,439	32,122	32,529
指定管理者事業費		127,861	130,034	129,269	132,832	131,395	132,600	130,502
計	236,957	218,246	212,445	209,115	208,825	205,089	206,132	203,216

項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
総務企画調整費	3,807	3,442	3,882	3,401	3,380	3,328	3,152	4,082
展示活動費	6,811	7,589	9,686	11,321	8,262	6,198	10,095	16,253
資料収集保管活動費	21,446	19,911	20,086	18,304	18,951	18,342	31,125	37,095
調査研究活動費	6,611	5,956	4,986	3,438	3,428	3,460	3,339	3,936
教育普及活動費	1,515	1,295	1,275	444	454	507	493	471
業務管理費	33,880	35,950	36,277	34,449	34,735	32,085	41,130	43,448
指定管理者事業費	130,401	133,050	132,345	134,334	134,146	136,914	138,015	139,213
計	204,471	207,193	208,537	205,691	203,356	200,834	227,349	244,498

項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度
総務企画調整費	4,099	4,671	4,204
展示活動費	7,416	5,633	41,691
資料収集保管活動費	34,494	33,989	33,602
調査研究活動費	3,450	3,685	3,131
教育普及活動費	460	440	445
業務管理費	43,730	47,916	50,787
指定管理者事業費	137,271	139,290	141,891
計	213,351	235,624	275,751

- ※ 1 職員の人件費を除く。
- 2 予算は、いずれも各年度の当初予算であるが、平成27年度は特別展「近代へのとびら」展、平成28年度は特別展「スポーツ博覧会いわて」展開催に係る特別予算を加算した。
- 3 総務企画調整は平成17年度から項目を起こした。
- 4 平成18年度から、指定管理者制度が導入されたことにより業務管理費・指定管理者事業費の項目を起こした。
- 5 令和2年度・3年度予算のうち展示活動費には、40周年特別展の開催経費全体が含まれる(当該事業は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により2年度から3年度に延期となった。)
- 6 令和5年度は特別展「ポケモン化石博物館」展開催に係る特別予算を加算した。

5 事業の概要

(1) 展示活動

開館以来、県民の皆様からの寄贈資料や学芸員が自ら収集した資料をはじめ、入手困難なものについては購入等による資料収集活動を行ってきたが、令和5年度（2024年3月31日）までに収蔵されている博物館資料の総点数は、376,420点に及んでいる。その中でも、常設展示されるものはわずか2,000点に過ぎず、この他の資料は5つの収蔵庫に保管された状態となっている。これらについては、季節や年中行事にあわせた展示替え、トピック展示やコラム展示の際に活用し、より多くの県民の目に触れることが出来るよう心がけている。

総合展示室では、地質・考古・歴史・民俗・生物の各部門、いわて文化史展示室には民俗・歴史・考古に関連する人文系資料、いわて自然史展示室には、地質・生物など自然史に関する専門的な資料を展示している。この他に、2階グランドホールやミニプラザでトピック展示などを行うなど、展示の機会を増やすよう努力している。

「けんぱくものしりシート」は、展示品について当館解説員が分かりやすくA4判裏表で簡潔に説明した解説シートで（毎月発行）、バックナンバーも含めて引き合いが多い。「チャレンジ！はくぶつかん」は、当館学芸員が毎月作成するワークシート（展示に関するクイズ）を配布するもので、皆勤者（開催した全ての月に来館して解答）も多く、今年度は28名だった。

令和5年度の特別展示は、冬期に地質部門特別展「ポケモン化石博物館」を開催し、その他（予算規模の小さな）テーマ展として、前年度から継続して春期に、地質、生物部門「新収蔵・新指定展Ⅱ自然史編」、夏期に民俗部門「北上川上流五大ダム探検大作戦」、秋期に生物部門「早池峰山の花と森」、年度をまたいで継続する歴史部門「ラグビーといわて」を開催した。

「ポケモン化石博物館」展は、人気ゲーム『ポケットモンスター』シリーズに登場するカセキポケモンを入口とし、古生物学の理解を深めるとともに、これまで博物館に足を運んだことのない客層の来館契機を引き出すこと目的とした巡回展（国立科学博物館ほか主催）で、東北地方初開催であった。45,369人という、この三十年の展覧会で最大の来館者数を記録し、また来館者から「こんなに広く充実した博物館とは知らなかった」との感想が多数寄せられた。ただし、駐車場の狭さから（駐車場）予約制とせざるを得ず、反響の大きさをそのまま集客に結びつけることはできなかった（一部休日開館1時間延長して集客増を目指した）。また、途中から平日を予約なしで入館できるように変更したが、対象年齢が低い方が中心であることもあって、学校が休みでない日には、それほど集客は伸びなかった。それでも、雪国の冬期開催としてケガや混乱や大きな苦情もなく無事終了できたのは特筆すべきことであろう。なお、主にいわて自然史展示室を改変して開催し、会期中グッズコーナー等で体験学習室、映像室、講堂を閉鎖した。

北上川上流域に建設された「五つの多目的ダム」が令和3年に土木学会選奨土木遺産に認定されたことを受けて、国土交通省北上川ダム統合管理事務所と共催した「北上川上流五大ダム探検大作戦」は、関連イベント満載で、各管理事務所運営による御所ダム、四十四田ダムバックヤードツアー、「四十四田ダムのお仕事体験」（パトロールおよび水質調査）、当館運営の「四十四田ダムの森を探検！」

（ダム周辺に生息する生きもの観察）、館内でも、「博物館で楽しむ♪ダム探検」（こどもを対象としたスタンプラリーで、先着50名の景品付）、「ダムができるまですごろく」、記念撮影コーナーとしてダム周辺の虫擬人化パネル3体を展示、限定500枚でダムカードを配布、喫茶ひだまりでは有料・数限

定でダムカレー（特別ランチョンマット付き）も提供した。当館は四十四田ダムに隣接し、平成 25 年から令和 3 年度まで北上川水源地域ビジョン推進会議と連携して講演会「北上川水源地域セミナー」を開催してきた。

トピック展（僅かな展示ケースの小規模な展覧会）では、NHK の連続テレビ小説「らんまん」にちなんで「牧野富太郎先生からの手紙」展を開催し、好評であった。将棋の小山怜央四段を紹介した「本県出身者初のプロ棋士誕生」展もである。岩手県文化ふるさと振興部ふるさと振興企画室の要請により、「県政 150 周年記念パネル展」として、当館 2 階ミニプラザにて振興企画室保有のパネルと当館蔵の明治時代夜会ドレス 2 着を展示した。

博学連携関連トピック展「昭和の娯楽操り人形」は、県立平舘高等学校との博学連携事業の一環として展示実習を行ったものである。平舘高校家政科学科（被服選択者）には、平成 27 年度から当館体験学習室の衣装の修繕に御協力いただいている。

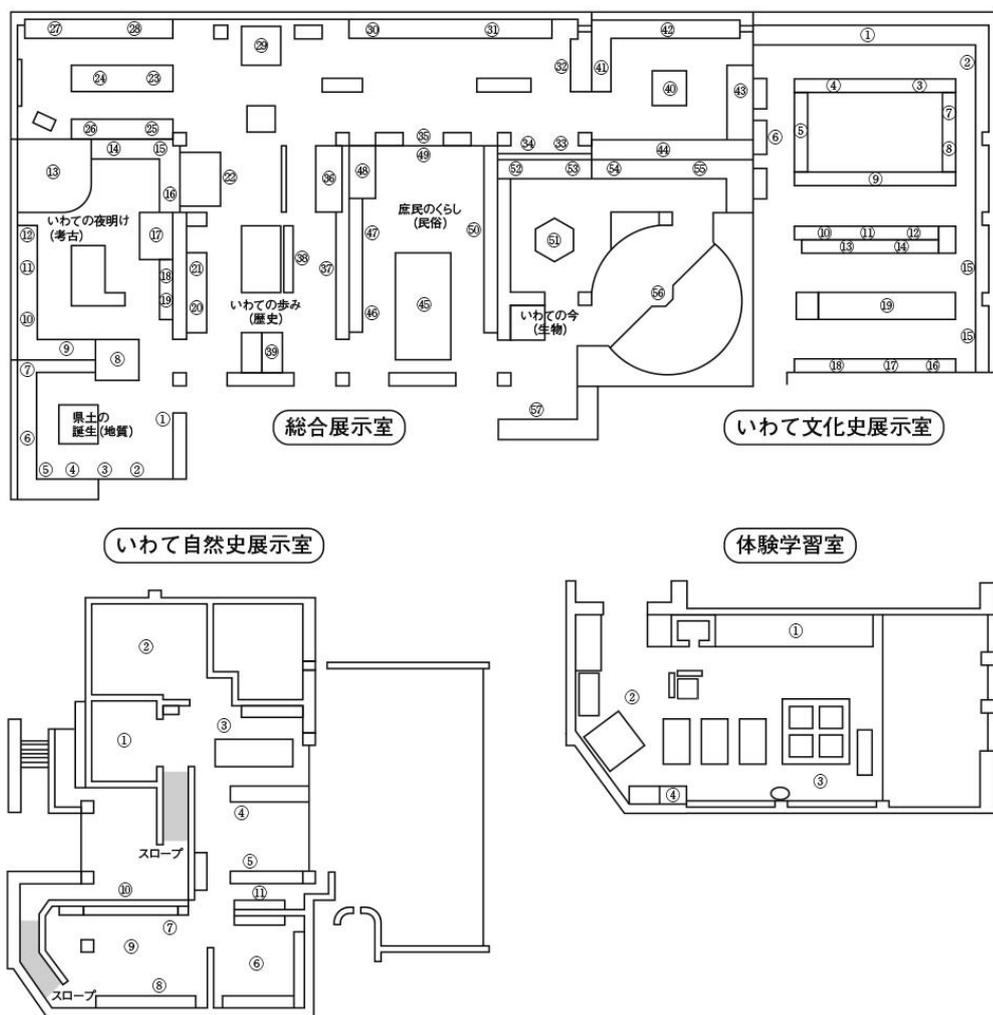


図 5. (1)-1 展示室配置図

ア. 展示構成

エントランスホール

- ・兜跋毘沙門天立像
- ・モシリユウとマメンキサウルス
- ・岩手山の眺望

総合展示室

● 県土の誕生(地質)

- 1 県土のおいたち
 - (1) 東北地方の地下断面
 - (2) 気仙隕石
 - (3) 岩手県の地質と岩石
- 2 いわたの古生物相の変遷
 - (4) 生命史以前
 - (5) 古生代の生きもの
 - (6) 中生代の生きもの
 - (7) 古第三紀～新第三紀の生きもの
 - (8) 鮮新世～第四紀の生きもの

● いわたの夜明け(考古)

- 3 旧石器時代
 - (9) 氷河期の人びと
- 4 土器の時代
 - (10) 岩手の縄文土器
 - (11) 貝塚の形成
 - (12) 埋葬と装飾品
 - (13) 縄文人の暮らし
 - (14) 大洞文化
- 5 稲作を始めた時代
 - (15) 弥生文化と岩手
- 6 古墳を築いた時代
 - (16) 拓かれる北上平野
 - (17) 群集墳
 - (18) 集落と住居
 - (19) 生産技術の変革

● いわたの歩み(歴史)

- 7 蝦夷から奥州藤原氏へ(古代)
 - (20) 古代の城柵
 - (21) 安倍氏の台頭
 - (22) 奥州平泉とその文化
- 8 戦乱の時代とその文化(中世)
 - (23) 文治五年奥州合戦
 - (24) 豪族たちの動きと庶民
 - (25) 新しい仏教文化
 - (26) 九戸政実の乱
- 9 藩制時代の人々(近世)
 - (27) 藩政の確立
 - (28) 凶作と一揆
 - (29) 盛岡城と町づくり
 - (30) 産金と製鉄

- (31) 南部と馬
- (32) 街道と舟運
- (33) 藩学と寺子屋
- (34) 先駆者たち
- (35) 維新前夜

10 進む近代化(近代)

- (36) 生活の洋風化
- (37) 岩手県の誕生
- (38) 明治時代から大正時代へ
- (39) 太平洋戦争

11 古美術

- (40) 鐺
- (41) 絵画・工芸
- (42) 刀剣
- (43) 絵画・工芸
- (44) 絵画

● 庶民の暮らし(民俗)

- 12 家の暮らし
 - (45) いろり
 - (46) 正月の行事
 - (47) 庶民の信仰
- 13 働く人びと
 - (48) 農村の人びと
 - (49) 漁村の人びと
 - (50) 山村の人びと

14 まつりと芸能

● いわたの今(現勢・生物)

- 15 わたしたちの郷土いわた
 - (51) 岩手県地形模型
 - (52) 岩手の四季
 - (53) 県の鳥・木・花
- 16 恵まれた自然
 - (54) 岩手の風土
 - (55) 山や川の生き物
 - (56) イヌワシの山
 - (57) 豊かな海

いわて自然史展示室

- (1) 大地の中の小さな輝き—鉱物コレクション—
- (2) 地球史の中の岩手の自然
- (3) 海にもどって大進化
- (4) 海の哺乳類
- (5) 空に向かって大進化
- (6) 水辺の生きもの
- (7) 日本のキツツキと希少な鳥獣
- (8) 早池峰山の自然
- (9) 大空の覇者ワシ・タカの世界

- (10) 写真でみる岩手の自然
- (11) 東日本大震災と被災文化財等救援活動

いわて文化史展示室

考古

- (1) 岩手の土器
- (2) 北上山系の洞穴遺跡
- (3) 岩手の石器と鉄器
- (4) 三陸の貝塚
- (5) 豊岡遺跡
- (6) 柳之御所遺跡

歴史

- (7) 近代
- (8) 災害の歴史
- (9) 信仰
- (10) 近世
- (11) 教育の歴史
- (12) 貨幣の歴史

民俗

- (13) 森口多里コレクション
- (14) オンシラサマ
絹と麻・いわての養蚕
- (15) いわたの暮らし
- (16) いわたの民芸
- (17) 郷土料理
- (18) 南部絵巻
- (19) むかしの暮らし大図鑑

体験学習室

- (1) 身につける
鎧、夜会服、野良着等
- (2) ためす
虫の鳴き声ボックス、機織等
- (3) あそぶ
かるた、板がえし等
- (4) よむ

屋外展示

民家

- ・直屋 旧藤野家住宅(重文)
奥州市江刺伊手御堂
- ・曲屋 旧佐々木家住宅(重文)
下閉伊郡岩泉町指畑

散策広場

- ・植物園
県内の植物等 345 種
- ・岩石園
火山岩、変成岩、堆積岩 49 種

イ. 常設展示の展示替え及び展示コーナー

長期間の展示による資料の劣化・退色防止、および季節や年中行事などにあわせた展示とするため、常設展示では不定期に展示替えを行っている。さらに、特別展やテーマ展に間接的に関わる資料や、夏休み・冬休みを主体として子供向けの資料をトピック展示した。

令和5年度は、比較的規模の大きいトピック展として、岩手県文化ふるさと振興部ふるさと振興企画室の要請により、「県政150周年記念パネル展」を開催し、当館2階ミニプラザにて振興企画室保有のパネルと当館蔵の明治時代夜会ドレス2着を展示して、ドレスが好評だった。

表5. (1)-1 令和5年度的主要な展示替え・トピック展

No.	担当	展示場所	種別	テーマ	展示資料	期日
1	民俗 (近藤)	総合展示室 (庶民のくらし)	トピック 展	五月人形	武者人形、土人形、陶 器人形ほか	4.7～5.30
2	生物 (鈴木)	いわて自然史展示室	トピック 展	対策が必要な外来 植物	写真パネル	4.9～6.30
3	歴史 (村田)	いわて文化史展示室	トピック 展	本県出身者初のプロ 棋士誕生(将棋)	小山怜央四段紹介パ ネル、四段愛用品 (盤、駒、扇子、書籍 ほか)	4.26～8.31
4	歴史 (村田)	いわて文化史展示室	展示替え	将棋の伝来と広ま り、棋書(近世)の 紹介	解説パネル、写真パ ネル、近世棋書(刊 本、写本)	4.26～8.31
5	民俗 (川向)	いわて文化史展示室 (むかしの暮らし大図鑑)	展示替え	夏の道具	扇風機、蠅取り器、氷削 器、ホーロー看板ほ か	4.28～10.4
6	三課 (近藤)	グランドホール	トピック 展	県博ギャラリー 県博で5・7・5	春の吟行句会作品展 示	5.1～6.8
7	民俗 (近藤)	グランドホール	トピック 展	聴いてみよう♪音 の出る昔の道具た ち	蓄音機、オルガニー ト、獅子頭ほか	5.2～5.4
8	考古 (高木)	いわて文化史展示室	トピック 展	北上市鳩岡崎遺跡 縄文中期の拠点集 落(1)	縄文土器、写真パネ ル	5.13～10.9
9	歴史 (目時)	総合展示室 (いわての歩み)	展示替え	義経公の東下り	東鑑、義経記	5.16～
10	歴史 (目時)	総合展示室 (いわての歩み)	展示替え	安倍氏の台頭	八幡太郎義家公奥州 安倍之貞任征伐之図	6.6～
11	歴史 (目時)	総合展示室 (いわての歩み)	展示替え	新型コロナウイルス 感染症関連資料	アマビエ関連資料、 岩手日報、ワクチン 接種関連資料ほか	6.6～
12	各部門	総合展示室・いわて文化史展 示室・いわて自然史展示室	トピック 展	北上川上流五大ダ ム探検大作戦	テーマ展関連資料等 紹介パネルほか	6.10～8.20
13	生物 (渡辺)	いわて自然史展示室	トピック 展	岩手と世界のカブ トムシ・クワガタ ムシ	岩手県産カブトム シ、クワガタムシ各 全種(15種)及び海 外産74種の標本	7.1～8.31
14	生物 (鈴木)	いわて自然史展示室	トピック 展	牧野富太郎先生か らの手紙	牧野から三上信夫氏 への書簡、関係書籍、 写真パネルほか	7.9～8.20
15	生物 (渡辺)	いわて自然史展示室	トピック 展	岩手の蝶	県産の蝶標本	7.15～
16	民俗 (戸根)	いわて文化史展示室	展示替え	いわてのユネスコ 無形文化遺産・世 界遺産	無形文化遺産・世界 遺産紹介パネル	7.30～
17	三課 (米田)	いわて文化史展示室	トピック 展	昭和の娯楽 操り 人形	操り人形、小道具、背 景画	8.1～
18	民俗 (戸根)	総合展示室 (庶民のくらし)	トピック 展	むかしのあかり	松明、灯明台、燭台、 提灯ほか	8.4～10.25
19	歴史 (村田)	総合展示室(古美術)	展示替え	山水図～川口月嶺 とその門人～	山水図(掛軸)	8.19～

No.	担当	展示場所	種別	テーマ	展示資料	期日
20	生物 (高橋)	いわて自然史展示室	トピック 展	岩手県のコウモリ 類	コウモリ類仮剥製 16 種と生態写真	8.20～11.19
21	三課 (工藤・ 米田)	ミニプラザ	トピック 展	県政 150 周年記念 パネル展	県政紹介 A0 サイズパ ネル	8.22～10.5
22	考古 (金子)	総合展示室 (いわての夜明け)	トピック 展	抜歯 (なーちゃん)	解説パネル 1 枚のみ	8.22～
23	歴史 (工藤)	いわて文化史展示室	トピック 展	県博書画コレクシ ョン	書画	9.15～
24	歴史 (工藤)	総合展示室 (いわての歩み)	展示替え	源勝寺銅造観音菩 薩立像 秋のお披 露目	銅造観音菩薩立像	9.20～9.26
25	民俗 (川向)	ミニプラザ	トピック 展	滑田鬼剣舞と庄ケ 畑さんさ踊り	滑田鬼剣舞の幡、パ ネル	9.23～10.7
26	民俗 (近藤)	いわて文化史展示室 (むかしの暮らし大図鑑)	展示替え	冬の道具	長火鉢、ゆたんぼな ど	10.5～
27	生物 (渡辺)	いわて自然史展示室	トピック 展	クモの巣	9 種のクモの液浸標 本と巣 (網) 標本	10.7～11.19
28	考古 (金子)	いわて文化史展示室	トピック 展	鳩岡崎遺跡の土偶	縄文土偶、パネル	10.12～
29	歴史 (村田)	総合展示室 (古美術)	展示替え	郷土の鐺入れ替え	鐺	10.31～
30	三課 (米田)	ミニプラザ	トピック 展	体験学習室資料展	ハンズオン資料	12.10～3.31
31	歴史 (工藤)	総合展示室 (いわての歩み)	展示替え	一時撤去 (資料貸 出しのため)		12.25～3.31
32	民俗 (近藤)	総合展示室 (庶民の暮らし)	トピック 展	ひな人形	くくり雛、土人形ほ か	2.1～3.31
33	歴史 (工藤)	総合展示室 (いわての歩み)	展示替え	源勝寺銅造観音菩 薩立像 春のお披 露目	銅造観音菩薩立像	3.17～23
34	民俗 (近藤・ 戸根)	ミニプラザ	トピック 展	あ・そ・ぶ	かりうちキット、『和 漢三才図絵』、当館所 蔵玩具資料 ほか	3.28～5.19 (予定)

※平成 24 年度から各部門 4 回以上のトピック展・展示替えの実施を努力目標としている。令和 5 年度は 22 回のトピック展、12 回の展示替えを行った。

ウ. 特別展示の概要

予定どおり、下記の特別展、テーマ展等を実施することができた。

表 5. (1) - 2 令和 5 年度の特別展示

種別	名称	会期	会期中の 来場者数
テーマ展	「新収蔵・新指定展Ⅱ 自然史編」	令和 5 年 3 月 25 日 (土)～5 月 7 日 (日)	3,988 (4/1～)
テーマ展	「北上川上流五大ダム探検大作戦」	令和 5 年 6 月 10 日 (土)～8 月 20 日 (日)	10,324
テーマ展	「早池峰山の花と森」	令和 5 年 9 月 23 日 (土)～12 月 3 日 (日)	7,925
特別展	「ポケモン化石博物館」	令和 5 年 12 月 19 日 (火)～令和 6 年 3 月 3 日 (日)	45,369
テーマ展	「ラグビーといわて」	令和 6 年 3 月 23 日 (土)～5 月 19 日 (日)	842 (3/31 時点)

展覧会実施日数：232 日／開館日 306 日

展覧会会期中の来場者数：68,448 名

(ア) テーマ展「新収蔵・新指定展Ⅱ自然史編～2018年度からの新コレクション～」

平成30(2018)年度以降、当館では約50,000点の資料が新たな岩手県の資産として登録された。そのうちの約38,000点が、生物・地質部門で新たに登録された資料である。新種の可能性が期待される岩手県産アンモナイト化石や理科教育の歴史を物語る教材資料など、貴重かつバラエティーに富んだ展示になった。



図5. (1) -2 展覧会ポスター

会 期：令和5年3月25日(土)～5月7日(日)
開催日数 39日
会 場：特別展示室・ミニプラザ
会期中の来場者数：4,879名(4月1日～ 3,988名)

[展示内容]

展示構成(展示資料327点【写真パネル含む】)

生物部門(展示資料164点)

剥製(オオフウチョウ、キジ×ヤマドリ交雑個体、クロコシジロウミツバメ 他)

昆虫(チョウセンアカシジミ青山之也コレクション、市川杜夫コレクション 他)

水沢農業高等学校旧蔵資料(教育掛図「麒麟」、蚕体解剖模型 他)

新指定天然記念物(折爪岳のヒメボタル生息地、上琴畑湿原)

地質部門(展示資料163点)

岩手大学工学部旧蔵標本(レプトフリーアム ロンビカム、レピドストロブスの一種 他)

トンネルの岩石(粘板岩、蛇紋岩、チャート 他)、南極片麻岩、クルミ化石

五井コレクション(メタセコイア、ハリギリの一種、ハンノキの一種 他)

小守コレクション(テトラゴニテス フレネンシス、フレニテスの一種 他)

[関連事業]

(1) 日曜講座

①令和5年4月9日(日) 13:30～15:00 講堂 参加者39名

演題：「剥製から生まれる鳥類学」

講師：高橋 雅雄(当館専門学芸調査員)

②令和5年4月23日(日) 13:30～15:00 講堂 参加者52名

演題：「生命史をひも解く白亜紀(後編)」

講師：望月 貴史(当館専門学芸員)

(2) 展示解説会(計2回) 各回15:00～16:00 特別展示室

①令和5年3月26日(日) 参加者30名

②令和5年4月23日(日) 参加者27名

[印刷物]

ポスター B2判 カラー印刷 500部

リーフレット A4判 両面カラー印刷 12,000部

(イ) テーマ展「北上川上流五大ダム探検大作戦」



図 5. (1) -3 展覧会ポスター

岩手県内には 53 ヶ所のダムがあり、洪水調節が目的のダムが半数を占め、他は発電や灌漑などが目的で建設されている。また、国内においても 3,000 基を超えるダムがあり、ダムが建設されていない都道府県はない。ダムは生活用水、工業用水、灌漑、発電、治水など日常生活と切っても切り離せないほどに身近でありながらあまり知られていない面も多くある。

本展覧会では、北上川上流の五大ダムを中心に、ダムそのもののしくみ、ダム建設技術の発展に尽くした先人たちの足跡、ダムの維持管理、五大ダムの治水効果や活用などについて紹介した。

会 期：令和 5 年 6 月 10 日（土）～8 月 20 日（日）

開催日数 65 日

会 場：特別展示室・ミニプラザ・グランドホール

会期中の来場者数：10,324 人

共 催：国土交通省東北地方整備局北上川ダム統合管理事務所

〔展示内容〕

北上川上流五大ダムとは

県内のダム分布、土木学会選奨の土木遺産に認定（2021 年）された、北上川上流五大ダム（田瀬ダム・石淵ダム・湯田ダム・四十四田ダム・御所ダム）について、その位置や役割について紹介した。

＜主な資料＞土木学会選奨土木遺産認定書、土木学会選奨土木遺産銘板

ダムとは

各五大ダムの 3D 模型を展示し、ダムの型式・構造・仕組みなどについて紹介した。

＜主な資料＞各五大ダム 3D 模型、五大ダム建設当時写真パネル

北上川上流五大ダムと岩手県の歩み

昭和 10 年から令和 3 年における「北上川五大ダムと岩手県の歩み」を年表で示し、各ダムの建設当時の写真パネルとともに紹介した。

＜主な資料＞田瀬ダム・猿ヶ石堰堤定礎式・コンクリート打込式（昭和 17 年）写真パネル、湯田ダム・堤体コンクリート進捗状況（昭和 34 年～39 年）写真パネルほか

五大ダムを知ろう

各五大ダムの建設現場写真や工事記録、設計図や湯田ダム・田瀬ダムのジオラマなどを展示し、どのような技術で建設されたのかについて紹介した。

＜主な資料＞田瀬ダム・建設現場写真集（堤体建設工事写真）、四十四田ダム・アース堤体建設工事完成図面綴、御所ダム・代表地質標本、石淵ダム・大型電気ショベル組み立て図ほか

ダム建設と遺跡調査

五大ダムのうち関連遺跡発掘調査が行われた御所ダムと胆沢ダムの建設に伴う調査内容を紹介した。

＜主な資料＞御所ダム：塩ヶ森Ⅰ遺跡 板状土偶、繫Ⅴ遺跡 縄文土器、下猿田Ⅱ遺跡 陶磁器
胆沢ダム：下嵐江Ⅰ・Ⅱ遺跡 石器接合資料、大清水上遺跡 土玉ほか

北上川と人の歴史

ここでは、近世以降の新田開発にともなう堰や堤の設置、舟運（船を利用した交通や物の輸送）、江

戸時代以降描かれた北上川の様子など、北上川と人々の関わりの歴史を紹介することとした。

<主な資料>「盛岡城下鳥瞰図」川井鶴亭 画、小繰舟模型、艀舟模型、千石舟模型ほか
ダムができる前の暮らし

五大ダム建設にあたって水没集落への補償問題がどのように進められたのかについて工事誌記録などを手掛かりにまとめ、紹介した。

<主な資料>田瀬ダム・水没関係記録（水没地区の民家等・建物）写真・地図、記録映画「田瀬ダム」（建設省東北地方整備局制作、57分モノクロ、1954年頃）ほか

ダム周辺の生き物たち

五大ダムや北上川周辺の生き物について、標本を展示し紹介した。また、四十四田ダム貯水池で集団繁殖するカワウについて調査結果も紹介した。

<主な資料>昆虫標本、鳥類標本、魚類樹脂標本ほか

五大ダムの治水効果を見てみよう

ダムによる洪水調節の機能や治水効果について北上川ダム統管理事務所監修による具体的な事例やデータをパネルで紹介した。

暮らしに利用されているダム

五大ダムの利水について、発電、灌漑用水、上水道・工業用水それぞれについて説明した。

<主な資料>盛岡・北上川川下り大会ゴムボート

ダム維持管理のお仕事

ダム維持管理のため、どのような仕事を行っているのかについてパネルで紹介した。

<主な資料>バンドーン採水器、透視度計、雨量計、国土交通省東北地方整備局作業着ほか

ダムを楽しむ

五大ダムにまつわるダムカードを展示し、ダムの特徴を表現したダムカレーをパネルで紹介した。コラボ企画として喫茶ひだまりにおいて、特製ダムカレーも販売した。

[関連事業]

(1) 県博日曜講座

① 令和5年6月25日（日） 13:30～15:00 講堂 参加者 92人

演題：「五大ダムが岩手県に果たしてきた役割」

講師：三上 博司 氏（国土交通省 東北地方整備局 北上川ダム統管理事務所 副所長）

山中 彰人 氏（国土交通省 東北地方整備局 北上川ダム統管理事務所 調査課長）

② 令和5年7月9日（日） 13:30～15:00 講堂 参加者 58人

演題：「ダム建設が明らかにした遺跡群」

講師：高木 晃（当館学芸第一・第二課長）

③ 令和5年7月23日（日） 13:30～15:00 講堂 参加者 52人

演題：「水をしづめるー水面に浮かぶ歴史と民俗」

講師：目時 和哉（当館専門学芸調査員）

(2) 展示解説会（計2回） 各回 14:30～15:30

① 令和5年6月24日（土） 参加者 16人

② 令和5年7月29日（土） 参加者 21人

(3) トピック展

各展示室（総合展示室・いわて文化史展示室・いわて自然史展示室）において、北上川及びダムに関する当館資料等について、テーマ展仕様のパネル等により解説を加えた。

(4) 展示会付帯イベント

① 御所ダム堤体登山

令和5年7月30日（日）午前中、初級・中級コース、参加者40人、事前予約、参加費無料
初級コースは約5分、中級コースは約10分の所要時間で御所ダムや胆沢ダムで定期的に行われているイベントで本展覧会会期に合わせ管理事務所主催で実施した。

② バックヤードツアー

令和5年7月30日（日）御所ダム、8月5日（土）四十四田ダムにおいて各2回、参加者各20人、事前予約制、参加費無料

堤体登山と同様、各ダムで実施しているイベントを本展覧会会期に合わせて管理事務所主催で実施した。普段は立ち入ることのできない、操作室、監査廊、堤体外部変形可動点（御所ダム）、ゲート室を見学し、ダム堤体の上の天端道路を歩くツアーを実施した。

③ たんけん！ダムのしごと

令和5年8月5日（土）2回開催、各回参加者18人、小学生対象、事前予約制、参加費無料
ダムパトロールや水質調査を体験するイベントを四十四田ダムの南部片富士湖ものしり館・防災センターにおいて管理事務所主催で実施した。

④ オリジナルダムカードの作成・配布

本展覧会用のオリジナルダムカードを制作し、各ダムと当館で配布した。当館分500枚は展覧会開始43日目の7月29日で配布終了となった。

⑤ 自然観察会「四十四田ダムの森を探検！」

令和5年7月2日（日）9:30～12:00、参加者10人、事前予約制、参加費無料で開催した。



MUSEUM-DATE		岩手県立博物館 公式サイト
所在地	岩手県盛岡市上田字松原敷34番地	QRコード
分類	総合博物館	
開館日	1980年10月	
DAM-DATE		北上山ダム 統合管理事務所 公式サイト
四十四田ダム		
所在地	岩手県盛岡市下野川字四十四田1	QRコード
型式	重力式コンクリート・フィル複合ダム	
竣工年度	1962/1968年	
御所ダム		
所在地	岩手県盛岡市数字山192-4	QRコード
型式	重力式コンクリートロックフィル複合ダム	
竣工年度	1972/1981年	
田淵ダム		
所在地	岩手県花巻市東町田淵39-1-3	QRコード
型式	重力式コンクリートダム	
竣工年度	1941/1954年	
湯田ダム		
所在地	岩手県和賀郡西和賀町杉名畑44地	QRコード
型式	重力式アーチダム	
竣工年度	1958/1964年	
胆沢ダム		
所在地	岩手県奥州市胆沢若柳字楯岳前山6	QRコード
型式	中央コア壩口ロックフィルダム	
竣工年度	2002/2013年	

図5. (1) -4 オリジナルダムカード

⑥ クイズイベント

会期中に会場入り口に子ども向け（小学校中学年以下向け）ワークシート「きがるにワードパズル」、「じっくりワードパズル」を配架し、自由参加とした（参加者数428人）。

⑦ スタンプラリー「博物館で楽しむ♪ダム探検」参加者49人、自由参加

グランドホールでダム湖魚釣り、すごろくを体験し、展示室でダムクイズに挑戦するスタンプラリーを実施し、参加者に自由帳をプレゼントした。

⑧ 一般向けクイズ「ダムマニアック問題」

全40問、8割以上正解者にダムカード6種1セット（42セット限定）を先着でプレゼントした。実施期間中、53人からの回答があり、平均点は40点満点中33点、全問正解者3人という結果となった。7月23日に会場内に設置し、8割以上正解者が42人に達した8月13日までの22日間開催した。

⑨ ダムカレー

「喫茶ひだまり」で展覧会テーマにちなんだメニューを提供した。1日10食限定、税込み680

円で提供し、表面に五大ダムの写真、裏面に基礎情報を載せたオリジナルランチョンマットを作成し、ダムカレーを注文した方にいずれか1枚をプレゼントした。会期中（販売日実数56日）、355食を販売した。



図5. (1) -5 提供したダムカレーとオリジナルランチョンマット

[印刷物]

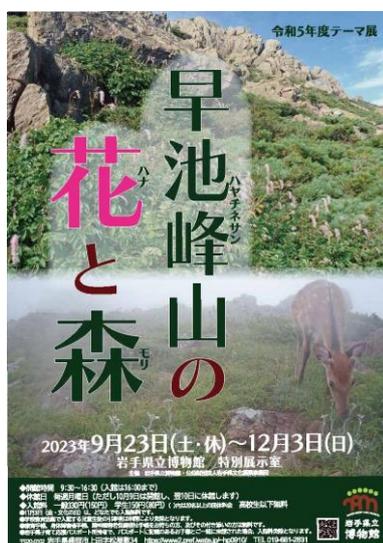
ポスター B2判、カラー印刷 500部

リーフレット A4判、両面カラー印刷 35,000部

[広報]

15秒TVCM100本、YouTube インストリーム広告（配信エリア：岩手県）、GDN・YDA（配信エリア：県内、青森、秋田、宮城）

(ウ) テーマ展「早池峰山の花と森」



北上山地の最高峰であり、岩手県を代表する山のひとつである早池峰山。そこにみられる地質と生物相は世界に一つしかない貴重な宝である。しかし、近年のニホンジカの急増により、今やその生態系は消失の危機に直面している。本テーマ展は、早池峰山の自然がもつ魅力と価値を、その研究史とともに紹介し、保全の重要性を伝えることを目的とした。

会期：令和5年9月23日（土）～12月3日（日）

開催日数 62日

会場：特別展示室

会期中の来館者数：7,925名

図5. (1) -6 展覧会ポスター

[展示内容] 展示資料 119点 写真・図 169点

1. 早池峰山の魅力

早池峰山周辺地図、「岩手の山と高山植物」絵はがき（昭和初期）、早池峰山登山券（昭和初期）

2. 早池峰山のなりたち

早池峰山周辺地質図、早池峰産の岩石（標本）

3. 早池峰山の植物

早池峰山の植物（写真・標本）、須川長之助関連資料、早池峰山植物研究年表など

4. 早池峰山の動物

早池峰山にすむ鳥類、哺乳類（剥製・写真）

5. 似たものくらべ

ウスユキソウのなかま、トウチソウのなかまなど（写真・標本）

6. ハヤチネ名の生物

ハヤチネコウモリ、ハヤチネカラマツ、ハヤチネフキバツタ、ハヤチネヌレチゴミムシなど（標本）

7. 高山性の虫

ベニヒカゲ、ホソエダツトガなど（標本）

8. 早池峰山の森と林業

寛文七年早池峰桧証文、早池峰山周辺植生図、岩手県基準帯内国有天然林植生分布図など

9. 早池峰山の保全活動

早池峰山環境保全関連年表、早池峰フォーラム関連資料など

10. 生態系の危機

ニホンジカ剥製、シカの1年（写真）、山麓の植生変化（写真）、シカ調査結果（パネル）など

[関連事業]

1. 文化講演会

令和5年11月3日（金・文化の日）13:30～15:30 講堂 参加者 153名

演題：「日本の高山植物の現在・過去・行く末」

講師：工藤 岳 氏（北海道大学地球環境科学研究院 准教授）

2. 県博日曜講座

令和5年11月26日（日）13:30～15:00 講堂 参加者 156名

演題：「早池峰山の花と森に迫る危機」

講師：鈴木まほろ（当館学芸第二課課長補佐）

3. 展示解説会（3回）

令和5年9月24日（日）15:15～15:45 参加者 23名

10月7日（土）15:30～16:00 参加者 27名

10月22日（日）15:15～15:45 参加者 13名

[印刷物]

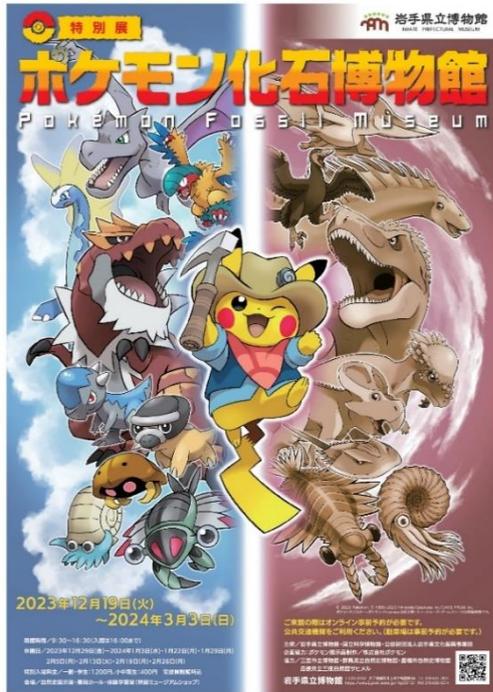
ポスター A2判カラー 300部

チラシ A4判表面カラー・裏面モノクロ 30,000部

（エ）特別展「ポケモン化石博物館」

人気ゲーム『ポケットモンスター』シリーズに登場する不思議な生き物「ポケモン」の中には、恐竜などの古生物によく似た姿をした「ポケモン」（通称「カセキポケモン」）が多数存在する。巡回展「ポケモン化石博物館」では「ゲームの中でカセキポケモンに出会った子ども達が、現実世界の博

博物館で本物の化石に出会う」をコンセプトに、カセキポケモンのイラストや模型と古生物の化石資料を並べて展示することで、「ポケモン」を入り口として古生物（化石）の裾野を広げ、より多くの人々に「ポケモン」と化石の両方に興味を持ってもらうことを目的とする全国巡回型の展覧会である。



会 期：令和5年12月19日（火）～6年3月3日（日）
 開催日数 64 日
 会 場：自然史展示室・玄関ホール・階段ホール
 会期中の来場者数：45,369 名

主催：岩手県立博物館・国立科学博物館・公益財団法人
 岩手県文化振興事業団
 企画協力：ポケモン展示品制作：株式会社ポケモン
 総合監修：相場大佑（公益財団法人深田地質研究所）
 協力：三笠市立博物館、群馬県立自然史博物館、豊橋市自然史博物館、島根県立三瓶自然館サヒメル

図 5. (1) -7 展覧会ポスター

〔展示内容〕

コア展示 1 それぞれの世界のかせき研究

【ポケモン展示】

かいのかせき実物大模型、オムナイト実物大模型、オムスター実物大模型

【古生物展示】

野外調査およびクリーニング道具、アンモナイト化石、アンモナイト生態復元想像模型、現生頭足類標本、三陸のアンモナイト化石（当館蔵標本） ほか

比較展示 比べてみよう！

(1) アノプスとアーマルド／アノマロカリス

【ポケモン展示】

ツメのかせき実物大模型、アノプス実物大模型

【古生物展示】

アノマロカリス化石（実物・複製）、アノマロカリス生態復元想像模型、カンブリア紀の化石（当館蔵標本）

(2) リリーラとユレイドル／ウミユリ

【ポケモン展示】

ねっこのかせき実物大模型、リリーラ実物大模型

【古生物展示】

- ウミユリ化石
- (3) カブトとカブトプス／カブトガニ
【ポケモン展示】
 こうらのカセキ実物大模型、カブト実物大模型、カブトプス実物大骨格想像模型
【古生物展示】
 カブトガニ化石、現生カブトガニ標本
- (4) メガヤンマ／メガネウラ
【古生物展示】
 メガネウラ化石（複製）、トンボ化石
- (5) ズガイトスとラムパルド／パキケファロサウルス
【古生物展示】
 パキケファロサウルス成体・亜成体頭骨化石（複製）
- (6) プロトガとアバゴーラ／アーケロン
【ポケモン展示】
 ふたのカセキ実物大模型
【古生物展示】
 プロトステガ頭骨化石（複製）、プロトステガ科椎骨化石
- (7) アーケンとアーケオス／始祖鳥
【ポケモン展示】
 ハネのカセキ実物大模型、アーケン実物大骨格想像模型
【古生物展示】
 始祖鳥全身骨格化石（ベルリン標本・複製）、始祖鳥全身骨格（複製）、始祖鳥類化石（複製・当館蔵標本）
- (8) プテラ／翼竜
【ポケモン展示】
 ピカチュウ&プテラ実物大模型
【古生物展示】
 プテロダクティルス全身骨格化石、プテラノドン全身骨格（複製）、ディモルフォドン全身骨格（複製）、プテラノドンの肢骨化石（当館蔵標本）、久慈市産翼竜化石（複製・当館蔵標本）、トゥプクスアラ全身骨格（複製・当館蔵標本）
- (9) ジーランス／シーラカンス
【ポケモン展示】
 ジーランス実物大模型
【古生物展示】
 シーラカンス化石、現生シーラカンス生態模型
- (10) タテトプスとトリデプス／角竜
【ポケモン展示】
 たてのカセキ実物大模型、トリデプス実物大骨格想像模型



図 5. (1) -8 特別展の展示

【古生物展示】

トリケラトプス幼体頭骨化石（複製）、トリケラトプス成体頭骨1／2模型、プロトケラトプス頭骨化石、トリケラトプス歯化石、カスモサウルス全身骨格（複製・当館蔵標本）

(11) アマルスとアマルルガ／アマルガサウルス

【ポケモン展示】

ヒレのカセキ実物大模型、アマルルガ実物大骨格想像模型

【古生物展示】

マメンキサウルス全身骨格（複製・当館蔵標本）、モシリユウ上腕骨化石（複製・当館蔵標本）、久慈産竜脚類歯化石（複製・当館蔵標本）、カマラサウルス頭骨化石（複製・当館蔵標本）、ヒプセロサウルス卵化石（当館蔵標本）、アパトサウルス上腕骨化石（当館蔵標本）ほか

コア展示2 かせき研究のこれまで・これから

【ポケモン展示】

あごのカセキ実物大模型、チゴラス実物大骨格想像模型、ガチゴラス実物大骨格想像模型、ひみつのコハク

【古生物展示】

ティラノサウルス成体・亜成体頭骨化石（複製）、メガロサウルス下顎骨化石（複製）、虫入り琥珀、エゾセラス化石（複製）、久慈市産獣脚類恐竜化石（複製・当館蔵）、ティラノサウルス幼体歯化石（当館蔵）、ティラノサウルス成体歯化石（複製・当館蔵）、岩手県産琥珀（当館蔵）、岩手県産琥珀・虫入り琥珀（久慈琥珀博物館蔵）

〔関連事業〕

(1) オープニングセレモニー

12月18日（月）11:00～12:00

(2) 友の会向け内覧会

12月18日（月）14:00～16:30

(3) 発掘ピカチュウグリーティングイベント

12月18日（月）・12月19日（火）・2月3日（土）・2月25日（日）

(4) 会期中セレモニー

・累計来場者数2万人達成セレモニー 1月28日（日）

・累計来場者数3万人達成セレモニー 2月18日（日）

・累計来場者数4万人達成セレモニー 2月29日（木）

(オ) テーマ展「ラグビーといわて」

ラグビーフットボール競技（以下ラグビーと略）が岩手県でプレーされるようになったのは昭和2年（1927）のことで、100年近くの歴史がある。ラグビーの成り立ちから岩手のラグビー最盛期を経て、震災とW杯開催、そして現在にいたるまでの岩手のラグビーの歩みを、選手が実際に使用した資料とともに紹介する。



図5. (1) -9 展覧会ポスター

会 期：令和6年3月23日（土）～5月19日（日）

開催日数8日（令和5年度）

会 場：特別展示室、いわて文化史展示室

会期中の来館者数：842名／8日間（令和6年3月31日時点）

[展示内容] 展示資料 120点 写真・図 81点

序章 ラグビーの誕生と日本への伝播

慶應義塾蹴球部最古のジャージ

1章 岩手のラグビーのはじまり

岩手中学校卒業アルバム（昭和13年度）、盛岡市鳥瞰図（吉田初三郎）

2章 栄光の記録

新日鐵釜石ラグビー部関連資料、盛岡工業高等学校ラグビー部関連資料、岩手大学ラグビー部関連資料

釜石シーウェイブス GM 桜庭吉彦さんの紹介

桜庭吉彦氏着用日本代表ジャージ、キャップ

3章 震災・復興とラグビー

2019W杯ボール、ジャージ

ラグビーを支える裏方たちの紹介

4章 岩手のラグビーのいま

釜石シーウェイブスほか県内チーム、岩手県出身選手の紹介

ラグビー豆知識の紹介

いわて文化史展示室展示

桜庭吉彦さん関連資料、千田美智仁さん関連資料、震災津波支援関連資料、2019W杯関連資料

[関連事業]

1. 展示解説会（3回）

令和6年3月23日（土）14:00～15:00 参加者 5名

[印刷物]

ポスター B2判カラー 600部

チラシ A4判両面カラー 10,000部

（2）教育普及活動

令和5年度は、教育普及活動として30件の事業を行った。今年度はコロナ禍後となり各種イベントも復活した。「ゴールデンウィークイベント」として、民俗部門が「聴いてみよう♪音の出る昔の道具たち」を開催し、蓄音機を使用したレコード鑑賞などを楽しんでいただいた。「博物館まつり」も4年ぶりに開催したが、以前近隣から苦情のあった駐車場の狭さ（普通車約100台）による渋滞を避けるため、2日間に分けて開催し、初日は郷土芸能やコンサートなど一般向け、2日目は体験コーナー（工作）やスタンプラリー

など子供向けのイベントを開催した。

特別展「ポケモン化石博物館」に対応するため、「冬休みワクワク！ワークショップ」（「たいけん教室」の特別版）と冬休み期間中のワクワク！こどもツアー（下記参照）は中止し、会期中、体験教室、チャレンジ！はくぶつかん、日曜講座、ミュージアムシアター等は中断、体験学習室、映像室も閉鎖した。

出前講座の一つ、「博学連携青松支援学校リレー講座 2023」は、県立青松支援学校への出前授業（50分）で、当館各部門の学芸員が講師となって、「いわてのかせき」や校地内に所在する遺跡など、身近な話題を提供し、支援学校教諭の事前・復習授業によって連携するもので、昨年度から行っている。

夏休み中に開催するナイトミュージアムは、閉館後の暗い館内を学芸員が案内・トピック解説するものだが、今年度は暑く熱中症寸前で、今後は冷房をきかせる必要が出てきた。当館講堂で年1回実施する「ミュージアムコンサート」では、昨年度好評だった松園シルバーダックスに再度お願いし、「博物館まつり」の中で実施した。毎月第1土曜日に講堂にて開催する「ミュージアムシアター」は、子供向け行事として出発したが、シニア層の需要が多いことが分かり、現在は両方のメニューを上映し幅広い年代の皆さんに御利用いただいている。

学校の長期休み中に開催する子供展示解説会（夏、春休みスペシャル ワクワク！こどもツアー）は、平日を解説員、土日祝日を学芸員が担当した。

講座・観察会としては、自然観察会、地質観察会、考古学セミナー、「博物館で学ぶ岩手の歴史講座」、民俗講座（「たいけん！昔の暮らし」）等を開催している。予算不足により考古学セミナーは今年度で終了となった。

学習支援や社会教育事業としては、小中学校・県立学校・大学・幼稚園・各種団体等からの団体利用や教材貸し出し、学校への出前授業に対応しているが、コロナ禍の影響が残り、件数は減ったままである。学校教育の便宜を図るため、夏休み中に「教員のための博物館の日」を毎年開催し、講座以外にも参加者から博物館の利用法について相談を受けており、参加者の子供同伴を可としている。また、展示品に合わせた新学習指導要領対象目録の更新を行っている。

市町村教育委員会文化財担当者等で文化財を取り扱った経験の少ない方を対象とする文化財等取扱講習会は、講習内容増の要望を受け今年度から2日ずつ2期開催することとなり、実習を増やした。

ア. 開催事業

（ア）展示付帯事業（入館料を要する区域〔展示室内〕での事業）

表 5. (2) -1 令和5年度展示付帯事業参加者総数

	イベント名	回数	参加者総数
1	学芸員による展示解説会	7	133
2	テーマ展「北上川上流五大ダム探検大作戦」 団体向け展覧会展示解説会	8	258
3	テーマ展「北上川上流五大ダム探検大作戦」 ワードパズル	1	428
4	テーマ展「北上川上流五大ダム探検大作戦」 マニアック問題	1	50
5	テーマ展「北上川上流五大ダム探検大作戦」 博物館で楽しむ♪ダム探検（スタンプラリー）	1	49
6	解説員による依頼解説	91	1,296
7	チャレンジ！はくぶつかん	42	2,167
8	ワードクイズ	40	816
9	ゴールデンウィークスペシャルイベント	6	153
10	ナイトミュージアム	2	46
11	民俗講座	2	76

	イベント名	回数	参加者総数
12	禁断のフォトスポット撮影会	28	705
13	夏・冬・春休みスペシャル わくわく！子どもツアー！	31	133
合計			6,310

表 5. (2) -2 令和5年度展示付帯事業別参加者詳細

■学芸員による展示解説会（展覧会／定時）

延べ 132 名

	期日		時間	演題・イベント名ほか	講師等	参加者数
1	4月23日	日	15:00～16:00	テーマ展「新収蔵・新指定展Ⅱ 自然史編～2018年度からの新コレクション～」	佐藤修一郎・望月貴史(地質)、鈴木まほろ・渡辺修二・高橋雅雄(生物)	27
2	6月24日	土	14:30～15:30	テーマ展「北上川上流五大ダム探検大作戦」	北上川ダム統管理事務所副所長 三上 博司氏、近藤良子(民俗)・高木晃(考古)	16
3	7月29日	土	14:30～15:30	テーマ展「北上川上流五大ダム探検大作戦」	北上川ダム統管理事務所副所長 三上 博司氏、戸根貴之・近藤良子(民俗)	21
4	9月24日	日	15:15～15:45	テーマ展「早池峰山の花と森」	鈴木まほろ(生物)	23
5	10月7日	土	15:30～16:00	テーマ展「早池峰山の花と森」	鈴木まほろ(生物)	27
6	10月22日	日	15:15～15:45	テーマ展「早池峰山の花と森」	鈴木まほろ(生物)	13
7	3月23日	土	14:00～15:00	テーマ展「ラグビーといわて」	工藤健(歴史)	5

※展覧会担当学芸員（「北上川上流五大ダム探検大作戦」では北上川ダム統管理事務所職員も加わる）が展示の見どころを解説。

■展示会付帯イベント テーマ展「北上川上流五大ダム探検大作戦」団体向け展覧会展示解説会

延べ 258 人

	期日		時間	対象	参加者数
1	6月17日	土	50分	盛岡市立松園中学校	17
2	7月20日	木	60分	盛岡中央公民館 不來方大学院	46
3	7月25日	火	35分	岩手県立花巻北高等学校	80
4	7月27日	木	60分	盛岡中央公民館 不來方大学院	43
5	7月27日	木	40分	盛岡市緑が丘老人福祉センター	7
6	7月28日	金	75分	ゆうゆう大学	19
7	7月31日	月	30分	八幡平市平館コミュニティセンター	16
8	8月9日	水	60分	田瀬地区コミュニティセンター	30

■展示会付帯イベント テーマ展「北上川上流五大ダム探検大作戦」ワードパズル

延べ 428 人

期日	時間	テーマ	参加者数
6月10日(土)～ 8月20日(日)	開館時間	きがるに	296
		じっくり	132

■展示会付帯イベント テーマ展「北上川上流五大ダム探検大作戦」マニアック問題

延べ 50 人

期日	時間	参加者数
6月10日(土)～ 8月20日(日)	開館時間	50

■展示会付帯イベント テーマ展「北上川上流五大ダム探検大作戦」

博物館で楽しむ♪ダム探検(スタンプラリー)

延べ49人

期日	曜日	時間	参加者数
8月6日	日	開館時間	49

■解説員による依頼解説(随時)

91件 1,296人

実施日	参加者数		解説・案内回数										利用件数
			総合展示室					いわて文化史展示室			いわて自然史展示室		
			地質	考古	歴史	民俗	現勢生物	考古	歴史	民俗	地質	生物	
4月	学校等	14	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	1
	一般	13	5	5	3	3	3	1	1	1	2	1	5
5月	学校等	22	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	一般	63	7	4	5	4	4	1	2	1	1	1	6
6月	学校等	265	8	4	3	1	2	0	0	3	0	0	6
	一般	21	2	4	3	4	2	1	0	1	0	0	5
7月	学校等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般	23	5	5	3	2	2	1	0	0	0	0	5
8月	学校等	23	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	1
	一般	32	13	11	11	11	10	5	5	5	6	6	12
9月	学校等	349	3	2	2	8	2	0	0	10	0	0	10
	一般	4	3	3	2	2	2	1	1	1	1	1	3
10月	学校等	197	12	5	5	5	5	0	0	3	1	1	4
	一般	15	6	4	5	4	4	1	1	1	1	1	5
11月	学校等	50	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	一般	59	9	8	7	8	8	1	1	2	1	1	8
12月	学校等	67	0	0	0	2	0	0	0	3	0	0	2
	一般	22	1	1	2	2	1	0	0	0	0	0	2
1月	学校等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般	14	4	5	4	4	4	0	0	0	0	0	5
2月	学校等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般	16	3	3	3	3	3	0	0	0	0	0	3
3月	学校等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般	27	3	4	4	4	5	1	1	3	0	0	6
	計	1,296	87	73	64	69	59	13	12	34	13	12	91

■チャレンジ!はくぶつかん(常設展示室ほか/随時)

延べ2,167人

回数	期日		テーマ	シート作成	参加者数	月別参加者総数	備考
1	4月8日	土	美	高橋 雅雄	56	243	大人26
2	4月9日	日			44		大人25
3	4月15日	土			55		大人21
4	4月16日	日			88		大人42
5	5月13日	土	白	佐藤 修一郎	27	192	大人11
6	5月14日	日			75		大人31
7	5月20日	土			33		大人18
8	5月21日	日			57		大人21

回数	期日		テーマ	シート作成	参加者数	月別参加者 総数	備考
9	6月10日	土	花	目時 和哉	58	198	大人 23
10	6月11日	日			64		大人 23
11	6月17日	土			41		大人 19
12	6月18日	日			35		大人 10
13	7月8日	土	川	昆 浩之	64	320	大人 30
14	7月9日	日			46		不明
15	7月15日	土			50		大人 25
16	7月16日	日			107		大人 47
17	7月17日	月			53		大人 26
18	8月12日	土	森	山崎 遙	110	330	大人 55
19	8月13日	日			77		大人 40
20	8月19日	土			61		大人 32
21	8月20日	日			82		大人 32
22	9月16日	土	目	戸根 貴之	34	204	大人 16
23	9月17日	日			44		大人 18
24	9月18日	月			70		大人 32
25	9月23日	土			23		大人 10
26	9月24日	日			33		大人 17
27	10月14日	土	山	川向 富貴子	28	187	大人 28
28	10月15日	日			63		大人 11
29	10月21日	土			48		大人 23
30	10月22日	日			48		大人 21
31	11月11日	土	△	渡辺 修二	30	169	大人 11
32	11月12日	日			50		大人 22
33	11月18日	土			36		大人 10
34	11月19日	日			53		大人 28
35	12月2日	土	紫	工藤 健	40	154	大人 23
36	12月3日	日			57		大人 25
37	12月9日	土			19		大人 6
38	12月10日	日			38		大人 16
39	3月9日	土	○	村田 雄哉	41	170	大人 20
40	3月10日	日			59		大人 29
41	3月16日	土			19		大人 9
42	3月17日	日			51		大人 21

※当館学芸員が毎月作成するワークシート（展示に関するクイズ）を配布。

※今年度は28名の最優秀チャレンジャー（全10回に参加した皆勤賞、6回目4名、5回目5名、3回目2名、2回目4名、1回目13名）が誕生した。特別展会期中は中止した。

■ワードクイズ（常設展示室／随時）

延べ816人

期日	回数	テーマ	シート作成者	参加者数	参加者総数
4月1日（土）～7日（金）の開館日 ※R4年度3/21からの続き	6	石・化石	金子 昭彦	35	103
	6	生き物	昆 浩之	35	
	6	歴史	村田 雄哉	33	
7月20日（木）～8月11日（金） の開館日	22	石・化石	望月 貴史	180	502
	22	生き物	村田 雄哉	189	
	22	歴史	昆 浩之	133	

期日	回数	テーマ	シート作成者	参加者数	参加者総数
3月19日(火)～4月12日(金) の開館日	12	石・化石	米田 寛	80	211
	12	生き物	高橋 雅雄	67	
	12	歴史	近藤 良子	64	

※当館学芸員作成のワークイズの配布。冬季は特別展開催のため実施しなかった。

■ゴールデンウィーク スペシャルイベント (ワークショップ)

延べ 153 人

期日	曜日	時間	回数	演題・イベント名ほか	会場	参加者数	備考
5月2日	火	10:30-11:00 14:00-14:30	2	聴いてみよう♪音の 出る昔の道具たち	グランドホール	18	AM14、PM4
5月3日	水・祝	10:30-11:00 14:00-14:30	2	聴いてみよう♪音の 出る昔の道具たち	グランドホール	70	AM30、PM40
5月4日	木・祝	10:30-11:00 14:00-14:30	2	聴いてみよう♪音の 出る昔の道具たち	グランドホール	65	AM45、PM20

■ナイトミュージアム (常設展示室/定時)

延べ 46 名

回数	期日	曜日	時間	概要	参加者数
1	8月4日	金	16:30～17:30	閉館後、照明を落とした展示室をツアーガイドにしたがって見学し、各部門学芸員の解説を受ける。	23
2	8月5日	土	16:30～17:30		23

※平成28年度より実施。

■民俗講座「たいけん!むかしのくらし」(ワークショップ)

延べ 76 人

	期日	曜日	時間	会場	講師等	参加者数
1	8月19日	土	10:00～15:00	旧佐々木家住宅	学芸職員 館園実習生	37
2	10月22日	日	10:00～14:30	旧佐々木家住宅	学芸職員 県立盛岡農業高等学校2年生4名、教諭1名	39

※令和4年度～実施。

■禁断のフォトスポット撮影会(常設展示室/定時)

延べ 705 人

期日	曜日	時間	回数	演題・イベント名ほか	会場	講師等	参加者数
2月6日	火	10:30-11:30 14:30-15:30	2	毘沙門天像の足元で	エントランスホール	学芸職員	29
2月7日	水	10:30-11:30 14:30-15:31	2	マメンキサウルスの腹の 下で	正面階段	学芸職員	68
2月8日	木	10:30-11:30 14:30-15:32	2	旧盛岡駅舎の中で	総合展示室歴史	学芸職員	31
2月9日	金	10:30-11:30 14:30-15:33	2	囲炉裏端で	総合展示室民俗	学芸職員	20
2月14日	水	10:30-11:30 14:30-15:34	2	マメンキサウルスの腹の 下で	正面階段	学芸職員	93
2月15日	木	10:30-11:30 14:30-15:35	2	旧盛岡駅舎の中で	総合展示室歴史	学芸職員	50
2月16日	金	10:30-11:30 14:30-15:36	2	囲炉裏端で	総合展示室民俗	学芸職員	39
2月20日	火	10:30-11:30 14:30-15:37	2	毘沙門天像の足元で	エントランスホール	学芸職員	39

期日	曜日	時間	回数	演題・イベント名ほか	会場	講師等	参加者数
2月21日	水	10:30-11:30 14:30-15:38	2	マメンキサウルの腹の下で	正面階段	学芸職員	104
2月22日	木	10:30-11:30 14:30-15:39	2	旧盛岡駅舎の中で	総合展示室歴史	学芸職員	50
2月27日	火	10:30-11:30 14:30-15:40	2	毘沙門天像の足元で	エントランスホール	学芸職員	49
2月28日	水	10:30-11:30 14:30-15:41	2	マメンキサウルの腹の下で	正面階段	学芸職員	86
2月29日	木	10:30-11:30 14:30-15:42	2	旧盛岡駅舎の中で	総合展示室歴史	学芸職員	20
3月1日	金	10:30-11:30 14:30-15:43	2	囲炉裏端で	総合展示室民俗	学芸職員	27

■夏・冬・春休みスペシャル ワクワク！こどもツアー（常設展示室／定時）

延べ 133 人

回数	期日	曜日	演題	会場	講師等	参加者数	備考
1	7月25日	火	いわて自然史展示室をたんけんしてみよう！	いわて自然史展示室	解説員	3	大人2子ども1
2	7月26日	水		いわて自然史展示室	解説員	2	大人1子ども1
3	7月27日	木		いわて自然史展示室	解説員	4	大人2子ども2
4	7月28日	金		いわて自然史展示室	解説員	3	大人2子ども1
5	7月29日	土		いわて自然史展示室	高橋 雅雄	3	大人2子ども1
6	7月30日	日		いわて自然史展示室	高橋 雅雄	不成立	
7	7月31日	月		いわて自然史展示室	解説員	不成立	
8	8月1日	火		いわて自然史展示室	解説員	3	大人1子ども2
9	8月2日	水		いわて自然史展示室	解説員	3	大人2子ども1
10	8月3日	木		いわて自然史展示室	解説員	4	大人2子ども2
11	8月4日	金		いわて自然史展示室	解説員	3	大人2子ども1
12	8月5日	土		いわて自然史展示室	佐藤修一郎	2	大人1子ども1
13	8月6日	日		いわて自然史展示室	佐藤修一郎	15	大人7子ども8
14	8月7日	月		いわて自然史展示室	解説員	1	子ども1
15	8月8日	火		いわて自然史展示室	解説員	8	大人2子ども6
16	8月9日	水		いわて自然史展示室	解説員	7	大人4子ども3
17	8月10日	木		いわて自然史展示室	解説員	3	大人2子ども1
18	3月16日	土	昔の道具にさわってみよう！	いわて文化史展示室	近藤 良子	7	大人3子ども4
19	3月17日	日		いわて文化史展示室	戸根 貴之	5	大人2子ども3
20	3月19日	火		いわて文化史展示室	解説員	2	大人1子ども1
21	3月20日	水		いわて文化史展示室	解説員	3	大人2子ども1
22	3月21日	木		いわて文化史展示室	解説員	7	大人2子ども5
23	3月22日	金		いわて文化史展示室	解説員	不成立	
24	3月23日	土		いわて文化史展示室	近藤 良子	8	大人5子ども3
25	3月24日	日		いわて文化史展示室	近藤 良子	7	大人4子ども3
26	3月26日	火		いわて文化史展示室	解説員	不成立	
27	3月27日	水		いわて文化史展示室	解説員	2	大人1子ども1
28	3月28日	木		いわて文化史展示室	解説員	3	大人2子ども1
29	3月29日	金		いわて文化史展示室	解説員	12	大人6子ども6
30	3月30日	土		いわて文化史展示室	川向富貴子	9	大人5子ども4
31	3月31日	日		いわて文化史展示室	川向富貴子	4	大人2子ども2

冬休み期間中は特別展開催のため実施しなかった。

■展示資料解説「けんぱくものしりシート」

No.	発行日		テーマ		シート作成者	
	月	日	種別	内容		
1	4月	1日	土	民俗	こけし	解説員
2	5月	6日	土	生物	アオダイショウ	
3	6月	3日	土	体験学習室	あやつり人形	
4	7月	1日	土	地質	プロタニソセラス ハナイイ	
5	8月	5日	土	考古	縄文人の生活	
6	9月	16日	土	歴史	盛岡市大洪水写真帖	
7	10月	7日	土	民俗	豆しとぎ	
8	11月	4日	土	生物	フクロウ	
9	12月	2日	土	体験学習室	珪化木	
10	1月	6日	土	地質	ミズホクジラ	
11	2月	3日	土	考古	漁労用具	
12	3月	2日	土	歴史	盛岡藩歴代藩主	

※当館解説員が毎月作成している展示資料解説シート。配布するとともに、当館HPに掲載。

(イ) 教育普及事業

表 5. (2)-3 令和5年度教育普及事業別参加者総数

No.	種別	イベント名	回数	参加者総数
1	講演会	文化講演会	1	153
2	講演会	考古学セミナー	2	45
3	講演会	岩手県立博物館友の会 話のサロン	1	20
4	講演会	県博日曜講座	16	815
5	見学会	県博バックヤードツアー	2	23
6	見学会	自然観察会	2	39
7	見学会	地質観察会	2	55
8	鑑賞会	いわてミュージアムコンサート	1	29
9	鑑賞会	ミュージアムシアター	8	161
10	ワークショップ	たいけん教室～みんなでためそう～	38	676
11	ワークショップ	冬のワクワク！ワークショップ	-	- (開催せず)
12	実習・講習会	博物館で学ぶ岩手の歴史講座	7	110
13	実習・講習会	館園実習	1	11
14	実習・講習会	文化財等取扱講習会（4日間）	4	24
15	実習・講習会	教員のための博物館の日（2日間）	2	24
16	その他	博物館まつり	2	1,228
17	その他	県博出前講座	10	203
			合計	3,616

表 5. (2)-4 令和5年度教育普及事業別参加者詳細

■文化講演会（講演会）

延べ 153 人

期日	曜日	演題	講師名（所属）	参加者数
11月3日	金・祝	「日本の高山植物の現在・過去・行く末」	工藤 岳 氏 (北海道大学地球環境科学研究院)	153

※テーマ展 「早池峰山の花と森」 関連事業として実施。

■考古学セミナー（講演会）

延べ45人

期日	曜日	演題・イベント名	講師名（所属）	参加者数	備考
9月16日	土	遠野市鍋倉城跡が国史跡に指定された理由—中世山城から近世城郭へ—	黒田 篤史 氏 (遠野市教育委員会)	37	講演会。当館講堂
9月30日	土	国指定史跡 鍋倉城を歩く	黒田 篤史 氏 (遠野市教育委員会)	8	現地見学会。 遠野市鍋倉城公園

■岩手県立博物館友の会 話のサロン（講演会）

延べ20人

期日	曜日	演題	講師名（所属）	参加者数	会場
5月20日	土	宮沢賢治と東山	藤野 正孝 氏 (元 石と賢治のミュージアム館長)	20	当館講堂

■県博日曜講座（講演会）

延べ815人

	期日	曜日	テーマ	講師名（所属） ※（）なしは当館学芸員	参加者数
1	4月9日	日	剥製から生まれる鳥類学	高橋 雅雄	39
2	4月23日	日	生命史をひも解く—白亜紀（後編）—	望月 貴史	52
3	5月14日	日	地図にみる明治のいわて	村田 雄哉	41
4	5月28日	日	天台寺周辺の古代遺跡	丸山 浩治	63
5	6月11日	日	骨からわかる生物の進化	渡辺 修二	31
6	6月25日	日	五大ダムが岩手県に果たしてきた役割	三上 博司 氏（北上川ダム統合管理事務所副所長） 山中 彰人 氏（北上川ダム統合管理事務所調査課長）	92
7	7月9日	日	ダム建設が明らかにした遺跡群	高木 晃	58
8	7月23日	日	水をしづめる—水面に浮かぶ歴史と民俗—	目時 和哉	52
9	8月13日	日	土偶にまつわる縄文の暮らし	金子 昭彦	41
10	8月27日	日	黒曜石・頁岩の産地から探る旧石器人の遊動域 ～岩手県内遺跡を中心に～	米田 寛	44
11	9月24日	日	いわての鮮新統に注目して	佐藤修一郎	32
12	10月22日	日	世界の中の岩手—近代紫波を中心に—	工藤 健	32
13	11月12日	日	南部絵暦をよむ ～いわてで生まれた2つの暦～	川向富貴子	30
14	11月26日	日	早池峰山の花と森に迫る危機	鈴木まほろ	156
15	12月10日	日	館藏品でみる江戸時代の売れる本	昆 浩之	23
16	3月24日	日	「続 雑学のススメ」（笑い頭の体操）	高橋 廣至（当館館長）	29

■県博バックヤードツアー（見学会）

延べ23人

回数	期日	曜日	概要（会場）	講師名	参加者数
1	5月21日	日	自然史コース（第2・4・5収蔵庫）	当館学芸職員	13
2			歴史コース（第1・3・4収蔵庫）		10

※平成18年度～、5月18日の「国際博物館の日」記念事業として実施。事前申込制。

■自然観察会（見学会）

延べ 39 人

回数	期日	曜日	イベント名	会場	講師名（所属等）	参加者数
1	5月7日	日	第85回自然観察会	滝沢市穴口	当館職員	16
2	7月17日	月・祝	第86回自然観察会	滝沢市 相の沢キャンプ場	千葉 武勝 氏（当館研究協力員）、当館職員	23

※事前申込制

■地質観察会（見学会）

延べ 55 人

回数	期日	曜日	イベント名	会場	講師名（所属等）	参加者数
1	7月2日	日	第85回地質観察会「大船渡市の石炭紀の生物を見る」	大船渡市日頃市町ほか	当館職員	36
2	10月29日	日	第86回地質観察会「一戸町根反川流域の珪化木をみる」	一戸町根反ほか	杉山 了三 氏（盛岡第二高等学校非常勤講師）	19

※事前申込制

■イワテミュージアムコンサート（鑑賞会）

延べ 29 人

期日	曜日	演題・イベント名ほか	参加者数
10月7日	土	博物館まつり&ミュージアムコンサート 松園シルバーダックス合唱コンサート	29

■ミュージアムシアター（鑑賞会）

延べ 161 人

回数	期日	曜日	内容	種別	運営	参加者数
1	4月1日	土	父ありき	実写	映写：中央地域視聴覚ライブラリー 映写ボランティアシネマ友の会	13
2	5月6日	土	名作アニメシリーズ めいさくどうわ	アニメ	映写：中央地域視聴覚ライブラリー 映写ボランティアシネマ友の会	59
3	6月3日	土	山下清物語 裸の大將放浪記	実写	映写：中央地域視聴覚ライブラリー 映写ボランティアシネマ友の会	17
4	7月1日	土	リトルマーメイド	アニメ	映写：中央地域視聴覚ライブラリー 映写ボランティアシネマ友の会	15
5	8月5日	土	ハルをさがして	実写	映写：中央地域視聴覚ライブラリー 映写ボランティアシネマ友の会	7
6	10月7日	土	イーハトーブの赤い屋根	実写	映写：中央地域視聴覚ライブラリー 映写ボランティアシネマ友の会	25
7	11月4日	土	大いなる旅路	実写	映写：中央地域視聴覚ライブラリー 映写ボランティアシネマ友の会	17
8	12月2日	土	MARCO ～母をたずねて三千里～	アニメ	映写：中央地域視聴覚ライブラリー 映写ボランティアシネマ友の会	8

※【平成 14 年度～】盛岡教育事務所中央地域視聴覚ライブラリーとの共催による映画会。映写は 16 ミリ映写機操作技術講習会修了証を有するライブラリー映写ボランティア「シネマ友の会」が担当した。1～3月は特別展のため中止した。

■たいけん教室～みんなのためそう～（ワークショップ）

延べ 676 人

	期日	曜日	テーマ	講師	参加者 実数	参加者総数 (保護者込)
1	4月9日	日	スライムであそぼう	当館解説員	10	20
2	4月16日	日	化石のレプリカ	当館解説員	10	18
3	4月23日	日	こいのぼりづくり	当館解説員	10	35
4	4月30日	日	まが玉アクセサリー	当館解説員	9	17
5	5月7日	日	土器づくり	当館解説員	9	16
6	5月14日	日	アンモナイトの消しゴムづくり	当館解説員	10	19
7	5月21日	日	オリジナルの卵をつくろう	当館解説員	8	15
8	5月28日	日	草花のそめもの	当館解説員	9	19
9	6月4日	日	チャグチャグ馬コづくり	当館解説員	11	21
10	6月11日	日	カラフルクモづくり	当館解説員	10	17
11	6月18日	日	手づくり万華鏡	当館解説員	10	17
12	6月25日	日	ウォータードームづくり	当館解説員	8	16
13	7月2日	日	スライムであそぼう	当館解説員	10	16
14	7月9日	日	まが玉アクセサリー	当館解説員	10	20
15	7月16日	日	ちぎり絵のうちわ	当館解説員	9	17
16	7月23日	日	ミニさんさだいこ	当館解説員	10	17
17	7月23日	日	ミニさんさだいこ	当館解説員	10	18
18	7月30日	日	化石のレプリカ	当館解説員	9	16
19	7月30日	日	化石のレプリカ	当館解説員	10	16
20	8月6日	日	天然石のフォトフレーム	当館解説員	10	18
21	8月6日	日	天然石のフォトフレーム	当館解説員	10	17
22	8月13日	日	お絵かきはんこ	当館解説員	9	14
23	8月20日	日	砂絵	当館解説員	10	17
24	8月27日	日	3Dメガネで万華鏡	当館解説員	10	16
25	10月1日	日	猫絵馬づくり	当館解説員	6	12
26	10月15日	日	スライムであそぼう	当館解説員	10	17
27	10月22日	日	カラフルクモづくり	当館解説員	10	19
28	10月29日	日	土偶づくり	当館解説員	8	17
29	11月5日	日	化石のレプリカ	当館解説員	10	19
30	11月12日	日	手づくり万華鏡	当館解説員	7	13
31	11月19日	日	松ぼっくりのXmas ツリー	当館解説員	9	17
32	11月26日	日	松ぼっくりのXmas ツリー	当館解説員	10	20
33	12月3日	日	まゆで干支づくり（辰）	当館解説員	10	19
34	12月10日	日	まゆで干支づくり（辰）	当館解説員	10	19
35	3月10日	日	ヨーヨーの絵つけ	当館解説員	8	15
36	3月17日	日	アンモナイトの消しゴムづくり	当館解説員	10	19
37	3月24日	日	天然石のフォトフレーム	当館解説員	10	18
38	3月24日	日	天然石のフォトフレーム	当館解説員	10	20

※【昭和 56 年度～】当館解説員による主に小学生対象のワークショップである。定員はプログラムごとに 20～30 名の範囲で設定してきたが、コロナ禍後は定員を原則子供 10 名とした。

■冬のワクワク！ワークショップ

※【平成 24 年度～】幼児～小学生向けワークショップ（有料各 100 円）。

※今年度は特別展に対応するため中止した。

■博物館で学ぶ岩手の歴史講座（実習・講習会）

延べ 110 人

	期日	曜日	内容	講師	参加者数
1	9月23日	土	はじめての歴史学	工藤 健（当館学芸員）	17
2	9月30日	土	いわての歴史概観～展示解説～	目時 和哉（当館学芸員）	17
3	10月14日	土	いわての古代～中世史	目時 和哉（当館学芸員）	16
4	10月21日	土	いわての近世史	昆 浩之（当館学芸員）	15
5	10月28日	土	いわての近代史	工藤 健（当館学芸員）	15
6	11月4日	土	いわての近現代史	村田 雄哉（当館学芸員）	15
7	11月11日	土	いわての歴史資料	昆 浩之（当館学芸員）	15

■館園実習（実習・講習会）

受講者 11 人

	日付	曜日	講師	講座内容
1	8月17日	木	高橋 廣至 館長	実習にあたって
2			学芸第三課長	岩手県立博物館概要説明
3			学芸第三課館園実習担当	施設見学
4			学芸第一課長	講義「地方博物館の使命と役割」
5			総務課	博物館管理業務の実務
6	8月18日	金	学芸第二課資料管理担当	博物館資料管理の実務
7			開催中展覧会担当	博物館展示の実務
8			文化財科学部門	博物館環境保全の実務 博物館資料保存の実務（文化財科学）
9			解説員	展示資料解説の実務
10	8月19日	土	民俗部門	博物館資料整理の実務（人文系） （民俗講座補助）
11			歴史部門	博物館資料整理の実務（人文系）
12	8月20日	日	生物部門	博物館資料整理の実務（自然史系） 博物館展示の実務
13			解説員 学芸第三課館園実習担当	博物館教育普及の実務
14	8月22日	火	歴史部門	博物館展示の実務 博物館資料整理の実務（人文系）
15			学芸第一課	博物館事業広報の実務
16			学芸第三課	博物館教育普及の実務 博物館事業広報の実務（まつり広報）
17			8月23日	水
18	歴史部門	博物館展示の実務 博物館資料整理の実務（人文系）		
19	学芸第三課	博物館教育普及の実務 博物館事業広報の実務（まつり広報）		
20	8月24日	木	地質部門	博物館展示の実務 博物館資料整理の実務（自然史系）
21			民俗部門	博物館展示の実務 博物館資料整理の実務（人文系）
22			学芸第三課長	実習終了にあたって

※今年度は、岩手大学、千葉大学、新潟大学、秋田公立美術大学、龍谷大学、盛岡大学、成城大学から、合計 11 名を受け入れた。

■文化財等取扱講習会（実習・講習会）

受講者 24 人

前期

月日	時間	A 班	B 班
5月25日 (木)		受付 〔 講堂前 〕 9:40~10:00	
	20分	開講式・オリエンテーション 〔 講堂 〕 10:00~	
	90分	【資料及び環境管理】 文化財科学 〔 教室・講堂 〕 10:30~	
	60分	昼食（ 教室・実技室 ） 12:00-13:00	
	90分	【(2) 資料及び環境管理】 文化財科学 〔 館内巡検 〕 13:00~	
		休憩 15分	
	50分	【(6) 文化財等防災マップ運用研修会】 〔 教室・講堂 〕 14:45~	
5月26日 (金)		受付 〔 教室前・講堂前 〕 9:40~10:00	
		【連絡】〔 教室・講堂 〕	
	110分	【人文系資料取扱基礎】 (3) 歴史① 〔 第1収蔵庫ほか 〕 10:10~ (休憩10分含む)	
	60分	昼食（ 教室・実技室 ） 12:00-13:00	
	60分	【自然史資料取扱基礎①】 (4) 地質 〔 第4収蔵庫 〕 13:00~	【自然史資料取扱基礎①】 (5) 生物 〔 第2収蔵庫 〕 13:00~
		休憩 10分	
	60分	【自然史資料取扱基礎②】 (5) 生物 〔 第2収蔵庫 〕 14:10~	【自然史資料取扱基礎②】 (4) 地質 〔 第4収蔵庫 〕 14:10~
		休憩 10分	
		閉講式 〔 教室・講堂 〕 15:20 ~15:30	

後期

月日	時間	A 班	B 班
11月16日 (木)		受付 〔 教室前・講堂前 〕 9:40~10:00	
	15分	開講式・オリエンテーション 〔 教室・講堂 〕 10:00~	
	100分	【人文系資料取扱基礎①】 (8) 民俗 〔 講堂・第3収蔵庫 〕 10:20~ (10分休憩含)	【人文系資料取扱基礎①】 (9) 考古 〔 講堂・第4収蔵庫 〕 10:20~ (10分休憩含)
	60分	昼食〔教室・実技室〕 12:00~13:00	
100分	【人文系資料取扱基礎②】 (9) 考古 〔 講堂・第4収蔵庫 〕 13:00~ (10分休憩含)	【人文系資料取扱基礎②】 (7) 歴史② 〔 第1収蔵庫 〕 13:00~ (10分休憩含)	

月日	時間	A 班	B 班
11月6日	80分	休憩 15分	
		【(10)意見交換会】 〔教室・講堂〕14:55～	
11月17日(金)		受付 〔教室前・講堂前〕9:40～9:55	
		連絡〔教室・講堂〕	
	100分	【人文系資料取扱基礎③】 (7)歴史② 〔第1収蔵庫〕10:00～ (10分休憩含)	【人文系資料取扱基礎③】 (8)民俗 〔講堂・第3収蔵庫〕10:00～ (10分休憩含)
		休憩(10分)	
	10分	【閉講式】 〔教室・講堂〕11:50～12:00	

※今年度から、受講者の希望も踏まえ、前期・後期4日間の講習とした。

■教員のための博物館の日(実習・講習会)

延べ24人

期日	曜日	講師等	会場	参加者数	備考
8月4・5日	金・土	当館職員	当館展示室、教室、民家等	24	子ども8名

※学校との連携を深める目的で、平成28年度から実施し、講座以外に参加者から博物館の利用法について相談を受ける。参加者の子供同伴を可としている。

■岩手県立博物館まつり(その他)

延べ1,228人

期日	曜日	イベント名	運営	参加者総数
10月7日	土	郷土芸能、ミュージアムコンサート、展示解説会	当館職員	428
10月8日	日	工作体験3種類、たんけん岩石園・植物園、昔の遊び、スタンプラリー	当館職員、友の会	800

■県博出前講座(その他)

延べ203人

	期日	曜日	派遣職員	依頼者	演題・イベント名ほか	会場	参加者数
1	4月8日	土	望月 貴史	食を育む会 子どもひろば	いわてのかせき	奥州市江刺愛宕地区活動センター	52
2	5月10日	水	米田 寛	県立平舘高等学校家政科学科	博学連携とは	県立平舘高等学校	14
3	6月2日	金	高橋 雅雄	岩手県立大学	滝沢森林公園の鳥類	岩手県立大学	6
4	7月8日	土	鈴木まほろ	食を育む会 子どもひろば	おはなのおはなし	奥州市江刺愛宕地区活動センター	10
5	8月30日	水	望月 貴史	県立盛岡青松支援学校高等部	いわてのかせき	県立盛岡青松支援学校	14
6	9月15日	金	渡辺 修二	県立盛岡青松支援学校高等部	岩手県のクモ	県立盛岡青松支援学校	13
7	10月11日	水	金子 昭彦	県立盛岡青松支援学校高等部	松屋敷遺跡と縄文時代の生活	県立盛岡青松支援学校	14
8	10月18日	水	目時 和哉	県立盛岡青松支援学校高等部	いわての災害史	県立盛岡青松支援学校	10
9	10月24日	火	戸根 貴之	県立平舘高等学校	南部紫根染の歴史～糸染めの事例を中心に～	県立平舘高等学校	58
10	11月15日	水	近藤 良子	県立盛岡青松支援学校高等部	昔の道具から当時の生活を探る	県立盛岡青松支援学校	12

※当館が講師派遣に係る実費を負担したもの

(ウ) 講演会・講座に係る職員派遣

表 5. (2)-5 令和5年度職員派遣

延べ 977 人

	期日	曜日	派遣職員	依頼者（主催者）	演題・イベント名ほか	会場	参加者数
1	5月3日	水	金子 昭彦	土偶研究会	土偶研究会ミニ・シンポジウム「土偶は何故作られたか」	秋田県立近代美術館	30
2	5月13日	土	鈴木まほろ	岩手県環境生活部自然保護課	グリーンボランティア研修会	岩手県庁	29
3	6月20日	火	近藤 良子	西松園ひまわりクラブ	いわての昔の道具と手仕事	教室	15
4	7月19日	水	渡辺 修二	滝沢市教育委員会	カワシンジュガイの生態	滝沢市埋蔵文化財センター	11
5	7月22日	土	渡辺 修二	滝沢市教育委員会	滝沢市の天然記念物カワシンジュガイ	当館教室	13
6	7月23日	日	渡辺 修二	有限会社ピース	第32回産直交流会生き物調査隊	奥州市の圃場	31
7	7月29日	土	近藤 良子	国立岩手山青少年交流の家	ふるさといわてと出会う曲り家フェスタ 昔のくらし	曲り屋	62
8	8月17日	木	望月 貴史	三陸ジオパーク推進協議会	三陸の成り立ち	宮古市民総合体育館 大会議室	7
9	8月26日	土	目時 和哉	岩手県立図書館	モニュメントが語る震災の記憶	岩手県立図書館	25
10	9月14日	木	丸山 浩治	盛岡市上田公民館	被災資料のレスキューと再生活動の現状	盛岡市上田公民館	19
11	10月1日	日	鈴木まほろ	三陸ジオパーク推進協議会	三陸の植生	九戸教育会館	4
12	10月17日	火	近藤 良子	岩手県立盛岡峰南高等支援学校	雫石地方の野良着	当館会議室	26
13	10月26日	木	高橋 雅雄	県南広域振興局保健福祉環境部	困った鳥：カワウ	花巻地区合同庁舎	32
14	11月1日	水	高橋 雅雄	建設環境研究所中部支部	ヨシ原と鳥類	建設環境研究所中部支部オフィス（名古屋市）	20
15	11月6日	月	近藤 良子	公益社団法人岩手県シルバー人材センター連合会	豊かな岩手の伝統・習俗～岩手の手仕事とお正月～	サンライフ盛岡	4
16	11月7日	火	望月 貴史	盛岡市立黒石野中学校	地層の重なりと過去の様子	理科室	74
17	11月10日	金	高橋 雅雄	岩手県高等学校教育研究会理科部会生物部会	鳥の恋愛論	当館講堂	23
18	11月11日	土	目時 和哉	東京大学空間情報科学研究センターほか	オンラインマップを活用した文化遺産防災体制整備の事例報告	一関文化会館	100
19	11月25日	土	目時 和哉	いわて高等教育コンソーシアム	令和5年度いわて高等教育コンソーシアム後期集中講義「危機管理と復興」第4回	マリオス	24
20	12月2日	土	目時 和哉	陸前高田市立博物館	陸前高田市立博物館古文書講座第4回	陸前高田市立博物館	15
21	12月16日	土	金子 昭彦	八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館	遮光器土偶の流行学ー考古学の編年で土偶の変化を明らかにするー	体験交流室	60

	期日	曜日	派遣職員	依頼者（主催者）	演題・イベント名ほか	会場	参加者数
22	12月17日	日	米田 寛	東北日本旧石器文化を語る会	岩手県立博物館蔵「佐々木盛輔コレクション」について	八戸市デーリー東北新聞社6Fメディアホール	50
23	2月29日	木	鈴木まほろ	三陸ジオパーク推進協議会	五葉山の生態学的特徴	シーバル大船渡	38
24	3月2日	土	米田 寛	北上市教育委員会	蝦夷の儀器ー赤彩土器の謎を追うー	日本現代詩歌文学館	50
25	3月3日	日	鈴木まほろ	芦東山記念館	戦前～戦後の岩手の植物学について	芦東山記念館	68
26	3月9日	土	丸山 浩治	二戸市教育委員会	二戸市埋蔵文化財センター発掘調査報告会「火山灰から考える古代の二戸」	二戸市埋蔵文化財センター	80
27	3月12日	火	鈴木まほろ	盛岡広域管内流域協議会	増えすぎたシカによる生態系への影響	盛岡地区合同庁舎8階 大会議室	33
28	9月27日～1月17日 (全15回)		丸山 浩治	盛岡大学	盛岡大学文学部「博物館資料保存論」	盛岡大学	57 (履修登録者数)

※依頼者が講師派遣に係る実費を負担、もしくは共同プロジェクトとして実施したもの。

イ. 学校教育との連携

(ア) 博物館展示活動を活用した学習利用の受け入れ

今年度の教育機関の来館状況は、下記のとおりである。令和5年度は合計で77校2,845人（前年度は88校2,815人）が来館した。

表5.(2)-6 令和5年度学習利用状況（区分別） ※団体利用として入館した引率と児童生徒の数

a. 幼稚園・保育園等

	来館日	都道府県	団体名	利用目的	引率	生徒	合計
1	5月12日	岩手県	愛育園	園外学習	6	4	10
2	5月19日	岩手県	めぐみ幼稚園	親子遠足	12	95	107
3	6月2日	岩手県	青山幼稚園	親子遠足	9	53	62
4	6月6日	岩手県	盛岡市立米内幼稚園	親子遠足	5	11	16
5	6月9日	岩手県	みたけ保育園	親子遠足	4	25	29
6	6月9日	岩手県	紫波町立古館保育所	親子遠足	6	52	58
7	8月8日	岩手県	MHナーサリー	園外保育	4	19	23
8	10月24日	岩手県	愛育園	園外学習	3	25	28
9	12月18日	岩手県	めぐみ幼稚園	園外保育	4	12	16
10	1月26日	岩手県	盛岡白百合学園幼稚園	園外学習	6	22	28
11	2月9日	岩手県	月が丘幼稚園・保育園	園外保育	6	44	50
12	2月21日	岩手県	みどりこども園	園外保育	3	21	24
13	2月28日	岩手県	青葉幼稚園・二葉幼稚園	卒園遠足	11	69	80
			合計		79	452	531

b. 小学校

	来館日	都道府県	団体名	利用目的	引率	生徒	合計
1	5月26日	岩手県	盛岡市立東松園小学校	校外学習	4	18	22
2	6月1日	岩手県	一関市立黄海小学校	修学旅行	4	17	21
3	6月2日	岩手県	山田町立船越小学校	修学旅行	4	9	13
4	6月8日	岩手県	奥州市立南都田小学校	校外学習	6	40	46
5	6月8日	岩手県	田野畑村立田野畑小学校	修学旅行	4	28	32
6	6月14日	岩手県	盛岡市立洪民小学校	社会科見学	3	42	45

	来館日	都道府県	団体名	利用目的	引率	生徒	合計
7	6月15日	岩手県	岩泉町立有芸小学校	修学旅行	2	3	5
8	6月15日	岩手県	一関市立藤沢小学校	修学旅行	4	35	39
9	6月16日	岩手県	一関市千厩小学校	修学旅行	9	76	85
10	6月21日	岩手県	奥州市立水沢小学校	総合的な学習	2	32	34
11	6月22日	秋田県	秋田市立金足小学校	修学旅行	5	25	30
12	6月23日	岩手県	一関市立花泉小学校	修学旅行	7	92	99
13	6月23日	岩手県	奥州市立胆沢第一小学校	修学旅行	6	45	51
14	9月12日	岩手県	紫波町立古館小学校	校外学習	6	73	79
15	9月14日	岩手県	滝沢市立姥屋敷小学校	社会科見学	3	6	9
16	9月14日	宮城県	気仙沼市立階上小学校	修学旅行	5	25	30
17	9月20日	岩手県	盛岡市立月が丘小学校	社会科見学	3	33	36
18	9月20日	岩手県	盛岡市立中野小学校	社会科見学	2	27	29
19	9月20日	岩手県	盛岡市立中野小学校	社会科見学	2	28	30
20	9月22日	岩手県	二戸市立石切所小学校	社会科見学	2	29	31
21	9月22日	岩手県	盛岡市立中野小学校	社会科見学	2	26	28
22	9月22日	岩手県	金ヶ崎町立第一小学校	校外学習	3	19	22
23	9月26日	岩手県	盛岡市立玉山小学校	校外学習	2	4	6
24	9月26日	岩手県	盛岡市立東松園小学校	校外学習	4	18	22
25	9月27日	岩手県	盛岡市立見前小学校	校外学習	5	97	102
26	9月28日	岩手県	宮古市立磯鷄小学校	修学旅行	5	35	40
27	9月28日	岩手県	盛岡市立好摩小学校	社会科見学	2	31	33
28	9月29日	岩手県	久慈市立小久慈小学校	修学旅行	5	35	40
29	10月3日	岩手県	盛岡市立太田東小学校	社会科見学	3	52	55
30	10月25日	岩手県	二戸市立浄法寺小学校	社会科見学	2	15	17
31	11月3日	岩手県	岩手町立沼宮内小学校	社会科見学	3	40	43
32	11月7日	岩手県	盛岡市立洪民小学校	校外学習	4	46	50
33	11月16日	岩手県	一戸町立奥中山小学校	校外学習	2	15	17
34	11月24日	岩手県	葛巻町立葛巻小学校	社会科見学	3	15	18
35	12月5日	岩手県	盛岡市立厨川小学校	社会科見学	3	52	55
36	12月6日	岩手県	盛岡市立生生出小学校	社会科見学	3	9	12
37	2月14日	岩手県	盛岡市立東松園小学校	社会科見学	2	19	21
				合計	136	1,211	1,347

c. 中学校

	来館日	都道府県	団体名	利用目的	引率	生徒	合計
1	4月12日	岩手県	盛岡市立東松園中学校	校外学習	2	11	13
2	5月10日	青森県	八戸市立北稜中学校	校外学習	5	72	77
3	5月11日	青森県	八戸市立三条中学校	校外学習	2	21	23
4	5月24日	秋田県	鹿角市立八幡平中学校	校外学習	3	28	31
5	5月25日	秋田県	鹿角市立花輪中学校	校外学習	2	8	10
6	6月4日	北海道	札幌市立屯田北中学校	修学旅行	1	36	37
7	6月16日	岩手県	盛岡市立松園中学校	校外学習	2	26	28
8	6月23日	秋田県	湯沢市立湯沢北中学校	校外学習	7	85	92
9	6月27日	秋田県	仙北市立神代中学校	校外学習	5	22	27
10	7月6日	宮城県	栗原市立志波姫中学校	校外学習	5	51	56
11	7月6日	岩手県	久慈市立夏井中学校	校外学習	2	10	12
12	9月28日	岩手県	大槌町立吉里吉里中学校	校外学習	2	9	11
13	10月12日	東京都	桐朋中学校	修学旅行	3	77	80
14	10月26日	秋田県	横手市立横手北中学校	校外学習	5	90	95
15	10月31日	青森県	八戸市立江陽中学校	校外学習	3	30	33
16	2月16日	岩手県	盛岡市立北松園中学校	校外学習	2	2	4
				合計	51	578	629

d. 高等学校

	日時	都道府県	学校名	利用目的	引率	生徒	合計
1	6月25日	岩手県	岩手県立盛岡工業高等学校	校外学習	3	12	15
2	7月25日	岩手県	岩手県立花巻北高等学校	校外学習	4	70	74
3	8月9日	岩手県	岩手県立一関第二高等学校	校外学習	4	12	16
4	1月19日	岩手県	岩手県立山田高等学校	校外学習	2	22	24
5	2月27日	岩手県	岩手県立福岡高等学校	校外学習	4	114	118
合計					17	230	247

e. 大学・専門学校・専修学校等

	来館日	都道府県	団体名	利用目的	引率	生徒	合計
1	12月16日	宮城県	東北福祉大学	研修	2	11	13
合計					2	11	13

f. 支援学校等

	来館日	都道府県	団体名	利用目的	引率	生徒	合計
1	7月5日	岩手県	岩手県立花巻清風支援学校	校外学習	8	11	19
2	7月6日	青森県	青森県立八戸第二養護学校	修学旅行	13	16	29
3	9月21日	岩手県	岩手県立盛岡視覚支援学校 (中等部)	校外学習	2	1	3
4	10月17日	岩手県	岩手県立盛岡峰南高等支援 学校	校外学習	8	14	22
5	11月15日	岩手県	岩手県立盛岡青松支援学校 (中学部)	校外学習	3	2	5
合計					34	44	78

g. その他（児童デイサービス・学童保育等）

	来館日	都道府県	団体名	利用目的	引率	生徒	合計
1	7月26日	岩手県	MJ あおやま学童保育クラブ	見学	7	39	46
2	8月3日	岩手県	のぞみ学童保育クラブ	見学	6	29	35
3	8月3日	岩手県	放課後等デイサービスいくは び都南教室	見学	3	5	8
4	8月8日	岩手県	向中野学童保育クラブ	見学	6	34	40
5	8月10日	岩手県	放課後等デイサービスいくは び都南教室	見学	3	5	8
6	12月2日	岩手県	楽学舎放課後デイサービス	見学	7	1	8
7	1月4日	岩手県	放課後デイサービスセンター いちご園	見学	7	12	19
8	1月6日	岩手県	合同会社ふくかぜカンパニー こどもプラス盛岡南教室	見学	4	12	16
9	1月10日	岩手県	上田学童保育クラブ	見学	8	59	67
10	1月10日	岩手県	第三緑ヶ丘学童保育クラブ	遠足	5	34	39
11	1月15日	岩手県	川口学童保育クラブ	見学	5	27	32
12	2月12日	岩手県	児童デイサービスアニマート もとみや	見学	4	8	12
13	2月23日	岩手県	学童クラブくまの子クラブ	見学	29	31	60
合計					94	296	390

表 5. (2)-7 令和5年度都道府県別学習利用状況（都道府県別校数）

県内	青森県	秋田県	宮城県	北海道	東京都	合計
62	4	6	3	1	1	77

表 5. (2)-8 令和 5 年度区分別学習利用状況（区分別校数）

幼稚園 保育園	小学校	中学校	高等学校	大学等	専門学校 専修学校	支援学校	その他	合計
13	37	16	5	1	0	5	13	90

表 5. (2)-9 令和 5 年度都道府県別学習利用状況（都道府県別・区分別受入人数）

	県内	青森県	秋田県	宮城県	他	合計
小学校	1,287	0	30	30	0	1,347
中学校	137	133	255	56	48	629
高等学校	247	0	0	0	0	247
支援学校	49	29	0	0	0	78
大学等	0	0	0	13	0	13
幼稚園・保育園	531	0	0	0	0	531
専門・専修学校	0	0	0	0	0	0
その他	390	0	0	0	0	390
合計	2,641	162	285	99	48	3,235

(イ) 教材貸出

1 件 12 点の貸出を行った（昨年度は 2 件 3 点）。なお、貸出資料一覧にない資料の貸出についての相談もあり、これは部門毎に対応して貸出を行っている（本件数には含めていない）。多様なニーズを踏まえ、貸出可能な資料の再選定やメニューの充実を図りたい。

表 5. (2)-10 令和 5 年度の教材貸出一覧

貸出日	貸出先	点数	資料
6 月 10 日	盛岡市立松園中学校	12	縄文土器 (3)・縄文土器片 (1)・大型土偶頭部模造品 (1)・縄文時代の石器類 (6)・石包丁レプリカ (1)

(ウ) 県内高等学校との博学連携プロジェクト

a. 岩手県立平舘高等学校

当館では平成 27 年度から平舘高等学校との共同プロジェクトを立ち上げ、体験学習室や貸出用の教材を製作している。9 年目となる今年度は、家政科学科 3 年生の 2 名が体験学習室の子ども用座布団 5 点、えじこカバー 1 点を製作した。成果品は体験学習室に設置した。以下に経過を記す。

令和 5 年 5 月 事業概要とハンズオン資料製作に係る出前講座開催

令和 5 年 7 月 県博で体験学習室見学と、操り人形の展示設営体験実施

令和 5 年 9 月 資料が県博へ引き渡され、体験学習室に設置

令和 6 年 1 月 平舘高等学校課題研究報告会にて成果報告



図 5. (2)-1 展示体験で設置した「操り人形」



図 5. (2)-2 製作資料の引渡し

b. 岩手県立盛岡峰南高等支援学校

当館では平成 26 年度から盛岡峰南高等支援学校へ体験学習室の教材や白布などのクリーニングを依頼している。今年度は展示用養生マット、体験学習室着用教材のクリーニングを依頼した。

また、令和 5 年度より、同校専門教科の「縫製デザイン」で実習を行っている「裂き織」の技術を活用し、裂き織で帯を製作することで新たな連携を開始した。先に県立平舘高等学校との連携で製作したあねこ衣装の帯は、子どもたちが着用しやすいよう、前掛け部分と帯を縫い合わせた一体型のものであったので、今年度からは「裂き織」で製作することとした。

生徒たちには、県指定の野良着等を収蔵庫で見学、レプリカ資料の触察、文化財保護・体験学習室の意義についてレクチャーした。11 月には 9 点の帯が完成し、2 月 6 日（火）当館において資料の引き渡し式と感謝状贈呈を行った。

【クリーニング】クリーニング班（3 年生 4 名、2 年生 3 名）

10 月 17 日（火）出前授業（これまでの博学連携事業の取組み、体験学習室での活用の様子、雫石あねこ衣装など岩手の野良着について）、博物館資料クリーニングの依頼

11 月 6 日（月）～クリーニング開始

2 月 2 日（金）完成

【裂き織の帯】縫製デザイン班（3 年生 4 名、2 年生 3 名）

10 月 17 日（火）出前授業（これまでの博学連携事業の取組み、体験学習室での活用の様子、雫石あねこ衣装など岩手の野良着について）

10 月 21 日（土）盛岡峰南高等支援学校文化祭「峰南祭」において、「岩手県立博物館とのあたたかいつながりー博物館のために今、私たちができることー」（衣装の洗濯、雫石あねこ衣装、裂き織についてポスター展示・体験コーナー設置）

10 月～ 生活科学科「縫製デザイン」において「雫石あねこ衣装の帯」製作開始

11 月 17 日（金）資料完成（9 点）

2 月 6 日（火）資料引き渡し式・感謝状贈呈



図 5. (2)-3 岩手県立峰南高等支援学校生徒によるクリーニング



図 5. (2)-4 製作していただいた裂き織の帯

c. 岩手県立盛岡農業高等学校

昨年度に引き続き 10 月 22 日（日）当館で開催した民俗講座②「たいけん！むかしの暮らし」の脱穀体験に用いる稲を提供いただいた。また、今年度は同校植物科学科作物研究班 2 学年の生徒さん 4

名にワークショップの補助に取り組んでいただいた。千歯こきや唐箕、石臼などの昔の道具の使い方や、同校が行っている合鴨を使った無農薬での水稻栽培をパネルで紹介してもらった。



図 5. (2)-5 岩手県立盛岡農業高校生徒による
千歯こき体験



図 5. (2)-6 民俗講座②「たいけん！むかしの暮らし」

d. 岩手県盛岡青松支援学校

令和4年度から高等部の授業の充実を目的として、当館学芸部門の学芸員による連続出前講座を開催しており、2年目となる。学校側が県博出前講座のプログラムから講師と講義内容を選定し、地質・生物・考古・歴史・民俗の5部門の各学芸員による計5回の講義を行った。各講義に先立ち、担当教諭が予習授業と復習授業を行い、生徒に講義内容への理解を深めてもらった。



図 5. (2)-7 講座：いわての化石



図 5. (2)-8 講座：岩手県のクモ

(工) 博物館館園実習

学芸員資格取得に係る館園実習について、当館の実習生受入方針に基づいて実施した。当館における実習は、主に県内大学に在学する者、または本県出身者を対象としている。例年、地質・考古・歴

史・民俗・生物・文化財科学に係る博物館資料の整理や展示作業、教育普及事業の実務などの実習、及び社会教育機関としての博物館の役割についての講義等を行っている。実習・講義の内容については「6. (1) ア. (イ) 教育普及事業」の本項を参照のこと。実習期間と受入れ人数等は次のとおり。

○期間：令和5年8月17日（木）～24日（木） ※21日（月）をのぞく7日間

○実習生出身校と参加人数：岩手大学、千葉大学、新潟大学、秋田公立美術大学、龍谷大学、盛岡大学、成城大学 合計11名

ウ. 職場体験・インターンシップ

今年度は1件1名の職場体験・インターンシップの申し込みがあり、職場体験は高等学校1校で実施。

表5. (2) -11 令和5年度実施職場体験・インターンシップ参加校一覧

	実施日時	所属校	人数	体験内容
1	2月20日（火）～21日（水）	盛岡大学附属高等学校	1	職場の仕事内容の説明と学芸員体験

エ. 問い合わせ受付

学芸員が1年間に対応した問い合わせについて集計を行っている。内容は、質問や要望、調査研究に関することなど多岐にわたり、即答が可能な場合もあれば回答に相当期間を要する場合もある。なお、この中には計画された事業に関するものや外部研究者との連絡調整等を含んでいない。

表 5. (2) -12 令和 5 年度の問い合わせ受付状況

部門	件数	問合せ方法	件数	主な対応内容
地質	30	来館	10	岩石・鉱物・化石の鑑定、資料の寄贈について、北米プレートとユーラシアプレートの動きの関係性について 他
		電話	14	資料の寄贈について、今年度の地質観察会について、一関市の鉱山で見つかったクジラについて、火山噴火実験について、岩石ハンマーの種類について、三陸海岸や三貫島の成り立ちについて 他
		FAX、メール、手紙、その他	6	岩石・化石の鑑定、宮古層群のアンモナイトについて、栗駒山の旧噴火口の位置について、剥製の補修方法について 他
生物	148	来館	25	標本閲覧、昆虫の調べ方や採集道具について、県内の土木工事による動植物への影響に関するヒアリング 他
		電話	36	ツキノワグマの市街地出没について、自由研究の相談、早池峰山の植生の成立過程、1本だけ揺れる木の枝について、盛岡市内のカラスについて 他
		FAX、メール、手紙、その他	88	植物・昆虫・鳥・キノコ等の写真同定、三貫島の植生について、ヤマビルの県内分布、県内における野生生物に関する研究相談（採集可能な場所等）、野鳥の衝突事故例の情報提供依頼 他
考古	44	来館	15	遺跡出土頁岩製石器と頁岩産地について、中世の和船について、収集した土偶について、神子田の朝市で買った土器、石器について、蕨手刀の製法について、縄文土器の文様について、竪穴住居の建て方について 他
		電話	18	遠野に環状石斧はあるか、三陸と関東の貝塚の違いについて、所蔵する結髪土偶の型式名について、当館に所蔵する遮光器土偶はどのくらいあるか、目にスリットの入っている遮光器土偶はあるか 他
		FAX、メール、手紙、その他	11	土版や土偶、異形注口土器の時期について、環状列石の名称と分類について、一戸町田中 5 遺跡出土単孔土器について、一関市上野平遺跡出土縄文土器の寸法と形態について、岩手県内縄文早期の竪穴住居出土事例について 他
歴史	41	来館	7	花巻温泉と金田一国土について、被災前の旧吉田家住宅（陸前高田市）について、佐々木久次郎について、陶器を展示する際の固定方法について 他
		電話	15	山田線の災害復旧に関する資料について、南部家の蝦夷地警固の派遣人数、マタギの動員について、室町時代から現代の紫波について、東山町産紫雲石の硯について、源勝寺聖観音像の実物展示の予定について、刀の寄贈希望 他
		FAX、メール、手紙、その他	19	津波記念碑について、明治時代の市町村合併について、岩手軽便鉄道ほかについて、近世古文書の解読、阿部将翁について、狩野休円（二代目）について、中世の街道について、盛岡城関係資料の収蔵状況の照会 他
民俗	177	来館	36	蓄音機、一代守り本尊、隠し念佛、五大ダム、日向ダム、北上川舟運、木地椀、キリコ細工、宮沢賢治、建造物、古峰講、眷属、書画解読、唐竿 他
		電話	79	炭焼き窯、南部凧、戦争遺構、蓑虫山人、小岩井農場、ナニヤドヤラ、山車、早池峰神楽、秀衡塗、カテキリ、蓄音機、山の神、ホームスパンと梅原乙子、曲がり屋、相撲、野良着、花巻傘と口内傘、みずきだんご、おしらさま 他
		FAX、メール、手紙、その他	62	茅の調達・利用、近世暦、北限の柚子、けんだま、昆布の活用、弓の鑑定、高野聖、刺し子細工、青い目の人形、相撲、盛岡竿・盛岡毛鉤、大津絵、書画の落款鑑定、森口多里コレクション 他
文化財科学	11	来館	1	館内の温湿度調整について（結露対策）
		電話	10	書籍に生えたカビの対策方法、紙本着色掛軸の修理の依頼と委託先について、施設くん蒸について、油画的保存方法について、特別収蔵庫（木器）の低湿状態改善方法について、博物館施設における蛍光管型 LED への改装について 他
		FAX、メール、手紙、その他	0	
合計	451			

(3) 調査研究活動

博物館における調査研究活動は、展示、教育普及等を展開するうえでの基幹活動として位置づけられており、それに基づいて研究が進められる。各学芸員は、研究テーマを小テーマとこれを包括する大テーマに区分した上で、各テーマに関連した調査・研究を行っており、これらの中には当館の研究協力員や他機関に所属する研究者と共同で進められているものが含まれる。また、2月26日には「令和5年度館内調査研究報告会」を開催し、全学芸員から研究活動の進捗、研究成果が報告された。

なお、一定の成果が得られた研究については、『岩手県立博物館研究報告』第41号および『岩手県立博物館調査研究報告書』第37冊をはじめ、関連する学術誌や各種報告書等への掲載、学会での発表によってその成果の公表につとめている。

ア. 調査研究活動の概要

地質部門4テーマ、生物部門12テーマ、自然史部門（地質・生物）1テーマ、考古部門5テーマ、歴史部門8テーマ、民俗部門5テーマ、文化財科学部門4テーマで調査研究活動が推進された。

表 5. (3)-1 令和5年度 調査研究テーマとその実施状況

部門	大テーマ	小テーマ	氏名	成果
地質	地域地質に関する研究A	北上山地における地質学的資料に関する基礎的研究	望月 貴史 佐藤 修一郎	ミュージアムパーク茨城県自然博物館・東京都市大学・静岡大学等と共同で田野畑村ひらなめ海岸の明戸層の古生物学的調査を行った。また、その結果について共著で令和5年度日本古生物学会例会（仙台市）で口頭発表した。
	地域地質に関する研究B	奥羽山脈ならびに北上低地帯における地質学的資料に関する基礎的研究	佐藤 修一郎 望月 貴史	村井貞允資料（村井コレクション）の整理作業に伴い、安産産資料の産地確認を行った。荒屋層・田山層ともに化石の産出を確認した。
	古生物学的研究	古生代および中生代に関する古生物学的研究	望月 貴史	野田村産の上部白亜系アンモナイト「ユーボストリコセラス・ヴァルデラクサム」について、公益財団法人深田地質研究所の相場大佑氏と共同研究を行い、その結果を Paleontological Research 誌に投稿した。また、研究結果について特別展「ポケモン化石博物館」内の展示で一般公開した。
	地域環境に関する研究	火山・地震・気象・災害・資源に関わる研究	佐藤 修一郎	継続して県内に設置されている地震計の分布を調べている。分布図とともに地震学習の教材として活かしたい。
生物	地域生態系の研究	岩手県内の湿性草原環境の生物相の把握	鈴木 まほろ 渡辺 修二 高橋 雅雄	滝沢市春子谷地湿原にて主に昆虫類と哺乳類の、盛岡市高松公園芝水園にて鳥類の生息状況調査を実施した。
	日本産鳥類の生態学的研究	湿性草原の生物多様性保全における耕作放棄地の生態的価値：越冬鳥類を指標とした評価	高橋 雅雄	湿性草原棲の小型鳥類4種について、北陸地方と奄美諸島で越冬調査を実施した。これまでの研究成果を日本鳥学会の自由集会で「オオセッカの現状と保全の問題」と題して発表し、日本鳥学会誌に短報「中国四国地方におけるオオセッカ <i>Locustella pryeri</i> の越冬状況」が、 Bird Research に短報「中国・四国・九州地方におけるシマクイナの越冬状況」が受理された。

部門	大テーマ	小テーマ	氏名	成果
生 物	日本産鳥類の生態学的研究	東北地方北部のカワウの生態と保全管理に関する研究	高橋 雅雄	岩手県と青森県において、カワウの生息状況（特に生息数・営巣数・採食内容・漁業被害）と内部寄生虫に関する野外調査を実施した。論文「八戸市石手洗におけるカワウ <i>Phalacrocorax carbo</i> の越冬個体数」が青森自然誌研究に受理された。
		鳥類におけるタヌキ溜糞場の生態的価値の解明	高橋 雅雄	盛岡市近郊にあるタヌキの溜糞場にてセンサーカメラを用いたカメラトラップ調査を長期間実施し、撮影データを蓄積した。
	国内および県内における鳥類分布に関する研究	東北地方の希少猛禽類の繁殖状況に関する研究	高橋 雅雄	オジロワシ（環境省 RL : VU, 県 RL : C ランク）について、青森県にて営巣数・営巣環境・繁殖成績に関する野外調査を実施した。チゴハヤブサ（県 RL : D ランク）について、主に山形県にて営巣数・営巣環境・繁殖成績に関する野外調査を実施し、これまでの研究成果を日本鳥学会にて「東北地方で繁殖するチゴハヤブサの巣の利用年数と繁殖成績」と題してポスター発表した。ハヤブサ（環境省 RL : VU, 県 RL : A ランク）について、岩手県内で採餌内容に関する野外調査を実施した。
		岩手県の希少鳥類の生息状況に関する研究	高橋 雅雄	ミゾゴイ（環境省 RL : VU, 県 RL : B ランク）について令和6年度の共同研究の相談をした。ケリ（環境省 RL : DD, 県 RL : C ランク）について岩手大学等の共同研究成果についての論文「Analysis of genetic structure and genetic diversity in Japanese Grey-headed Lapwing population using mtDNA」が日本動物学会の国際誌 <i>Zoological Science</i> に受理された。
		岩手県立博物館周辺の鳥類の生息状況に関する研究	高橋 雅雄	当館周辺の雑木林において、巣箱設置と捕獲調査を実施した。
	地域の無脊椎動物相と生態に関する研究	県内の無脊椎動物相の研究	渡辺 修二	盛岡市環境部の依頼により、岩手虫の会会員等と共に、阿部館山及び北上川河川敷での昆虫、クモ類の生息調査を行った。NPO 法人ウオーターズリバイタルプロジェクトと共同で、安家川のカワシンジュガイ調査を行い、平成28年の水害以降も、まだ個体群の回復が見られないことを確認した。
		県内の無脊椎動物の分布に関する研究	渡辺 修二	山地に分布するイブキヒメギスとトウホクヒメギスの2種について、県内の分布を確認した。トウホクヒメギスのタイプ産地で採集を行ったが、イブキヒメギスとの違いは確認できなかった。タイプ標本との照合が必要である。
		県内の洞穴性無脊椎動物の分布及び生態に関する研究	渡辺 修二	岩泉町下有芸の風吹き穴で調査を行い、未記載種と思われるホラヒメグモのオス成体を採集した。また、センゾクナミハグモと思われるメス個体を採集した。宮古市小国の熊穴で調査を行い、イワテホラヒメグモが生息することを確認した。
	地域の植物相と植物生態に関する研究	県内の絶滅危惧植物を中心とする植物の分布と生態に関する研究	鈴木 まほろ	県レッドデータブック改訂調査を兼ねて、県内各地において絶滅危惧植物の分布調査を行った。結果は県等関係機関に報告した。早池峰山では、シカ等草食動物の行動調査及び食痕調査、植生モニタリングを行った。その結果は県・東北森林管理局等に報告したほか、テーマ展「早池峰山の花と森」においてパネル展示した。また、日曜講座において調査結果に関する講演を行い、記録動画をインターネット公開した。

部門	大テーマ	小テーマ	氏名	成果
生物	地域の植物相と植物生態に関する研究	県内の植物相の研究	鈴木 まほろ	『岩手県植物誌』の改訂に備え、県内の植物相について現地調査および標本・文献調査を行い、情報を整理した。また、岩手県植物誌調査会と共同で岩手県植物目録の編集を行った。
(地質・生物) 自然史	自然史標本の管理・公開に関する研究	自然史標本の管理・公開、成果の発信に関する研究	望月 貴史 佐藤 修一郎 鈴木 まほろ 渡辺 修二 高橋 雅雄	被災自然史標本の応急処置・修復方法について、これまでに得た知見をもとに、出版予定の文化財防災に関する依頼原稿の執筆を行った(鈴木・渡辺)。
考古	考古学史の研究	岩手県における埋蔵文化財保護、研究のあゆみ	金子 昭彦 高木 晃 米田 寛	下記「縄文時代の環状列石を含む配石遺構の研究」に関する発掘調査報告書作成等に時間がかかり、なかなか取り組めなかった。報告書も何とか完成したので、今年度残された僅かな時間で、来年以降の草間俊一コレクション整理の見通しをつけた。
	先史時代の考古学的研究	縄文時代の土偶の研究	金子 昭彦	『高橋龍三郎先生古稀記念論集』、『青森県考古学』、『岩手県考古学』等に研究成果を投稿した。この中で浮かんできた“造形焦点”は、縄文土偶を理解するうえで重要な視点となると考えている。その一部を館内調査研究報告会で発表した。
		縄文時代の環状列石を含む配石遺構の研究	金子 昭彦 高木 晃 米田 寛	洋野町西平内I遺跡の4年間にわたる発掘調査成果を集約し、同時に北東北に分布する縄文時代配石遺構データを集成し『岩手県立博物館調査研究報告書』を刊行した。
		岩手の旧石器時代の石材研究	米田 寛	県内の石材調査を進め、集団の移動を論じる基礎データの蓄積を行った。成果は投稿論文、日曜講座等で報告した。
	古墳時代の考古学的研究	岩手県内における古墳時代社会についての研究	高木 晃	奥州市中半入遺跡出土方割石についての実見調査を行い、分割平坦面に残る摩滅光沢痕跡から、平坦面を使用面として皮革加工工程の中で脂肪掻き取りに使用された可能性が高いことを確認した。加えて、片手で保持しやすくなるような変形加工が加えられている資料を抽出した。
歴史	古代～中世史の研究	古代・中世の東北史の研究	日時 和哉	妙見信仰を軸として古代以降の本県の歴史展開に関する資料分布や性格について情報収集を行った。成果については令和7年度の歴史部門企画展における紹介を予定している。また、館蔵資料である「後三年合戦絵巻」について理解を深めるため、他館の写本などについて情報を集め、比較検討を行った。
	近世史の研究	盛岡藩の町人についての研究	昆 浩之	館蔵古書籍の再整理および江戸・上方の書物問屋と盛岡の書物商人の関係について調査した。
	遊戯史の研究	岩手の囲碁と将棋の歴史に関する研究	村田 雄哉	囲碁や将棋の家元関連文献資料、盛岡藩や藩士の日誌日記等の文献資料から、近世以降の本県の囲碁将棋に関する情報を集め、時々々の囲碁将棋の普及の程度を検討した。ほか、江戸時代後期の盛岡藩領内出身の囲碁将棋の有段者の存在や、盛岡藩士の囲碁の対局記録(棋譜)を確認した。成果は博物館だより第180号や次年度のテーマ展での紹介を予定している。
	岩手の神社研究	岩手への仏教の伝播に関する研究	村田 雄哉	昨年度作成した県内に残存する古代の仏像やそれに関する諸資料情報をまとめたgoogle マイマップに、県北部に隣接する青森県南部町周辺部の情報を収集し、追加した。

部門	大テーマ	小テーマ	氏名	成果
歴史	近代・現代史の研究	岩手県におけるラグビーフットボールに関する研究	工藤 健	イングランドにおけるラグビーフットボール競技の成り立ちと社会的な位置づけ、及び日本や岩手県へのラグビーフットボール競技の伝播、普及、現状について、世界の情勢や教育史、産業史との関連を視野に入れ、調査した。成果は令和5年度3月23日からのテーマ展で公開する。
		近代岩手県の開発に関する歴史	工藤 健	明治9年の天皇巡幸、同41年の皇太子行啓の際に各地の在地的有力者たちがどのように関わったか、碑文や記録などを参考に調査した。成果は読売新聞ミュージアムレポートや歴史講座で公開した。紫波町の重要文化財平井邸について、建設の経緯、平井家の紫波開発に果たした役割、現在平井邸を活用し行われている事業について調査した。成果は日曜講座で発表した。
	災害史・災害文化に関する研究	岩手県の災害の歴史に関する研究	目時 和哉	岩手県内に所在する津波に関連するモニュメントについてお盆期間における地域住民の関与の有無について悉皆調査を行った。その成果については年度後半に行った依頼講座などで速報的に紹介するとともに、今後調査報告書における公開に向けてデータの整理を行っている。
	被災文化財に関する研究	津波被災文化財の再生、利活用、及び防災に関する研究	目時 和哉	文化庁助成事業の一環として、文化遺産防災マップの活用に向けた防災訓練、漆工資料の応急処置法の共有に向けた映像制作、博学連携事業を通じた次世代の文化財防災の担い手育成などの各種事業に取り組んだ。とりわけ文化遺産防災マップについては国際会議の場で報告の機会を得るなど高い関心を集めるとともに、令和6年能登半島地震に際しては連携機関である東北大学から被災各県の関係機関に対し、同様のスキームを用いて迅速な情報提供が可能となった。
民俗	有形民俗資料に関する研究	岩手の民具一般に関する基礎研究	戸根 貴之 近藤 良子 川向 富貴子	館蔵の生活道具について分析を行い、その成果を常設展示やデジタルアーカイブなどで公表したほか、出前授業、民俗講座などで活用した。また、当館所蔵の民俗資料を活用した博学連携の取り組みについて「社会科研究」第65号（岩手県高等学校教育研究会地歴・公民部会）に発表した。
	無形民俗資料に関する研究	岩手の無形民俗一般に関する基礎研究	戸根 貴之 近藤 良子 川向 富貴子	県内の民俗芸能や祭礼、民俗技術について現地採訪を行い、情報の蓄積を行うとともに、その成果を踏まえた出前授業を行った。また、芸能団体による公演とトピック展を企画実施した。
	無形文化遺産に関する研究	岩手の無形文化遺産に関する研究	戸根 貴之	ユネスコ無形文化遺産と世界遺産の制度面における類似点、相違点を分析するとともに、本県関係の無形文化遺産の現状把握、2024年度政府間委員会で審査予定の「伝統的酒づくり」に関する資料の収集を行った。また、代表一覧表に記載されている本県関係のユネスコ無形文化遺産の概要と位置図について、世界遺産の情報とともに常設展示で展示した。
	民家の保存と活用に関する研究	岩手の民家に関する研究	近藤 良子	当館に移築された南部曲り屋及び直屋展示を利用した各種ワークショップを実施した。また、伝統構法による民家の特徴について活用の手引きにまとめた。
手仕事に関する研究	岩手の手仕事に関する研究	近藤 良子 川向 富貴子	盛岡竿の竿師に通年取材し、制作工程について記録保存した。また、かつての竿師の親族から竿作りについて聴き取り調査を行った。昭和初期から中期にかけての竿師の道具や盛岡竿の収集保存に努めた。みちのくあかね会関係資料の整理分析を行った。	

部門	大テーマ	小テーマ	氏名	成果
文化財科学	文化財の保存修復に関する研究	津波被災資料の安定化処理法および抜本修復法に関する研究	丸山 浩治 山崎 遙	2020年度に設定した脱塩基準により安定化処理を行い、経過観察を進めている。また、外部団体の講座や大学で当該作業の方法と成果を示し、必要性和意義を伝えた。真空凍結乾燥し安定化未処理のまま常温で保管していた資料に濡れた状態を呈するものが見つかり、蛍光X線分析によって潮解現象であることを明らかにした。
	文化財の保存修復に関する研究	安定化処理に使用する薬剤が資料に与える影響	山崎 遙	安定化処理で使用される薬剤(ブツキーパー)による、紙資料への脱酸処理の有効性を日常的にできる方法で調査した。研究成果を調査研究発表会で発表する。
	展示・収蔵環境に関する研究	気密性の低い空間の調湿に関する研究	丸山 浩治	石川啄木記念館と共同で、空調が停止した状態でノンエアタイトケース内の調湿がどの程度行えるか実験を行った。また今年度から新たに八幡平市教育委員会と共同で同市内の文化財展示保管施設の環境改善を開始した。
	前近代における自然災害史研究	火山噴火イベントと物質文化の変遷に関する研究	丸山 浩治	火山灰考古学及び文化財科学(赤外線撮影)の手法を用いて、安比川流域における古代寺院の成立時期を検討した。その成果は日曜講座及び研究報告で公表した。

表 5. (3) -2 調査研究活動に関わる製作・同定

部門	事業名	内容
地質	岩石標本箱製作	木箱(浅箱) 7個を作製した。
	岩石薄片製作	岩石薄片 8点を作製した。

イ. 館内調査研究報告会

〔日 時〕 令和6年2月26日(月) 9:30~16:15

9:30~9:35 開会行事 挨拶

高橋 廣至(館長)

I 個別調査研究 午前の部

- 9:45~10:00 調査出張で訪れた奄美大島 高橋 雅雄
- 10:00~10:15 洞穴のクモ調査(岩泉町風吹き穴ほか) 渡辺 修二
- 10:15~10:30 早池峰山の生態系に迫る危機 鈴木まほろ
- 10:30~10:45 館蔵「佐々木盛輔コレクション」中の骨角器とされたものについて 米田 寛
- 10:45~11:00 [休憩]
- 11:00~11:15 方割石・磨痕石の機能 高木 晃
- 11:15~11:30 “造形焦点”で解く不思議な縄文土偶 金子 昭彦
- 11:30~11:45 紙資料への脱酸処理の有効性4 山崎 遙
- 11:45~12:00 ① 潮解—津波被災資料に含まれる塩類の問題—
② 赤外線撮影による文字の判読
—二戸市五庵I遺跡の墨書土器は「寺」か「吉」か— 丸山 浩治

午後の部

- 13:00~13:15 村井貞允資料(村井コレクション)に係る整理作業 佐藤修一郎
- 13:15~13:30 岩手県初産出の異常巻アンモナイト 望月 貴史
- 13:30~13:45 盛岡藩と藩士の囲碁の嗜み 村田 雄哉
- 13:45~14:00 当館所蔵「後三年合戦絵巻」の史料性に関する予備的研究 目時 和哉
- 14:00~14:15 [休憩]

14:15～14:30	古書に押されているさまざまな印	昆 浩之
14:30～14:45	スポーツは学校で生まれた ―ラグビーの成立を中心に―	工藤 健
14:45～15:00	伝統的工芸品のこと	川向富貴子
15:00～15:15	〔休憩〕	
15:15～15:30	盛岡竿の制作工程と道具	近藤 良子
15:30～15:45	岩手のユネスコ無形文化遺産	戸根 貴之

II 部門別調査研究

15:45～16:15	〔生物・考古・文科・地質・歴史・民俗〕	
16:15～	閉会行事・講評	小平 忠孝 氏（社会教育等推進参与）

※なお、今年度の報告会は事業団特別研修の一環として実施し、他事業所職員の参加聴講を得た。

ウ. 調査研究成果の公表

(ア) 『岩手県立博物館研報告』第41号

仕様：A4判相当PDF版・58頁、発行日：2024年3月31日、当館HPにて公開

- 1 山本 好和・佐藤 幸子・鈴木まほろ 岩手県盛岡市岩洞湖畔の地衣類
- 2 渡辺 修二 岩手県及び秋田県におけるトンボの食用及び薬用利用の記録
- 3 山田 努・小向 益男・菊地 敏雄・若山 拓也・山田 陽介 岩手県山田町オソノエラ鍾乳洞の洞内環境
- 4 丸山 浩治 安比川流域に古代寺院はいつ成立したか―火山灰考古学の知見から―
- 5 目時 和哉 地理情報を活用した文化遺産防災の取り組みに関する事例報告
- 6 近藤 良子 地域のダムを紹介する展覧会の試み―テーマ展「北上川上流五大ダム探検大作戦」を振り返って―

(イ) 岩手県立博物館調査研究報告書第37冊

(A4判 88頁 令和6年3月29日発行 500部)

編集：岩手県立博物館考古部門 発行：岩手県教育委員会・岩手県立博物館
岩手における環状列石関連遺跡調査報告書 ―洋野町西平内 I 遺跡発掘調査報告書―

(ウ) 学会・研究会・他機関での発表、および著作（*：共同発表の際の当館職員）

a. 口頭発表等

- ・米田 寛：岩手県立博物館蔵「佐々木盛輔コレクション」について. 第37回東北日本旧石器文化を語る会 2023年12月 口頭発表
- ・蝦名 裕一・目時 和哉*：Research on the Development of a Cultural Heritage Disaster Prevention System by Means of the Creation and Utilization of Online Maps. Icom-ICMS 東京大会, 2023年10月, 東京都（ハイブリッド開催）, 口頭発表
- ・高橋 雅雄：オオセッカの現状と保全の問題. 日本鳥学会 2023年度大会, 2023年9月, 金沢市, 自由集会「草原性希少鳥類と種の保存法」口頭発表
- ・立石 淑恵・高橋 雅雄*・東 信行：東北地方で繁殖するチゴハヤブサの巣の利用年数と繁殖成績. 日本鳥学会 2023年度大会, 2023年9月, 金沢市, ポスター発表
- ・佐々木 未悠・高橋 雅雄*・蛭名 純一・東 信行：青森県東部の低地疎林におけるニューナイスズメ

- の帰還率・帰還営巣率・営巣年数. 日本鳥学会 2023 年度大会, 2023 年 9 月, 金沢市, ポスター発表
- ・櫻庭 蓮之介・高橋 雅雄*: カイツブリの繁殖を追い! ~井の頭公園のカイツブリ調査報告~. 日本鳥学会 2023 年度大会, 2023 年 9 月, 金沢市, 高校生ポスター発表
- ・高橋 雅雄: いわてのヨシ原でくらす鳥たち. 第 23 回岩手発・市民講座「人と自然と生態学」身近なところが大事なところ 生物多様性保全のための「自然共生サイト」という選択肢, 2024 年 2 月 23 日, 盛岡市, 口頭発表
- ・滝本 秀夫・大花 民子・中島 保寿・望月 貴史*・Julien Legrand・加藤 太一・吉川 広輔: 下部白亜系宮古層群より産した植物化石 (予報). 日本古生物学会 2024 年例会, 2024 年 2 月, 仙台市, 口頭発表

b. 論文・報文

- ・金子 昭彦 (2023) 東京都なすな原遺跡出土の屈折像土偶. 考古学研究, 70-3 : 82-93. 査読あり
- ・金子 昭彦 (2024) 縄文土偶の造形焦点系統論. 高橋龍三郎先生古稀記念論集 縄文社会の探究, 317-326. 査読なし
- ・金子 昭彦 (2024) 造形焦点からみた縄文土偶の用途 (自説変更). 岩手考古学, 35 : 1-12. 査読なし
- ・金子 昭彦 (2024) 亀ヶ岡文化のその他の土偶. 青森県考古学, 31 : 31-40. 査読なし
- ・米田 寛 (2023) 黒曜石・頁岩の産地から探る東北北部の旧石器人の遊動領域. 土肥孝追悼論集 煙草と縄紋と考古学, 33-40. 査読なし
- ・近藤 良子 (2023) 岩手県立博物館における博学連携の取り組み. 岩手県高等学校教育研究会 地歴・公民部会年報 社会科研究, 65. 査読なし
- ・蝦名 裕一・目時 和哉* (2023) : オンラインマップの作成と活用による文化遺産防災体制の整備に関する研究. Icom-ICMS 東京大会報告書, 63-67. 査読なし
- ・高橋 雅雄*・宮 彰男・古山 隆・三戸 貞夫・日比野 政彦 (2023) 中国四国地方におけるオオセッカ *Locustella pryeri* の越冬状況. 日本鳥学会誌, 72: 235-239. 査読有り
- ・高橋 雅雄*・宮 彰男・古山 隆・三戸 貞夫・磯貝 和秀 (2024) 中国・四国・九州地方におけるシマクイナの越冬状況. *Bird Research*, 20 : S13-S18. 査読有り
- ・高橋 雅雄*・高橋 清法 (2024) 八戸市石手洗におけるカワウ *Phalacrocorax carbo* の越冬個体数. 青森自然誌研究, 29. 査読有り
- ・佐々木 全・佐々木悠太・渡辺修二* (2024) 岩手県内陸部におけるネキトンボの記録. 月刊むし, 636: 49. 査読なし
- ・Kazuya Nagai, Yusuke Takahashi, Hiroto Okabe, Masao Takahashi*, & Ken-ichi Tokita (2024) Analysis of genetic structure and genetic diversity in Japanese Grey-headed Lapwing population using mtDNA. *Zoological Science*. 査読有り

c. 普及書

- ・金子 昭彦 (2023) 「土偶は変化する。」 『土偶を読むを読む』, 292-307. 文学通信.
- ・望月 貴史 (2023) 「早池峰の地質」 太宰智志・八重樫理彦 監修『新・いわて名峰ガイド 早池峰山』, 76-79. 岩手日報社.
- ・丸山 浩治 (2024) 「十和田の火山泥流」 吉村武彦・吉川真司・川尻秋生 編『天変地異と病』シリーズ

ズ 古代史をひらくⅡ, 岩波書店.

- ・丸山 浩治 (2024)「平安時代の十和田噴火災害」 五味文彦 監修・栞畑光博 編『列島の人々は火山災害にどのように向き合ってきたのか 火山災害考古学から今を考える』山川出版社.

d. 新聞の著作、その他

- ・読売新聞岩手版「ミュージアムレポート」

望月 貴史 「標本の成り立ち 殺虫、整理、調査経て登録」 2023年4月21日
米田 寛 「馬場焼 忘れ去られた幻の陶器」 2023年5月12日
金子 昭彦 「縄文時代の土偶 出土最多 採集生活関係？」 2023年5月19日
渡辺 修二 「セミの分布 偏り変化 温暖化影響か」 2023年6月2日
近藤 良子 「北上川 『東鏡』に登場 歴史の舞台」 2023年6月16日
高木 晃 「3500年前の足跡 縄文人を知る足がかり」 2023年7月8日
戸根 貴之 「北上川のダム 水上スポーツに開放も」 2023年7月25日
高橋 雅雄 「困った鳥 カワウ 放流稚魚食害」 2023年8月4日
工藤 健 「巡幸の石碑 明治天皇の姿を国民に」 2023年8月19日
村田 雄哉 「ノベルティの原点 広告付きの暦 江戸期から」 2023年9月8日
昆 浩之 「縄張り図の欠落 盛岡城図面 意図的に削除？」 2023年9月22日
鈴木まほろ 「シカの食害 早池峰山の植生に影響」 2023年10月6日
渡辺 修二 「キリギリスの仲間2種 似た音程 別々に鳴く」 2023年10月20日
高橋 雅雄 「夜の生態調査 希少な鳥 自動録音で確認」 2023年11月10日
目時 和哉 「コロナ禍の記憶 感染症の恐怖 資料保存」 2023年11月17日
丸山 浩治 「施設内の照明 LED 転換 進まぬ理由」 2023年12月8日
近藤 良子 「蓄音機 温かく臨場感ある音色」 2023年12月15日
望月 貴史 「地層の観察 化石 海岸沿いの崖で」 2024年1月12日
佐藤修一郎 「一戸の珪化木 1700 万年前の樹木 化石に」 2024年1月19日
川向富貴子 「日米人形交流 『ミス岩手』答礼の使者」 2024年2月2日
山崎 遙 「劣化防ぐ『荷解場』 寄贈資料『慣らし』館内へ」 2024年2月19日
村田 雄哉 「盛岡藩士最古の棋譜 家元に置き碁で勝利」 2024年3月8日
米田 寛 「旧石器人の携行道具 細石刃 軽量・効率化追求」 2024年3月22日- ・岩手日報「いわてリレーエッセー 遊歩道」
目時 和哉 「ドラえもんの世界を生きるあなたへ」 2023年6月10日
高橋 雅雄 「小鳥を探して日本一周」 2024年2月10日

エ. 受託事業（文化財の自然科学的調査・保存修復）

岩手県立博物館では、平成2年度から文化財の自然科学的調査・保存修復に関する受託事業を実施している。平成24年度からは東日本大震災で被災した文化財等の安定化処理および修理を開始した。令和5年度の受託事業実績は表5. (3)-3に示すとおりである。

表 5. (3)-3 令和5年度受託事業（文化財の自然科学的調査・保存修復）実施実績

受託内容	件数	委託機関
被災紙製資料安定化処理及び修理業務	1	教育委員会
被災鳥羽源藏コレクション安定化処理及び修理業務	1	教育委員会
被災自然史関連資料修理業務	1	教育委員会
資料の生物学的劣化防除（くん蒸）業務	7	教育委員会、資料館等

オ. 研究受託事業（岩手における環状列石関連遺跡調査）

考古部門では、令和元年度に「岩手における環状列石関連遺跡調査事業」を岩手県教育委員会から受託し、九戸郡洋野町種市に所在する「西平内 I 遺跡」の発掘調査を洋野町教育委員会と共同で実施してきた。本事業は5カ年計画で進めており、最終年度にあたる令和5年度は調査報告書（岩手県立博物館調査研究報告書第37冊「岩手における環状列石関連遺跡調査報告書—洋野町西平内 I 遺跡—」）を作成、発刊した。

報告書の内容は①本事業の目的と実施経過、②西平内 I 遺跡の環境、③西平内 I 遺跡の調査史（三陸道関連調査・町教委調査の概要）、④県博調査の内容（試掘調査・ボーリング調査・出土遺物・年代測定）、⑤北東北の配石遺構集成、⑥調査のまとめ、⑦西平内 I 遺跡の意義という構成である。⑦は調査指導を依頼している熊谷常正氏に寄稿いただいた。

カ. 自然史標本データ整備事業

独立行政法人国立科学博物館が運営する科学系博物館情報ネットワークシステムの自然史標本情報検索システムに掲載するため、当館で所蔵する生物標本資料 5,700 件について、データ整理・整形を行い、提供した。

キ. 学術研究貢献活動

当館学芸員が依頼を受けた学術雑誌の査読等、館外の学術研究活動に貢献したものを以下に示す。

表 5. (3)-4 令和5年度学術雑誌の査読受託数

学芸員名	学術雑誌名	出版元	備考
鈴木まほろ	Journal of Plant Research	日本植物学会	査読
高橋雅雄	Ornithological Science	日本鳥学会	査読
高橋雅雄	伊豆沼・内沼研究報告	宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団	査読
高橋雅雄	Strix	日本野鳥の会	査読

ク. 研究協力員制度

当館の調査研究活動の増進に資するため、当館学芸員の推薦により館外研究者を研究協力員として認定し、当館の調査研究等に従事する制度を平成11年度から実施している。研究協力員としての活動期間は3年間で、申請・審査を経て委嘱、更新することができる。

令和5年度は1名の新規委嘱、5名の更新が承認された。令和6年3月末現在で10名（順不同）となっている。

○研究協力員（新規）

- 1 中嶋奈津子（佛教大学総合研究所 特別研究員）
：岩手県内の民俗芸能における継承と伝播について [民俗部門]

○研究協力員（更新）

- 2 吉田充（元当館学芸第三課長）
：大鉢森山周辺の母体岩変性岩類から産出する金属資源（金）にかかわる調査研究等 [地質部門]
- 3 大石雅之（元当館学芸部長）
：岩手県産脊椎動物化石を中心とする古生物学的研究及び地域地質に関する研究 [地質部門]
- 4 工藤紘一（元当館学芸第二課長）
：岩手の年中行事をはじめとする民俗事象の研究 [民俗部門]
- 5 大友令史（岩手県病害虫防除所）：病害虫の生態的研究 [生物部門]
- 6 藤井千春（元当館主任専門学芸員・岩手県立盛岡北高等学校教諭）
：北日本における発光生物の生態学的研究，洞穴環境に関する研究 [生物部門]

○研究協力員（継続）

- 7 山岸千人（岩手県立盛岡第一高等学校教諭）：山岸定次郎資料の整理 [地質部門]
- 8 吉田裕生（元当館学芸第二課長）
：東北地方産鉱物の記載鉱物学的研究、とくにマンガン硼酸塩・硫酸塩鉱物の研究 [地質部門]
- 9 千葉武勝（元岩手県病害虫防除所長）
：昆虫標本の整理、とくに鞘翅目、膜翅目昆虫の同定、標本作成、調査研究手法に関する助言 [生物部門]
- 10 沼宮内信之（日本森林技術協会）：北東北の植物相（特にスゲ属） [生物部門]

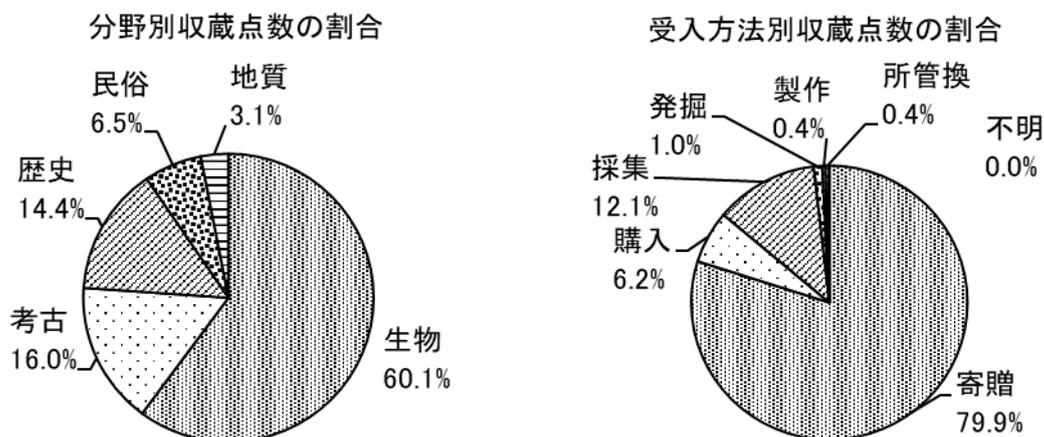
（４）資料収集保管活動

ア．資料の収集整理

令和５年度３月末現在の登録資料数は13,770点で、開館以降の累計は376,420点にのぼる(表5(4)-1)。県内外の方々のご厚意によって今年度当館が受贈した資料は35件と、多い傾向が続いている(表5(4)-2)。5,000点を超える植物標本など大型コレクションの寄贈もあり、収蔵スペースの確保が緊急課題である。

表 5. (4)-1 令和5年度資料登録状況 (点数)

	年度区分	地質	生物	考古	歴史	民俗	区分計
採 集	令和4年度末累計	3,281	40,863	922	3	226	45,295
	令和5年度計	109	139	-	-	6	254
	累 計	3,390	41,002	922	3	232	45,549
発 掘	令和4年度末累計	209	-	3,470	-	-	3,679
	令和5年度計	-	-	43	-	-	43
	累 計	209	-	3,513	-	-	3,722
寄 贈	令和4年度末累計	6,142	166,760	55,246	39,600	19,540	287,288
	令和5年度計	205	5,646	1	6,371	1,172	13,395
	累 計	6,347	172,406	55,247	45,971	20,712	300,683
購 入	令和4年度末累計	1,409	12,176	269	6,975	2,529	23,358
	令和5年度計	-	-	-	-	15	15
	累 計	1,409	12,176	269	6,975	2,544	23,373
製 作	令和4年度末累計	115	590	95	114	505	1,419
	令和5年度計	49	-	-	-	14	63
	累 計	164	590	95	114	519	1,482
所管換	令和4年度末累計	1	94	-	1,104	278	1,477
	令和5年度計	-	-	-	-	-	-
	累 計	1	94	-	1,104	278	1,477
不 明	令和4年度末累計	-	107	-	-	27	134
	令和5年度計	-	-	-	-	-	-
	累 計	-	107	-	-	27	134
合 計	令和4年度末累計	11,157	220,590	60,002	47,796	23,105	362,650
	令和5年度計	363	5,785	44	6,371	1,207	13,770
	累 計	11,520	226,375	60,046	54,167	24,312	376,420



新規登録資料点数は歴史部門が最も多く、6,371点で全体の約46%を占める。

地質部門では腕足動物化石等363点を、生物部門では青山コレクション(チョウ類標本)等5,785点を、歴史部門では金田一家古写真等6,371点を、民俗部門では玉櫻堂菓子舗関係資料、紫根染着物等1,207点を、考古部門では西平内I遺跡出土品等44点をそれぞれ登録した。

毎年増加する膨大な資料の登録を円滑に進め、将来的に多くの資料情報を当館ホームページ上で公開することを目指し、資料登録は平成24年4月から早稲田システム開発(株)が提供するI.B.Museum SaaSにより行っている。本システムは文字情報と画像情報をデータベース上で統合できること、登録情報のうち選択した部分のみをインターネット上で公開できることなどの利点がある。このシステムを使用し、現在1,233件の当館所蔵の資料情報及び画像を公開中である。

表 5. (4)-2 令和5年度の主な受贈資料

部門	寄贈者 (敬称略)	居住地 所在地	資 料 名	数 量
地 質	五井昭一	秋田市	久慈市および野田村産層植物化石標本	85
	菊池篤孝	滝沢市	鉱石標本 (黄鉄鉱)	1
	山崎政和	盛岡市	鉱石標本 (黄銅鉱)	1
	松田美智子	盛岡市	久慈産コハク	1
地質・考古	小野寺博	一関市	佐々木盛輔コレクション	一式
生 物	三上れい子	盛岡市	牧野富太郎からの書簡の写し	一式
	藤田智	盛岡市	メガネカイマン本剥製	1
	遠藤英實	東京都	昆虫標本	752
	市川杜夫	盛岡市	調査資料・写真・標本	一式
	—	—	ウサギ等毛皮	3
	佐々木和子	一関市	ヒグマの毛皮 (敷物)	1
	鈴木實	奥州市	植物標本	55箱
	佐々木全・悠太	滝沢市	トンボ標本	9
	小水内光浩	遠野市	アオウミガメ剥製	1
歴 史	村上康司	盛岡市	村上家資料	11
	小野寺崇夫	盛岡市	小野寺家教育関係資料	102
	村上頼子	新潟市	藤原勇五郎氏蔵書	3
	金田一要三	盛岡市	金田一家古写真	237
	—	—	鷹嘴円次郎コレクション	14
	横山由希子	盛岡市	岩手県志	1
歴史・生物	平井興太郎	盛岡市	平興商店関連資料	一式
歴史・民俗	青山タケ	盛岡市	写真等歴史資料・番傘等民俗資料	27
民 俗	—	—	木挽き鋸	17
	立花拡子・工藤榮子	盛岡市	ガラス乾板及び保存容器ほか	161
	千葉淳	盛岡市	パンフレット類	74
	南日詰大神楽保存会	紫波町	南日詰大神楽県指定記念公演 DVD	1
	梅木博	盛岡市	ワープロおよび卓上電子計算機	2
	薫山工房	盛岡市	クゴクサ見本	2
	澤田和夫	盛岡市	紫根染着物	2
	—	—	紫根染関係資料	一式
	村上頼子	新潟市	毛織物見本等	47
	金濱興一	紫波町	花巻人形	2

計 35件 1,750点・55箱・5組

表 5. (4)-3 資料の製作

部門	名 称	内 容 の 概 略
地 質	久慈産翼竜化石レプリカ	久慈市産翼竜の肢骨化石レプリカ 2点
生 物	鳥類と哺乳類の剥製、両生類のレプリカ	鳥類仮剥製6点、鳥類本剥製2点、哺乳類本剥製2点、両生類レプリカ3点
歴 史	聖寿寺館跡出土中世南部氏関係資料 (複製)	向鶴紋付刀装具、犬型土製品、金箔土器2片
民 俗	音源資料のデジタル化	昭和58年に市町村 (紫波町、矢巾町、葛巻町) で採録した民謡のカセットテープ計10本

表 5. (4)-4 資料の修繕

項目	部 門	内 容 の 概 略
修 繕	歴史	後藤新平書 (軸装)

表 5. (4)-5 機器類の保守点検と修繕

項目	部門	内容の概略
保守点検	歴史	マイクロリーダープリンター
保守点検	共通	電動リフト
修繕	共通	エアタイト大型展示ケース キャスター交換

イ. 資料の保管管理

収集整理した資料は部門別または材質別に、第1～5収蔵庫で保管される。収集した資料については調査研究が行われ、学術的に重要と判定されたものが博物館資料として登録される。調査研究の過程で得られた学術データはデータベース化される。登録資料および学術データは常設展示や特別展示で公開されるほか、「収蔵資料目録」の刊行、資料貸出し等をとおり、他機関における活用にも積極的に協力している。

(ア) 資料の貸出

本年度についても、博物館や出版社をはじめとする様々な機関から、所蔵資料および写真類について多数の貸出の要請があり、実物資料については18件(892点と2組)、画像(写真)資料については63件・172点の貸出を行った。博物館関係機関はもとより、教科書等教育用書籍への掲載を目的とする借用が多くを占めた(表5.(4)-6・表5.(4)-7)。

表 5. (4)-6 資料の貸出

部門	貸出先	所在地	資料名	点数
地質	石と賢治のミュージアム	一関市	気仙隕石	1
	株式会社IBC岩手放送	盛岡市	アンモナイトレプリカ制作用の型	20
	奥州市牛の博物館	奥州市	鯨類肋骨片化石ほか	22
生物	芦東山記念館	一関市	故菊地政雄教授植物採集用品	3
	滋賀県立琵琶湖博物館	滋賀県	アカアシヒゲナガゾウムシ標本ほか	61
考古	国立アイヌ民族博物館	北海道	蕨手刀	2
	北上市立博物館	北上市	北上市和賀町愛宕山遺跡出土資料	6
歴史	九戸村教育委員会	九戸村	小野寺家文書(当館寄託資料)	735
	株式会社岩手日報社	盛岡市	天台寺木造聖観音立像(複製)	1
	釜石市郷土資料館	釜石市	トピック展「本県出身者初のプロ棋士誕生」解説パネルほか	一式
	釜石市鉄の歴史館	釜石市	刀銘 以餅鉄盛岡住宮川源秀一作 慶應元年霜月日ほか	6
	盛岡市先人記念館	盛岡市	楢山佐渡・向井蔵人宛南部利剛感状ほか	5
民俗	遠野市立博物館	遠野市	掛幅「白澤避怪図」ほか	15
	原敬記念館	盛岡市	原家の正月料理膳(模型)ほか	2
	遠野市立博物館	遠野市	虫まつり人形ほか	6
その他	岩手県立平泉世界遺産ガイドセンター	平泉町	移動展ケース	4
	志波城跡愛護協会	盛岡市	移動展ケース	3
	食をはぐくむ会 子どもひろば	奥州市	貸出用教材むかしおもちゃ	15種

計 18件 892点、2組

表 5. (4)-7 画像資料の貸出（使用許可含）

部門	貸出先	資料名	点数
地質	株式会社ニュートンプレス	モシリユウの上腕骨	1
	NHK 盛岡放送局	モシリユウの上腕骨ほか	2
	株式会社講談社	ハナイズミモリウシ全身骨格標本（複製）	1
	田中宏一	岩手県立博物館外観ほか	3
	仙台市富沢遺跡保存館	ハナイズミモリウシ全身骨格標本（複製）	1
	釜石市産業振興部商工観光課	リンボク	1
	株式会社ベネッセコーポレーション	ハナイズミモリウシ全身骨格標本（複製）	1
	小野寺弘幸	マメンキサウルス全身骨格標本（複製）	1
	モリウシ希望ネット花泉	ハナイズミモリウシ全身骨格標本（複製）	1
	株式会社コミュニケーションシステムラボラトリー	モシリユウの上腕骨ほか	2
	株式会社ニュートンプレス	モシリユウの上腕骨	1
	株式会社エイジャ	ハナイズミモリウシ全身骨格標本（複製）	1
生物	実教出版株式会社	石灰岩壁植生ほか	2
	滝沢市立篠木小学校	カワシンジュガイ生息状況	1
	芦東山記念館	ゴヨウザンヨウラクほか	4
	滋賀県立琵琶湖博物館	カグヤコウモリ仮剥製背面ほか	2
考古	株式会社 ABC アーク	豊岡遺跡出土遮光器土偶	1
	バブーン株式会社	豊岡遺跡出土遮光器土偶ほか	4
	株式会社天夢人	花巻市熊堂古墳群出土 蕨手刀	1
	株式会社スタジオタッククリエイティブ	萩内遺跡出土大型土偶頭部ほか	2
	中央出版株式会社	豊岡遺跡出土遮光器土偶	1
	北海道中央バス株式会社	岩手県立博物館外観ほか	3
歴史	曾根憲次	南部盛岡藩参勤交代絵巻	1
	岩手めんこいテレビ	花巻温泉遊覧地図絵	1
	釜石市文化スポーツ部世界遺産課	刀 銘 以餅鉄盛岡住宮川源秀一作 慶應三年八月日ほか	9
	渡辺豪	三開伊日記	1
	弓田八平	鯰尾兜（燕尾形兜）	1
	佐々木勝宏	貞享元年正月従公義諸大名衆江仰出等	1
	読売新聞盛岡支局	書簡（熊谷宗吉あて）	1
	NHK 盛岡放送局	鯰尾兜（燕尾形兜）	2
	仙台放送	鯰尾兜（燕尾形兜）	1
	株式会社正進社	俵物（ふかひれ・煎海鼠・干鮑）	3
	（財）会津若松観光ビューロー	鯰尾兜（燕尾形兜）（3D 画像）	1
	株式会社盛岡タイムス	陸軍潜水輸送艇写真	1
	株式会社 E&W	鯰尾兜（燕尾形兜）	1
	株式会社吉川弘文館	天台寺蔵観音籤及び筒	2
	山東大学文化遺産研究院	太田夢庵コレクション	5
	株式会社ホビージャパン	脇差 銘 手柄山甲斐守正繁	1
	株式会社 KRY	大村氏絵系図	3
	岩手県立盛岡青松支援学校	鯰尾兜（燕尾形兜）ほか	5
	安藤昌益と千住宿の関係を調べる会	一富士二鷹三茄子（狩野休円）	1
	府中市美術館	岩手県観光鳥瞰図原図ほか	2
株式会社ディラナダチ	毛越寺観自在王院模型	1	
東京書籍株式会社	俵物（ふかひれ・煎海鼠・干鮑）	3	
株式会社ディラナダチ	毛越寺観自在王院模型	1	

部門	貸出先	資料名	点数
歴史	サイバー・ネット・コミュニケーションズ株式会社	俵物（ふかひれ・煎海鼠・干鮑）	3
	岩手県ふるさと振興部	岩根橋変電所（金田一家古写真）ほか	4
	遠野市教育委員会	三閉伊日記	1
民俗	盛岡タイムス	南部凧	1
	小野寺華子	田山暦（天明3年）ほか	3
	奥州市牛の博物館	森口多里コレクション写真ほか	35
	株式会社大和プレス	おしらさま（貫頭衣型）	1
	テレコムスタッフ株式会社	おしらさま（貫頭衣型）	4
	八幡平市	田山暦（天明3年）岩手県博本版	1
	株式会社テレビ岩手	森口多里コレクション写真	7
	株式会社有斐閣	遠野市 トウロウギ	1
	東京新聞	田頭相撲倶楽部絵はがき	1
	小野寺華子	暦（嘉永2年）ほか	16
その他	株式会社第一学習社	文化財レスキュー活動ほか	2
	盛岡市 市史編さん室	岩手県立博物館外観	1

計 63件 172点

（イ）資料の熟覧・撮影等

他機関の職員による展示会等の事前調査や研究者による収蔵資料の熟覧・撮影希望は26件（678点と7組）あり、昨年度並であった（表5(4)-8）。

表5.(4)-8 資料調査の熟覧・撮影

部門	貸出先	資料名	点数
地質	株式会社テレビ朝日	モシリユウの上腕骨化石ほか	3
	藪本美孝	雫石町産中新統魚類化石	一式
生物	大崎綾子	サワフタギ標本	80
	矢原徹一	セリ科 Angelica 属標本ほか	一式
考古	山本怜香	北上市江釣子古墳群五条丸支群51号墳出土馬具	1
	山田昌久	盛岡市葦内遺跡出土木製品	一式
	折登亮子	二戸市馬立Ⅱ遺跡出土土器ほか	7
	児玉大成	二戸市青ノ久保遺跡出土キノコ形土製品ほか	4
	東北歴史博物館	手代森遺跡出土遮光器土偶ほか	5
	坂口隆	盛岡市葦内遺跡出土石剣ほか	6
	仙台市富沢遺跡保存館	花泉遺跡出土化石	一式
	宮塚義人	奥州市中半入遺跡出土資料	7
	奈良貴史・萩原康雄	小松洞穴出土資料	一式
	松本建速	奥州市中半入遺跡出土須恵器ほか	10
	歴史	釜石市文化スポーツ部世界遺産課	刀 銘 以餅鉄盛岡住宮川源秀一作 慶應三年八月日ほか
小原祐子		藤田家資料ほか	一式
府中市美術館		岩手県観光鳥瞰図原図ほか	4
劉海宇		太田コレクション（中国古印）	一式
盛岡市長公室企画調整課盛岡城復元調査推進室		盛岡城関連資料	31
盛岡市先人記念館		南部家関連資料	26
株式会社KRY		私残記	1
前田留実		新山神社出土金銅懸仏	1

部門	貸出先	資料名	点数
民俗	植田紀子	及川全三関係資料	100
	米谷隆史	立石コレクション	322
	小野寺華子	暦関係資料	46
	吉田良一	盛岡竿	16

計 26 件 678 点、7 組

(ウ) 収蔵資料目録の刊行

当館収蔵資料を外部の機関や個人が有効利用できるようにすることを目的として、整理・検討が完了した登録資料について、目録を刊行している。令和5年度は刊行がなく、歴史部門及び生物部門が6年度中の刊行に向けて準備中である。

ウ. 文化財科学部門

岩手県立博物館には、先人から伝えられた貴重な文化財や、自然界の営みを知るうえで重要な自然史標本をはじめとする数多くの学術資料が収蔵・展示されている。これらの資料をできるだけ長くそのままの状態の後世に伝えるとともに、資料が有するさまざまな情報を自然科学的方法で解析し読み解くことを目的として、文化財科学部門が設置されている。

(ア) 資料の保管・管理

博物館資料をできるだけ長く後世に伝えるためには、資料の素材に適した保存環境を整える必要がある。岩手県立博物館では、収蔵庫及び展示室に温湿度記録計を設置し、継続的に温湿度変化を観察している。その結果にもとづき空調機を制御し、さらに必要に応じて除湿機や加湿器を使用しながら、展示室、収蔵庫内の温度を21～23℃、湿度を50～60%に維持することに努めている。なお、特に精密な湿度管理を施す必要がある資料については、調湿剤をセットしたエアタイトケースを活用している。

また、資料劣化に係る化学物質（ギ酸、酢酸、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、アンモニア）の濃度について、重要文化財展示・収蔵箇所を含む館内各所で年2回以上測定し、基準値を超過する箇所については活性炭等の吸着剤を使用して低減を図るなど安定化に努めている。

なお、劣化が進んだ出土金属製品や木製品については、脱酸素剤、調湿剤を入れた透湿抵抗の高いガスバリアフィルムに封入し、劣化の進行防止を図っている。

(イ) 生物学的劣化からの防除

紙製品、木製品、繊維製品、自然史標本等有機物を素材とする資料は、虫やカビにより汚損される心配がある。また、新たに博物館に搬入される資料には有害な虫やカビが付着している可能性があり、有害生物を駆除することなく収蔵庫や展示室に運び込んだ場合、急激に繁殖する恐れがある。有害な虫やカビから資料を守るため、岩手県立博物館では新規に搬入された資料について、必ず滅菌装置で殺菌殺虫処理（文化財用薬剤によるくん蒸）を行っている。令和5年度の滅菌装置によるくん蒸実施状況は、表5.(4)-9に示すとおりである。

表 5. (4)-9 滅菌装置によるくん蒸実施状況

部門・課	数量	資料種別
考古	17 件	骨角器類、文書類、演示具 他
歴史	97 件	テーマ展借受資料、トピック展借受資料、掛軸、卷子、古文書類、漆製品、もつきり関係資料 他
民俗	117 件	藁製品、クゴクサ、花巻人形、和傘、染織品、書簡類、電子機器、文書類、こけし、和紙 他
生物	91 件	昆虫標本、植物標本、剥製、毛皮、文書類 他
文化財科学	36 件	陸前高田市立博物館所管東日本大震災被災資料
学芸第三課	5 件	体験用資材 他

令和5年9月1日から10日まで、密閉くん蒸法により、第1・第2・第3・第4収蔵庫、歴史・古美術整理室及び第2資料登録室、第1・第2書庫、総合展示室、いわて文化史展示室、特別展示室、いわて自然史展示室をくん蒸した。これら各地点についてはその後、有害な虫やカビの発生源となる空調機の送排風口、収蔵庫の棚及び展示ケース上部に固着する塵埃の除去も行った。なお、令和5年6～7月及び9月には館内の害虫生息調査及び浮遊菌調査を、同年12月及び令和6年2月には浮遊菌調査を実施している。

令和6年度についても、有害な虫やカビの発生を抑制する良好な展示・収蔵環境の確立を図るため、労働安全衛生法および関連諸規則を順守しつつ、生物学的劣化防除のための対策を施す予定である。

(ウ) 作業環境測定

当部門の業務では、特定化学物質や有機溶剤等を使用することがあり、その作業環境を良好に保つため、第三者機関による作業環境測定を年2回実施している。令和5年度の実施結果は表5.(4)-10に示すとおりである。

表 5. (4)-10 作業環境測定結果

実施日	単位作業場所	測定項目	管理区分
令和5年6月19日	器具庫（局所排気装置）	混合有機溶剤	1
	器具庫（室内）	混合有機溶剤	1
	消毒室	酸化プロピレン	2
令和5年12月4日	器具庫（局所排気装置）	混合有機溶剤	1
	器具庫（室内）	混合有機溶剤	1
	消毒室	酸化プロピレン	1

(エ) 機器類の保守点検と修繕

分析・測定精度や安全性を担保する必要がある機器類及び設備について、定期的に保守点検を行い、不具合が生じた物について修繕を実施している。令和5年度の実施状況は、表5.(4)-11に示すとおりである。

表 5. (4)-11 保守点検と修繕の実施状況

事業名	内容
文化財科学実験システム保守点検	局所排気装置、分析室空調機の精度点検・調整、消耗部品交換等。
表面分析装置保守点検	波長分散型蛍光 X 線分析装置、エネルギー分散型蛍光 X 線分析装置、X 線回折装置の精度点検・調整、漏洩 X 線測定、消耗部品交換等。
保存処理機器保守点検	大型真空凍結乾燥機、真空樹脂含浸装置の精度点検・調整及び消耗部品交換等。
博物館資料滅菌システム保守点検	滅菌装置のセンサー点検・調整及び消耗部品交換等。

(オ) 機器類の更新

老朽化が進み使用不可・修理不能となっていた下記機器が今年度更新され、使用可能となった。

表 5. (4)-12 更新された機器類

機器名	用途	前回配備年度
エアブレイシブ装置	資料表面に固着する土砂等の汚れや不安定な錆び等を除去する装置。	平成 3 年
金属顕微鏡（微小表面拡大観察装置）	主に岩石・鉱物、顔料、金属等を素材とする文化財の表面観察を行う装置。	昭和 63 年

(5) 総務企画調整

ア. 総括出版広報

(ア) 印刷物

a. 博物館だより

177 号 目次／テーマ展「北上川上流五大ダム探検大作戦」表紙／いわて自然ノート「北上市で化石を探して」 p. 2-3／展覧会案内「テーマ展『北上川上流五大ダム探検大作戦』」 p. 4-5／トピック展案内「トピック展『本県初のプロ棋士誕生』」／事業報告「博学連携事業 岩手県立平舘高等学校の生徒さんによる操り人形装束製作」 p. 6／活動レポート「チャレンジ! はくぶつかん」／施設案内「100 段の階段、令和の大改修」 p. 7／インフォメーション p. 8

178 号 目次／テーマ展「早池峰山の花と森」表紙／いわて文化ノート①「津波被災資料再生の 12 年」 p. 2／いわて文化ノート②「東日本大震災被災博物館・文化財等の現在、そして未来」 p. 3／展覧会案内「テーマ展『早池峰山の花と森』」 p. 4-5／事業報告「四十四田ダムの森を探検! (テーマ展「北上川上流五大ダム探検大作戦」関連イベント)」／事業報告「県博バックヤードツアー (2023 年度「国際博物館の日」関連事業)」 p. 6／事業報告「第 85 回地質観察会『大船渡市の石炭紀の生物を見る』」／資料紹介「岩手県立博物館デジタルアーカイブから」 p. 7／インフォメーション p. 8

179 号 目次／特別展「ポケモン化石博物館」表紙／いわて文化ノート「方割石と磨痕石～古代の生業を探る～」 p. 2-3／展覧会案内「特別展『ポケモン化石博物館』」 p. 4-5／事業報告「北上川五大上流五大ダム探検大作戦」／事業報告「なつやすみスペシャル! 『ナイトミュージアム』」 p. 6／事業報告「民俗講座② こどものためのワークショップ『たいけん! むかしのくらし』」／活動レポート「令和 5 年度博物館館園実習」 p. 7／インフォメーション p. 8

180 号 目次／テーマ展「ラグビーといわて」表紙／いわて文化ノート「呼び起こす～文献資料に眠る盛岡藩の囲碁～」 p. 2-3／展覧会案内「テーマ展 ラグビーといわて」 p. 4-5／事業報告「第 12 回 博物館まつり&ミュージアムコンサート」／事業報告「博物館で学ぶ岩手の歴史講座」 p. 6／事業報告「第 86 回地質観察会『一戸町根反川周辺の珪化木をみる』」／資料紹介「岩手県立博物館デジタルアーカイブから」 p. 7／インフォメーション p. 8

b. 令和5年度岩手県立博物館年報

令和6年6月1日発行（A4判相当PDF版、88頁、ホームページ掲載）

c. 行事案内リーフレット

令和5年度下半期分（B4変形・巻四ツ折、26,000部、令和5年9月発行）

令和6年度上半期分（B4変形・巻四ツ折、26,000部、令和6年4月発行）

d. いわはく子ども新聞

令和5年7月発行（A4・60,000部）

令和6年3月発行（A4・60,000部）

*令和2年度より全県の小学生を対象に配付している。

(イ) 広報活動

a. 当館独自の広報

①定期発行

博物館だより（年4回、全国の公共施設等へ配布、3,000部）

イベントガイド（毎月、市内公共施設及び松園・黒石野・緑が丘地区町内会配布、2,000部）

※その他、PDF版を県内市町村教育委員会、県内小学校・支援学校小学部等へ送信

行事案内リーフレット（年2回、公共施設および観光施設等へ配布、26,000部）

いわはく子ども新聞（年2回〔夏・春号〕、全県の小学校等へ配布、60,000部）

②不定期発行

展覧会等、各事業ちらし（随時）

b. その他の公所

日本博物館協会、全国科学博物館協議会、県庁広聴広報課、教育記者クラブ、県政記者クラブ、
県観光協会、盛岡観光コンベンション協会

c. 新聞各社への情報提供

胆江日日新聞、東海新報、岩手日報ぽらん、岩手日日新聞いわにちりビング、デーリー東北（青森県）、秋田魁新報（秋田県）、北鹿新聞（秋田県）等

d. ミニコミ誌等

Acute、Amuse、AREAi、情報誌游悠、rakra、松園新聞、まいふれ盛岡編集部、盛岡経済新聞、
岩手の子育て情報誌fam、大人のための情報誌シニアズ等

e. テレビ・ラジオによる広報

令和5年度は「岩手県立博物館広報業務」について、株式会社岩手広告社に広報業務委託を行った。期間は、令和5年6月28日（水）～令和6年3月31日（日）で主に博物館の展覧会をアピールする広報を実施した。主な実績としては、めんこいテレビ15秒スポットCMを330本、GoogleならびにYahoo 提携サイトへのディスプレイ広告、YouTube インストリーム広告等を実施した。ラジオによる広報は実施しなかった。

f. 主な取材対応

表 5. (5) -1 主な取材対応一覧 (主としてテレビ・ラジオ)

No.	取材対応日	取材相手	対応者	対応案件	備考 (番組名等)
1	4月7日	NHK 盛岡放送局	鈴木まほろ	新収蔵・新指定展 II	朝・夕方のニュース (4月10日)
2	4月26日	NHK 盛岡放送局	村田 雄哉	トピック展「本県出身者初のプロ棋士誕生」	夕方のニュース (4月26日)
3	4月26日	テレビ岩手	村田 雄哉	トピック展「本県出身者初のプロ棋士誕生」	昼・夕方のニュース (4月26日)
4	4月26日	岩手朝日テレビ	村田 雄哉	トピック展「本県出身者初のプロ棋士誕生」	夕方のニュース (4月26日)
5	4月26日	IBC 岩手放送	村田 雄哉	トピック展「本県出身者初のプロ棋士誕生」	昼・夕方のニュース (4月26日)
6	4月26日	岩手めんこいテレビ	村田 雄哉	トピック展「本県出身者初のプロ棋士誕生」	夕方のニュース (4月26日)
7	5月1日	岩手めんこいテレビ	工藤 健	当館資料「花巻温泉遊園地図絵」	山海漬内で紹介 (5月20日)
8	6月6日	NHK 盛岡放送局	目時 和哉	文化遺産防災マップ	おぼんですいわて (6月8日)
9	6月30日	NHK 盛岡放送局	目時 和哉	文化遺産防災マップ	みみより! 暮らし解説 (7月6日)
10	7月19日	NHK 盛岡放送局	鈴木まほろ	トピック展「牧野富太郎先生からの手紙」	昼・夕方のニュース (7月19日)
11	9月27日	テレビ岩手	鈴木まほろ	テーマ展「早池峰山の花と森」	夕方のニュース (9月27日)
12	12月18日	テレビ局各社	望月 貴史	特別展内覧会	各局ニュース (12月18日)
13	1月26日	NHK 盛岡放送局 他	総務課	文化財防火デー火災防御訓練	各局ニュース (1月26日)
14	1月28日	テレビ岩手 他	総務課	特別展 2万人セレモニー	夕方のニュース (1月28日)
15	2月18日	テレビ岩手 他	総務課	特別展 3万人セレモニー	夕方のニュース (2月18日)
16	2月21日	NHK 盛岡放送局	望月 貴史	野田村産アンモナイト化石	夕方のニュース (2月21日)
17	2月29日	テレビ岩手 他	総務課	特別展 4万人セレモニー	夕方のニュース (2月29日)
18	3月23日	岩手めんこいテレビ	工藤 健	テーマ展「ラグビーといわて」	夕方のニュース (4月22日)
19	3月23日	岩手朝日テレビ	工藤 健	テーマ展「ラグビーといわて」	未定
20	3月26日	NHK 盛岡放送局	工藤 健	テーマ展「ラグビーといわて」	昼のニュース、おぼんですいわて (3月26日)
21	3月29日	IBC 岩手放送	工藤 健	テーマ展「ラグビーといわて」	ニュースエコー (3月29日)
22	3月29日	ラジオもりおか	工藤 健	テーマ展「ラグビーといわて」	ネットニュース (3月29日)

(ウ) 博物館ホームページ及び SNS の運営

岩手県立博物館公式ホームページ <https://www2.pref.iwate.jp/~hp0910/>

公式ホームページは、平成 13 年 3 月 1 日に正式公開された。平成 24 年度末に委託製作によりデザインを刷新し、またウェブサーバの cgi プログラムを介して内容を更新できるシステムを導入することにより、更新頻度を高めた。令和 5 年度、トップページの閲覧回数は 185,885 回だった。

I.B.Museum SaaS を利用した当館収蔵資料の公開システム「デジタルアーカイブ」への令和5年度のアクセス実績は、36,284回だった。

SNS の利用としては、開館30周年を機に平成22年9月30日からXアカウントを運用している。令和5年度内のポスト回数は402回であった。年度末時点のXアカウントのフォロワー数は6756人と、前年度に比べて約9.3%増加した。

イ. 情報機器の管理

令和5年度は、3月に展示室2階及びFreeWiFi設備の修理作業を行った。また、工作室に設置している無線LANアクセスポイントを更新した。その他、個人貸与のノートパソコン2台のバッテリー交換等修理を行った。

ウ. 委員会等職員派遣

県や市町村などからの依頼に応じて学芸員を派遣している。令和5年度の派遣回数は57回であった。

表5. (5) -2 委員会等職員派遣

No.	月 日	委嘱元	委員会等名称	内 容	派遣職員
1	5月11日	岩手県農林水産部水産振興課	岩手県カワウ等被害防止対策協議会	同左 令和5年度	高橋雅雄
2	5月16日	岩手県県南広域振興局	北上地区希少野生動植物保護検討委員会	現地希少植物調査	鈴木まほろ
3	5月17日	北上市教育委員会	国指定史跡八天遺跡保存活用計画等策定委員会	現地植物相調査	鈴木まほろ
4	5月23日	岩手県環境生活部環境保全課	岩手県環境影響評価技術審査会	現地視察	鈴木まほろ
5	5月24日	岩手県環境生活部自然保護課	いわてレッドデータブック改訂検討委員会専門部会	同左	鈴木まほろ 渡辺修二 高橋雅雄
6	5月31日	釜石市文化・スポーツ課	釜石市文化財保存活用地域計画協議会	釜石市の文化財保存活用地域計画等	川向富貴子
7	5月31日	岩手県沿岸広域振興局	大船渡地区希少野生動植物調査検討委員会	現地希少植物調査	鈴木まほろ
8	6月1日	岩手県環境生活部環境保全課	県環境影響評価技術審査会	同左 第101回	鈴木まほろ
9	6月1日	青森県環境生活部環境保全課	青森県環境影響評価審査会	全体会	高橋雅雄
10	6月2日	大船渡市教育委員会	大船渡市文化財調査委員会	同左	近藤良子
11	6月2日	八幡平市博物館	八幡平市博物館協議会	同左 令和5年度第1回	金子昭彦
12	6月7日	岩手県教育委員会	教育振興運動・地域学校協働活動市町村担当者研修会	同左	戸根貴之
13	6月14日	岩手県県南広域振興局	北上地区希少野生動植物保護検討委員会	現地希少植物調査	鈴木まほろ
14	6月22日	岩手県沿岸広域振興局	大船渡地区希少野生動植物調査検討委員会	現地希少植物調査	鈴木まほろ
15	6月22日	滝沢市教育委員会	滝沢市文化財調査委員会	チョウセンアカシジミ調査	渡辺修二
16	6月30日	岩手県県南広域振興局	北上地区希少野生動植物保護検討委員会	同左	鈴木まほろ

No.	月 日	委嘱元	委員会等名称	内 容	派遣職員
17	7月6日	釜石市文化・スポーツ課	釜石市文化財保存活用地域計画協議会	釜石市の文化財保存活用地域計画等	川向富貴子
18	7月6日	岩手県沿岸広域振興局	大船渡地区希少野生動植物調査検討委員会	現地希少植物調査	鈴木まほろ
19	7月7日	盛岡市教育委員会	盛岡市子ども科学館協議会	同左 2023年度第1回	高木晃
20	7月7日	岩手町教育委員会	—	岩手町歴史文化館（仮称）の展示計画等	戸根貴之
21	7月11日	岩手県教育委員会（中部教育事務所）	地域とともにある学校づくり推進フォーラム	同左	戸根貴之
22	7月12日	宮古市教育委員会	宮古市北上山地民俗資料館運営委員会	資料館事業実施報告・事業計画	川向富貴子
23	7月21日	滝沢市教育委員会	滝沢市文化財調査委員会	同左 令和5年度第1回	渡辺修二
24	7月25日	岩手県沿岸広域振興局	大船渡地区希少野生動植物調査検討委員会	現地希少植物調査	鈴木まほろ
25	7月25日	釜石市教育委員会	釜石市橋野高炉跡史跡整備検討委員会	今年度事業内容協議	丸山浩治
26	7月26日	岩手県環境生活部環境保全課	県環境影響評価技術審査会	同左 第102回	鈴木まほろ 高橋雅雄
27	8月9日	岩手県環境生活部環境保全課	県環境影響評価技術審査会	現地視察	鈴木まほろ
28	8月25日	釜石市文化・スポーツ課	釜石市文化財保存活用地域計画協議会	釜石市の文化財保存活用地域計画等	川向富貴子
29	9月28日	岩手県県南広域振興局	北上地区希少野生動植物保護検討委員会	現地希少植物調査	鈴木まほろ
30	9月29日	北上市教育委員会	国指定史跡八天遺跡保存活用計画等策定委員会	同左	鈴木まほろ
31	10月31日	岩手県環境生活部環境保全課	県環境影響評価技術審査会	同左 第104回	鈴木まほろ
32	11月1日	釜石市文化・スポーツ課	釜石市文化財保存活用地域計画協議会	釜石市の文化財保存活用地域計画等	川向富貴子
33	11月8日	環境省東北地方環境事務所	東北カワウ広域協議会	同左 令和5年度	高橋雅雄
34	11月14日	金ヶ崎町	生物多様性かねがさき地域戦略推進協議会	同左	鈴木まほろ
35	11月14日	青森県環境生活部環境保全課	青森県環境影響評価審査会	風力発電1件の審査	高橋雅雄
36	11月29日	岩手県環境生活部自然保護課	いわてレッドデータブック改訂検討委員会専門部会	同左	鈴木まほろ 渡辺修二 高橋雅雄
37	12月5日	釜石市文化・スポーツ課	釜石市文化財保存活用地域計画協議会	釜石市の文化財保存活用地域計画等	川向富貴子
38	12月12日	北上市教育委員会	国指定史跡八天遺跡保存活用計画等策定委員会	同左	鈴木まほろ
39	12月22日	岩手町教育委員会	—	岩手町歴史文化館（仮称）の展示計画等	戸根貴之
40	1月18日	岩手県環境生活部環境保全課	県環境影響評価技術審査会	同左 第105回	鈴木まほろ
41	1月25日	岩手県環境生活部自然保護課	岩手県希少野生動植物保護検討委員会	同左	鈴木まほろ
42	1月29日	岩手県環境生活部自然保護課	いわてレッドデータブック改訂検討委員会	同左	鈴木まほろ 渡辺修二 高橋雅雄
43	1月31日	岩手県環境生活部環境生活企画室	岩手県環境審議会	同左 第54回	鈴木まほろ
44	1月31日	岩手県県土整備部河川課	いわての川づくりプラン懇談会	令和5年度いわての川づくりプラン懇談会	鈴木まほろ

No.	月 日	委嘱元	委員会等名称	内 容	派遣職員
45	2月5日	岩手県環境生活部自然保護課	早池峰地域保全対策事業推進協議会シカ対策部会	同左	鈴木まほろ
46	2月6日	東北森林管理局	早池峰山周辺地域ニホンジカ生息状況・植生調査に係る検討委員会	同左	鈴木まほろ
47	2月6日	岩手県教育委員会	教育振興運動推進幹事会	今年度事業報告・次年度事業計画	戸根貴之
48	2月15日	青森県環境生活部環境保全課	青森県環境影響評価審査会	風力発電1件の審査	高橋雅雄
49	2月19日	岩手県南広域振興局	北上地区希少野生動植物保護検討委員会	同左	鈴木まほろ
50	2月20日	釜石市教育委員会	釜石市橋野高炉跡史跡整備検討委員会	今年度事業報告・次年度事業計画	丸山浩治
51	2月22日	青森県農林水産部水産局水産振興課	青森県カワウ対策協議会	同左 令和5年度	高橋雅雄
52	2月22日	青森県内水面漁業協同組合連合会	青森県カワウ被害防除対策研修会	同左 令和5年度	高橋雅雄
53	3月1日	岩手県沿岸広域振興局	大船渡地区希少野生動植物調査検討委員会	同左	鈴木まほろ
54	3月1日	盛岡広域振興局	希少野生動植物検討委員会	同左 令和5年度	渡辺修二
55	3月8日	盛岡市教育委員会	盛岡市子ども科学館協議会	同左 2023年度第2回	高木晃
56	3月11日	滝沢市教育委員会	滝沢市文化財調査委員会	同左 令和5年度第2回	渡辺修二
57	3月13日	北上市教育委員会	国指定史跡八天遺跡保存活用計画等策定委員会	同左	鈴木まほろ

エ. 外部助成

今年度2件の助成を受けたほか、令和2年度に採択された科学研究費助成事業1件が令和5年度まで継続中である。うち河北潟研究奨励助成は令和6年度に継続するものである。

表5. (5) -3 令和5年度外部助成金採択状況

氏名	部門	関連事業・研究テーマ名等	助成の名称	金額	申請先
高橋雅雄	生物	湿性草原の生物多様性保全における耕作放棄地の生態的価値：越冬鳥類を指標とした評価	科学研究費助成事業	429万円 (R5年度39万円)	独立行政法人日本学術振興会
鈴木まほろ	生物	ゲノム情報と正確な同定にもとづく維管束植物の統合データベース構築と多様性指標・保全優先度の地図化技術の開発	環境研究総合推進費	機関配分額 45万円	独立行政法人環境再生保全機構
高橋雅雄	生物	湿性草原棲鳥類の河北潟周辺での越冬状況の解明	2023年度河北潟研究奨励助成	10万円 (令和6年度継続)	NPO法人河北潟湖沼研究所

オ. 連携協定

三陸地域の活性化と持続的な発展に寄与することを目的とし、三陸ジオパーク推進協議会と連携協力していく事業を推進するための協定を締結した(令和4年12月15日、宮古市イーストピアみやこ)。

連携・協力事業は次のとおりである。

- (ア) 三陸の地域社会のつながりに関する文化・歴史の学術研究（取組）に関すること
- (イ) 三陸地域の生物に関する学術研究（取組）に関すること
- (ウ) 三陸地域の地形・地質等地球化学分野の学術研究（取組）に関すること
- (エ) その他、教育、情報発信など本協定の目的に沿うと認められる事業



図 5. (5)-1 協定締結式の様子

表 5. (5) -4 令和5年度連携協定実績

部門	月 日	場 所	事 業 名	内 容	対 応 者
地質	8 月 17 日	宮古市民総合体育館	認定ガイド認定講座	三陸の成り立ちに関する講演	望月 貴史
生物	10 月 1 日	九戸教育会館	認定ガイド認定講座	三陸の植生に関する講義	鈴木まほろ
生物	2 月 29 日	シーパル大船渡	新規サイト登録に向けた勉強会	五葉山の生態学的特徴に関する講義	鈴木まほろ

(6) 新型コロナウイルスへの対応について

新型コロナウイルス感染症の流行拡大に対応し、令和2年度から当館ではさまざまな感染拡大防止策を講じてきた。しかし、令和5年5月8日付けで新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが「新型インフルエンザ等感染症（2類相当）」から「5類感染症」に変更されることになり、当館における感染拡大防止策の運用も同日付で以下のとおり改めることとした。

〈入館者への対応〉

消毒と検温、マスクの着用は個人の主体的な選択を尊重する対応に改めた。

〈館内での対応〉

引き続き、エントランス、各展示室の入口、各階トイレ前、ハンズオン展示等の付近に手指消毒用アルコールを設置している。

また、来館者が直接触れるような場所・物（タッチパネルやタブレット、ボタン型スイッチ、ハンズオン、記念スタンプなど）は必要に応じて解説員が随時消毒を行っている。貸し出し用の車椅子やベビーカー、手押し車、老眼鏡、VR、視聴用器具、筆記具、クリップボードなども使用後に必要に応じて消毒を行った。

喫茶「ひだまり」では、手指消毒用アルコール設置をはじめ、机の配置の変更などを継続した。体験学習室をのぞき、入場制限等は撤廃した。

〈体験学習室の対応〉

【消毒作業】閉館時間30分前の16時閉室とし、遊具等の消毒を行っている。また、平日の12時30分から13時30分も閉室し室内消毒を継続している。

【利用制限】同時の利用人数の上限を15名程度とし、団体での利用は不可としている。また、令和5年1月より土日祝日は60分ごとの入れ替え制（1日4回）で開室している。

〈イベント〉

館内外実施の当館主催イベントは定員の上限を撤廃し、通常の広報活動を行った。

また、岩手県文化振興事業団自主事業の集客イベント「博物館まつり」を4年ぶりに復活させた。

上記のように、種々の感染拡大防止策を講じながら事業の運営にあたり、幸いにも当館の利用に起因する入館者・利用者の感染はこれまで報告されていないが、引き続き効果的な感染防止策と博物館事業実施の両立を図るべく検討を重ねているところである。

6. 被災文化財等再生活動

(1) はじめに

2011年3月11日に発災した東日本大震災によって、東日本太平洋沿岸部に在った膨大な数の文化財、自然史標本、その関連資料等が被災した。当館ではこの未曾有の大規模自然災害発生を受け、2011年4月2日以降、岩手県太平洋沿岸部で被災した様々な資料の救出とその再生に取り組んできた。救出された資料は概ね50万点にのぼり、その約46万点は本県内で最も被害の大きかった陸前高田市の所管資料である。

当館に搬入された被災資料のうち、宮古市、山田町、大槌町、釜石市、大船渡市の5市町の資料については2019年度末で措置を完了した。しかし、陸前高田市所管資料はおよそ28%が安定化処理未了の状態であり、その処理を日々進めている。

(2) これまでと現在

救出された資料を再生するには、津波によってもたらされた砂や泥、その後に発生したカビや、塩分など目視では確認困難な資料劣化誘因物質を除去し、資料を長期にわたり安定した状態で保管できる状態にする安定化処理が不可欠である。そこで当館では、全国の博物館、大学、文化財科学の研究者等と連携しながら試行錯誤を重ね、その安定化処理方法の構築に努めてきた。



図 6. (2)-1 安定化処理前の状態確認



図 6. (2)-2 安定化処理（中性洗剤による洗浄）



図 6. (2)-3 安定化処理後の残留塩素測定



図 6. (2)-4 和綴本の修理（裏打ち）

2015年までの安定化処理は除泥と脱塩、除菌を目的とした内容であったが、処理を終えて経過観察していた紙製資料と民俗資料の一部に異臭や変色等の異常が確認された。その原因と対処法を東京文化財研究所の指導の下で共同調査・検討した結果、ヘドロ由来のタンパク質や脂質が微生物の繁殖に起因している可能性が指摘され、この改善策として新たに医療用中性洗剤を用いたタンパク質や脂質の洗浄・除去工程を2016年度より加えることとなった。これ以降、同様の異常発生は確認されていない。しかし、中性洗剤の使用はその残留を防ぐための十分なすすぎ工程が不可欠であり、場合によっては資料に負担をかけることに繋がる。よって、中性洗剤の使用量は極力少ないほうがよい。同工程導入当初は中性洗剤濃度0.5%を基本としてきたが、2019年度末に再度の共同調査を行い、2020年度からは0.3%に減じて洗浄作業を実施している。これによる不具合は現在までのところ確認されていない。

2023年度に当館で実施した安定化処理及び修理は、表6に示すとおりである。

表6 2023年度の安定化処理及び修理の実施状況

	件名	件数
1	被災紙製資料安定化処理及び修理業務	1
2	被災鳥羽源藏コレクション安定化処理及び修理業務	1
3	被災自然史関連資料修理業務	1

(3) 今後の課題

発災から13年が経過した現在も、陸前高田市の津波被災資料は未処理のものが相当数残されている。また、安定化処理を施した資料であっても、津波で被災した資料の再生は国際的に未経験であるため、保管の過程で状態に変化が生じないかどうかを当分の間注意深く経過観察する必要がある。課題は依然として多く、被災文化財等の再生活動には今後も長期的な対応が求められる。

一方で、東日本大震災以降も台風や集中豪雨による水害が多発しており、これにより文化財等が水損する被害が全国各地で発生している。

当館では、これまで被災資料再生に従事してきた専門機関との連携を今後も図りつつ、残された資料の再生を進めるとともに、今後も起こり得る大規模自然災害に対する備えの啓発と2次レスキューへの協力、被災資料を安全に処理しうる汎用的な方法の構築にさらに取り組んでいきたいと考えている。皆様には引き続き御支援をお願いしたい。

7 「東北発 博物館・文化財等防災力向上プロジェクト」事業について

(1) はじめに

岩手県立博物館では、平成26年(2014)より、東日本大震災被災地における被災した博物館・文化財等の再生に向けた取組を支援するとともに、その過程で得られた被災文化財等再生のノウハウを、今後発生が懸念される大規模自然災害に備えて、国内外と共有することを目的とした「津波により被災した文化財の保存修復技術の構築と専門機関の連携に関するプロジェクト」(通称「大津波プロジェクト」)。以下この通称で略記する。)を立ち上げ、文化庁による助成金も活用しながら、全国各地での展覧会やワークショップ等の活動を継続してきた。

令和4年度には文化庁によって新たに用意されたInnovate MUSEUM事業の助成を受け、約10年にわたる「大津波プロジェクト」の取組を発展的に継承して、東日本大震災を経験した東北から国内の博物館・文化財等防災力の底上げをはかることを目的とした「東北発 博物館・文化財等防災力向上プロジェクト」を企画・実施した(事業の詳細については令和4年度の当館年報を参照されたい)。幸い令和5年度も文化庁による上記助成を受けられる運びとなり、前年度の達成に立脚しつつ、新たな要素を採り入れながら、一層広範かつ強固なネットワーク形成に努めた。

本章では令和5年度における当該プロジェクトの事業成果の概略について、以下に報告する。

(2) 事業別成果報告

I. 広域連携による博物館・文化財等の地域防災モデルケース創出活動

i) 文化遺産防災マップを活用した実践的防災力強化事業

① 図上訓練実施

令和5年4月から本格的な運用を開始した岩手県版文化遺産防災マップの利活用を促進するため、令和5年11月24日に同マップを活用した図上訓練を、岩手県内外の17機関35名の参加を得て実施した。実際の文化施設・文化遺産の被災を想定した訓練を行うことにより、自然災害発生時における当該マップの活用可能性と、活用する上での課題が浮彫となった。はからずも訓練実施から約一か月の後には令和6年能登半島地震に見舞われることになり、実行委員会構成機関の一つである東北大学災害科学国際研究所が同様のオンラインマップのスキームを用いて被災県の関係機関に文化遺産の被災可能性について情報提供を行うに当たり、本実践もその円滑な実現に資する結果となった。

② 文化遺産防災マップの充実化

文化遺産防災マップに関する一連の取組は、各種報道機関に取り上げられ、一般からも広く関心を集めるとともに、令和5年10月に開催された博物館セキュリティ国際委員会東京大会でも国際的な情報発信の機会を得た。文化遺産防災マップの意義や、保護の対象としての文化財等に対する参加者の理解の進展が進展した結果、令和4年度末時点で指定文化財のみ約2000件を登録する防災マップの情報数について、未指定文化財を中心に約750件を追加搭載することができた。

【防災マップに関する報道のオンライン記事】 ※いずれも令和6年3月31日最終閲覧。

N H K : <https://www3.nhk.or.jp/lnews/morioka/20230608/6040017927.html>

読売新聞 : <https://www.yomiuri.co.jp/local/iwate/news/20231125-OYTNT50192/>

ii) 市民文化財防災士養成事業

①被災文化財応急処置技術講習会

自然災害等で被災した文化財の応急処置のみならず、日々の資料保全にも活用できる劣化漆工資料に対する応急処置（膠による剥離した塗膜の固定と破断した部材の接合）技術の共有をはかるための講習会を令和6年1月12日、陸前高田市立博物館生出収蔵施設において、同館より会場と資料の提供を得て実施した。東日本大震災や令和元年東日本台風の被災地で資料再生に当たる博物館職員をはじめとする40名超の参加者を得て、陸前高田市において蓄積されている被災資料に対する処置のノウハウの一端を共有することができた。32名分のアンケートを回収できたが、満足度は100%だった。

【アンケートに記された今後の受講希望内容】

- ・紙資料に関する簡易的な裏打ち方法
- ・下張り文書の適切な回収方法
- ・劣化した写真資料（ガラス乾板を含む）の処置法
- ・サビが進む資料への対処法



写真 7. (2)-1 講習会の模様

②映像制作

講習会で行われた作業内容をつぶさに記録した映像を制作し、当実行委員会の専用サイト上で公開した。これにより、参加者は習得した技術について随時振り返りを行うことができ、また参加者以外にも広くノウハウを共有することが可能となった。

【制作動画アップロード先URL】 <https://www.youtube.com/watch?v=P2B7RgPac7s>

II. 被災資料・災害遺構を媒介とした全国規模の防災ネットワーク構築活動

i) 「吉田家文書」等を媒介とした地域史料保全・活用ネットワーク創出事業

①地域史料解読会の実施

東北～関東地方を中心に、東日本大震災被災地に心を寄せる近世史研究者らによる新たな情報交換・交流の場を、オンラインツールを活用することで確立することができた。それにより同災害被災地の象徴的な歴史史料の一つである「吉田家文書」及び福島県富岡町に伝わる数少ない近世史料の一つである「年中記」合計150枚超について、翻刻文を作成し、「吉田家文書」分については、今後一般に利用されるデータベースの充実にも資することができた。

②地域史料見学会の実施

オンラインで行われる地域史料解読会参加者間のネットワーク強化のため、取扱い対象となる史料の原本や史料所在地の背景について学ぶバスツアーを実施した。関西や九州の災害被災地に立地する施設を含む全国14の機関の職員等が交流する機会となり、「現在読んでいる史料の背景について具体的なイメージを持つことができた」「特に福島は震災が現在進行形であることを再認識させられる貴重な機会だった」などといった感想が寄せられ、参加者満足度は100%だった。



写真 7. (2)-2 OCR を併用した地域史料解読



写真 7. (2)-3 地域史料見学会の様様



ii) 地域・災害種をまたいだ被災地間の連携による共同情報発信事業

①コンテンツ制作

これまで当プロジェクトが制作してきた東日本大震災（津波及び原子力災害）被災ミュージアムとは、地域や災害種を異にする野島断層保存館（直下型地震被害、関西地方）、雲仙岳災害記念館（火山噴火、九州地方）と共同で、過去の災害に関する伝承と情報発信に活用可能な映像コンテンツ合計4点を制作した。とりわけ兵庫県南部地震によって生じた断層や、一般の立ち入りが制限されている雲仙岳平成噴火の災害遺構を自由な角度から観察できるコンテンツは、教育をはじめ幅広い分野での活用が期待される。また、制作に係る協業を通じて、異なる災害被災地に所在する施設間で新たな関係性を構築することができた。

②コンテンツ公開

作成したコンテンツについては以下のURLで公開している。

野島断層保存館オンラインツアー
https://youtu.be/w2MGREO_bFs
 国指定天然記念物野島断層 360° 動画
<https://youtu.be/KzfsMb7T3ak>
 雲仙岳災害記念館オンラインツアー
<https://youtu.be/e3hqig8ccKw>
 雲仙岳平成噴火災害遺構「定点」 360° 動画
<https://youtu.be/R461zkztQsM>



写真 7. (2)-4 雲仙岳平成噴火災害遺構360° 動画

III. 博学連携を通じた次世代の博物館・文化財等防災担い手育成活動

i) 博学連携による文化財防災に関する共同探究学習推進事業

①県内フィールドワーク

博物館・文化財等防災の意義や必要性を、東日本大震災を直接経験していない世代にも継承していくことを目的として、岩手県内の2つの県立高校と連携して博物館・文化財防災等をテーマとした博学連携事業のモデルケース創出に取り組んだ。東日本大震災における岩手県内最大の文化財被災地である陸前高田市に所在する高田高等学校は、被災を乗り越えて再建された陸前高田市立博物館の学芸員が、現時点において博物館未設置の大槌町に所在する大槌高等学校では岩手県立博物館の学芸員がそれぞれメンターとなり、居住する地域の文化財と震災、復興について生徒が探究するフィールドワークを定期的に（大槌高校は月1回、高田高校は隔週）実施した。高田高校では所蔵する美術品の修復を手掛けた東京藝術大学大学院土屋裕子教授が学校を訪問し、経過観察の必要や方法に関する特別講義も実施、同地区に所在する他校の美術部員等が聴講を希望し参加するなど、対象校以外への波及効果も見られた。



写真 7. (2)-5 高田高校における土屋先生の特別講座



写真 7. (2)-6 大槌高校生徒の淡路フィールドワーク

② 県外フィールドワーク

探究活動の視野・専門性を広げるとともに、新たなネットワークを構築することを目的として、高田高校生徒は地域の文化財の再生を支えた国立科学博物館と東京藝術大学で、大槌高校生徒はもう一つの大震災被災地である神戸市や淡路市においてフィールドワークに取り組んだ。探究内容を深化・相対化すると同時に、高田高校生徒は訪問した2施設の職員と、大槌高校は訪問先である兵庫県立淡路高等学校や非営利団体1.17希望の架け橋メンバーとの間で、今後の地元での防災活動や文化財の保全等に資する新たな関係性を構築することができた。

③ 共同研究及び普及用パンフレット制作

一連の探究活動の内容を生徒が博物館職員とともに報告書にまとめ、下記のURLで公開した。

【博学連携事業成果報告書】 <https://iwapmus.jp/bousai/548/>

(3) 今後の展望

令和5年度の事業も終盤に差し掛かる中で、令和6年能登半島地震に直面することとなった。改めて日本列島に生きる者、そして国内の博物館等文化施設や文化財等にとって、災害は不可避であるという事実を、年頭から突きつけられる形となった。一方で、東北大学災害科学国際研究所を中心とした、全国版文化遺産防災マップ構築に向けた研究グループからは、発災の約1ヵ月前に岩手県において災害時における運用を想定した訓練が行われていたことの意義を評価していただいている。防災・減災を目標に掲げる取組は、速やかに目に見える形で結実することの方が少なからうとも、いずれ必ずや博物館や文化財等の保全に資するものと信じ、令和4年度から5年度にかけての本プロジェクトで立ち上げられたスキームの下で、東日本大震災被災県からの情報発信とノウハウの共有を継続していきたい。

8 岩手県立博物館友の会

(1) 概要

例年どおり「自然観察会」や「地質観察会」「話のサロン（講演会）」など多彩な事業を実施した。また、令和2年からコロナ禍のため中止していた博物館まつりにおけるボランティア協力も再開した。

会員数は依然として減少傾向にあるが、令和5年度は家族会員・団体会員・終身会員・賛助会員がそれぞれわずかに増加した。

友の会活動は博物館の支援と生涯学習の場としても期待されており、事業内容の厳選と更なる充実が求められている。

(2) 会員数 令和6年3月31日（現在）

令和5年度合計	190件	346人	（令和4年度	189件	336人）
一般会員	114件	114人	（令和4年度	116件	116人）
家族会員	55件	181人	（令和4年度	54件	173人）
小中高会員	0件	0人	（令和4年度	0件	0人）
終身会員	1人	22人	（令和4年度	1人	21人）
賛助会員	13件	22口	（令和4年度	12件	20口）
団体会員	7件	7人	（令和4年度	5件	5人）

(3) 主催事業

ア. 現地見学会

計画せず

イ. 野外観察会

(ア) 第1回「自然観察会」博物館行事に参加

「湿地の生き物を観察」

5月7日（日） 参加者 16名

講師 博物館学芸員

(イ) 第1回「地質観察会」博物館行事に参加

「大船渡市の石炭紀の生物を見る」

7月2日（日） 参加者 36名

講師 博物館学芸員

(ウ) 第2回「自然観察会」博物館行事に参加

「初夏の生き物観察」

7月17日（月・祝） 参加者 23名

講師 博物館研究協力員 千葉武勝氏 ほか

- (エ) 第2回地質観察会 博物館行事に参加
「一戸町根反川流域の珪化木をみる」
10月29日(日) 参加者19名
講師 杉山了三氏(県立盛岡第二高等学校非常勤講師)ほか

ウ. 話のサロン

- (ア) 第1回「宮沢賢治と東山」
5月20日(土) 参加者20名
講師 藤野正孝氏(元・石と賢治のミュージアム館長)

エ. 会報発行等

- (ア) 「友の会会報」発行(A4判8頁、300部)
年3回発行(No.127~129) (4.9.2の各月)
(イ) 「友の会通信」発行(A4判両面刷り2頁、300部)
令和5年度は発行せず
(ウ) 「岩手県立博物館だより」発送
年4回発送 (No.177~180) (6.9.12.3の各月)
(エ) 「岩手県立博物館行事案内」発送
年2回発送 (4.9の各月)

オ. 博物館事業への協力

- 「博物館まつり」への協力
10月8日(日) 参加者15名

9 博物館利用者入館状況

開館以来の入館者数（総利用人数）

年 度	総 利 用 人 数				開館 日数	1日平均 利用人員
	一 般	高・学生	小中学生	計		
昭55	95,469	6,563	22,960	124,992	146	856
昭56	145,756	10,908	50,621	207,285	298	696
昭57	106,400	8,673	44,210	159,283	297	536
昭58	87,531	8,903	34,405	130,839	298	439
昭59	81,247	8,451	36,357	126,055	299	422
昭60	78,701	10,825	36,703	126,229	297	425
昭61	69,226	9,765	37,551	116,542	298	391
昭62	65,570	9,500	40,731	115,801	299	387
昭63	58,908	9,526	36,922	105,356	296	356
平元	56,379	11,139	37,960	105,478	297	355
平2	65,021	11,049	34,432	110,502	299	370
平3	60,880	11,917	30,926	103,723	298	348
平4	55,309	10,793	28,354	94,456	298	317
平5	98,842	9,995	32,034	140,871	298	473
平6	42,164	6,246	19,460	67,870	297	229
平7	52,296	5,546	19,038	76,880	298	258
平8	44,719	4,855	16,773	66,347	297	223
平9	34,682	4,123	14,435	53,240	289	184
平10	43,966	4,980	12,669	61,615	298	207
平11	26,762	4,576	9,997	41,335	298	139
平12	24,315	3,624	12,175	40,114	297	135
平13	24,436	2,780	11,709	38,925	300	130
平14	28,859	2,219	12,281	43,359	297	146
平15	23,742	1,852	11,741	37,335	298	125
平16	27,149	1,337	10,099	38,585	297	130
平17	39,795	2,090	12,081	53,966	299	180
平18	23,947	1,644	12,649	38,240	303	126
平19	24,473	1,515	13,221	39,209	304	129
平20	25,341	837	14,905	41,083	302	136
平21	25,010	1,279	15,051	41,340	300	138
平22	23,510	1,293	11,276	36,079	292	124
平23	16,021	1,018	13,604	30,643	301	102
平24	21,069	1,027	15,309	37,405	302	124
平25	25,006	960	18,244	44,210	303	146
平26	19,181	1,227	12,438	32,846	303	108
平27	24,048	1,605	14,605	40,258	302	133
平28	26,620	1,417	16,931	44,968	304	148
平29	31,074	1,631	17,614	50,319	303	166
平30	27,889	1,419	18,575	47,883	304	158
令元	27,743	1,399	18,097	47,239	303	156
令2	12,384	1,014	9,101	22,499	291	77
令3	16,292	1,091	10,909	28,292	282	100
令4	18,868	1,110	11,639	31,617	302	105
令5	44,829	1,047	29,320	75,196	306	246
総 計	1,971,429	204,768	940,112	3,116,309	12,990	-
平 均	44,805	4,654	21,366	70,825	295	240

※ 令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で4/25から5/6まで臨時休館
令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で8/16から9/17まで臨時休館

令和5年度月別入館者数

区分 月	総利用人数				開館日数	1日平均 利用人員
	一般	高・学生	小中学生	計		
4	1,481	49	629	2,159	26	83.0
5	2,350	101	1,138	3,589	27	132.9
6	1,645	73	1,245	2,963	26	114.0
7	2,263	128	1,197	3,588	27	132.9
8	3,235	252	1,871	5,358	29	184.8
9	976	48	803	1,827	17	107.5
10	2,210	63	1,172	3,445	26	132.5
11	2,535	47	749	3,331	26	128.1
12	3,554	38	2,532	6,124	24	255.2
1	8,523	19	6,598	15,140	26	582.3
2	12,426	164	8,966	21,556	25	862.2
3	3,631	65	2,420	6,116	27	226.5
計	44,829	1,047	29,320	75,196	306	245.7

開館以来の入館者数（利用区分別）

区分 年度	個人利用				団体利用				免除利用			
	一般	高・学生	小中学生	計	一般	高・学生	小中学生	計	一般	高・学生	小中学生	計
昭55	69,259	4,275	16,657	90,191	24,506	465	2,036	27,007	1,704	1,823	4,267	7,794
昭56	87,659	5,233	21,762	114,654	54,724	637	4,458	59,819	3,373	5,038	24,401	32,812
昭57	66,727	3,275	16,722	86,724	35,538	648	3,498	39,684	4,135	4,750	23,990	32,875
昭58	51,058	2,348	11,723	65,129	33,072	775	2,743	36,590	3,401	5,780	19,939	29,120
昭59	48,286	2,195	11,338	61,819	28,982	635	2,378	31,995	3,979	5,621	22,641	32,241
昭60	46,054	2,137	10,007	58,198	29,308	411	2,104	31,823	3,339	8,277	24,592	36,208
昭61	39,516	1,911	8,830	50,257	25,888	445	2,010	28,343	3,822	7,409	26,711	37,942
昭62	39,761	1,803	8,647	50,211	22,645	339	1,860	24,844	3,164	7,358	30,224	40,746
昭63	37,362	1,910	8,018	47,290	18,817	551	2,155	21,523	2,729	7,065	26,749	36,543
平元	34,617	1,866	7,386	43,869	18,465	208	1,224	19,897	3,297	9,065	29,350	41,712
平2	38,272	2,034	8,334	48,640	21,014	827	1,046	22,887	5,735	8,188	25,052	38,975
平3	35,073	1,851	6,993	43,917	18,810	1,026	2,031	21,867	6,997	9,040	21,902	37,939
平4	33,581	1,743	6,735	42,059	15,239	1,423	1,190	17,852	6,489	7,627	20,429	34,545
平5	36,726	2,018	8,406	47,150	10,300	844	1,197	12,341	51,816	7,133	22,431	81,380
平6	26,121	1,415	5,588	33,124	9,112	755	673	10,540	6,931	4,076	13,199	24,206
平7	30,654	1,768	5,980	38,402	9,193	947	610	10,750	12,449	2,831	12,448	27,728
平8	25,328	1,464	4,674	31,466	7,597	559	593	8,749	11,794	2,832	11,506	26,132
平9	21,204	1,463	4,277	26,944	4,955	314	483	5,752	8,523	2,346	9,675	20,544
平10	20,459	1,211	4,189	25,859	6,477	749	276	7,502	17,030	3,020	8,204	28,254
平11	15,532	928	4,055	20,515	4,808	207	292	5,307	6,422	3,441	5,650	15,513
平12	14,262	1,149	4,564	19,975	4,174	299	184	4,657	5,879	2,176	7,427	15,482
平13	12,301	833	3,548	16,682	6,491	42	213	6,746	5,644	1,905	7,948	15,497
平14	18,160	1,012	6,704	25,876	4,147	208	362	4,717	6,552	999	5,215	12,766
平15	13,957	676	5,335	19,968	2,660	60	348	3,068	7,125	1,116	6,058	14,299
平16	13,897	661	4,033	18,591	3,850	138	363	4,351	9,402	538	5,703	15,643
平17	26,603	1,164	6,935	34,702	3,417	128	218	3,763	9,775	798	4,928	15,501
平18	14,019	666	7,102	21,787	1,479	298	335	2,112	8,449	680	5,212	14,341
平19	14,436	622	7,226	22,284	1,739	119	381	2,239	8,298	774	5,614	14,686
平20	14,361	512	6,975	21,848	1,822	71	320	2,213	9,158	254	7,610	17,022
平21	12,914	547	7,055	20,516	1,516	82	374	1,972	10,580	650	7,622	18,852

区分 年度	個人利用				団体利用				免除利用			
	一般	高・学生	小中学生	計	一般	高・学生	小中学生	計	一般	高・学生	小中学生	計
平22	14,016	634	6,448	21,098	1,536	443	286	2,265	7,958	216	4,542	12,716
平23	8,833	374	6,135	15,342	830	110	806	1,746	6,358	534	6,663	13,555
平24	12,603	458	7,437	20,498	1,084	251	521	1,856	7,382	318	7,351	15,051
平25	14,799	532	9,106	24,437	1,169	230	638	2,037	9,038	198	8,500	17,736
平26	10,928	538	6,218	17,684	861	247	104	1,212	7,392	442	6,116	13,950
平27	15,213	716	8,190	24,119	880	130	228	1,238	7,955	759	6,187	14,901
平28	17,703	687	10,974	29,364	967	192	128	1,287	7,950	538	5,829	14,317
平29	20,101	945	10,266	31,312	1213	281	333	1,827	9,760	405	7,015	17,180
平30	18,504	685	11,867	31,056	696	98	244	1,038	8,689	636	6,464	15,789
令元	17,592	805	10,244	28,641	578	29	157	764	9,573	565	7,696	17,834
令2	9,091	522	5,844	15,457	116	116	161	393	3,177	376	3,096	6,649
令3	11,975	679	7,408	20,062	176	42	16	234	4,141	370	3,485	7,996
令4	14,100	884	8,363	23,347	201	24	131	356	4,567	202	3,145	7,914
令5	37,305	730	24,315	62,350	628	13	137	778	6,896	304	4,868	12,068
総計	1,180,922	59,879	372,613	1,613,414	441,680	16,416	39,845	497,941	348,827	128,473	527,654	1,004,954
平均	26,839	1,361	8,468	36,669	10,038	373	906	11,317	7,928	2,920	11,992	22,840

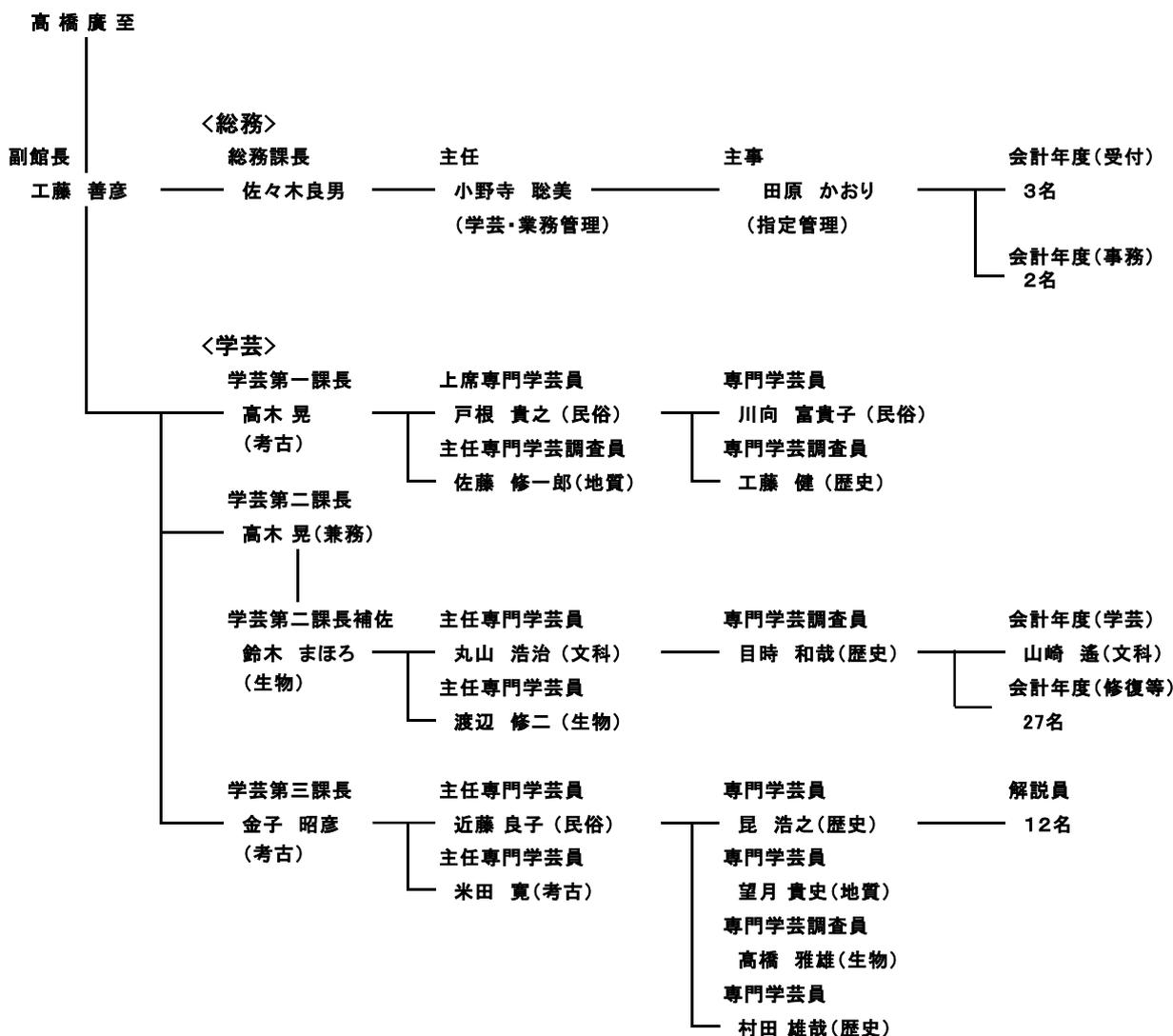
令和5年度月別入館者数（利用区分別）

区分 月	個人利用				団体利用				免除利用			
	一般	高・学生	小中学生	計	一般	高・学生	小中学生	計	一般	高・学生	小中学生	計
4	1,126	49	578	1,753	0	0	0	0	355	0	51	406
5	1,693	97	796	2,586	141	0	23	164	516	4	319	839
6	1,030	48	445	1,523	174	13	1	188	441	12	799	1,252
7	1,777	58	955	2,790	98	0	50	148	388	70	192	650
8	2,759	174	1,685	4,618	45	0	63	108	431	78	123	632
9	686	47	306	1,039	26	0	0	26	264	1	497	762
10	1,408	48	644	2,100	33	0	0	33	769	15	528	1,312
11	1,205	45	466	1,716	91	0	0	91	1,239	2	283	1,524
12	3,058	38	2,153	5,249	0	0	0	0	496	0	379	875
1	7,896	19	5,965	13,880	0	0	0	0	627	0	633	1,260
2	11,463	43	8,163	19,669	20	0	0	20	943	121	803	1,867
3	3,204	64	2,159	5,427	0	0	0	0	427	1	261	689
計	37,305	730	24,315	62,350	628	13	137	778	6,896	304	4,868	12,068

10 令和5年度公益財団法人岩手県文化振興事業団博物館組織

令和5年4月1日現在

館長(県立博物館館長兼任)



学芸部門職員の詳細別人員

地質	考古	歴史(古美術)	民俗	生物	文化財科学	計
2人	3人	4(1)人	3人	3人	2人	17人

1 1 岩手県立博物館使命書

(平成20年3月25日制定)

私たち岩手県立博物館は、岩手県が誇る豊かな自然史及び文化史に関する資料と情報を収集保管して、調査研究によりその資料価値を見出し、成果を展示や教育普及などの事業で公開する全県的な機関として、教育・学術・文化の振興・発展に大きく貢献してきました。

近年の地球環境保全に対する危機意識の高まり、急速に進む国際化及び生活様式の多様化といった社会情勢の変化の中で、県民の学習意欲に応える生涯学習中核機関として、より一層充実した役割を果たすことが期待されています。

このため、私たち岩手県立博物館は、5億年にわたる大地、多様な生物相、縄文・平泉などの歴史の変遷、地域性豊かで多彩な民俗事象を背景とし、広大な岩手の地域的特性を活かしながら新たな価値の発見に努め、県民の要請に応じて県民とともに歩む博物館としての機能を強化し、新たな地域文化の創造を目指して博物館の使命を次のようにまとめました。

1 ユニークで多彩な資料の蓄積とその活用に基づく岩手の自然史・文化史の拠点

- (1) 岩手県及び関連する地域の自然や人間の営みの証拠となる資料と情報を継続的に収集・整理して適切に保管・管理し、県民共有の知的財産として次世代に確実に継承していきます。
- (2) 収集した自然史・文化史資料と情報について、自らの研究を通して岩手の地域的特性を明らかにするとともに、グローバルな視点に立って資料の価値を新たに見出します。
- (3) ユニークで多彩な質の高い資料とその情報を各種の事業によって公開・活用し、県民の知的欲求を刺激する場を提供します。

2 幅広い交流による知的活動への寄与と新たな地域文化の創造

- (1) さまざまな機関との資料の相互交流を進めながら、県民はもとより国内外に情報を発信し、自然環境や文化遺産の保全を支援して県民の知的活動に寄与することにより、岩手県の教育・学術・文化の振興・発展に貢献していきます。
- (2) 開かれた博物館として県民との積極的な交流を進めながら、自主的な学習の場を提供することにより、県民の生涯学習活動と次世代の育成のための学校教育活動を積極的に支援します。
- (3) 資料を公開・活用する各種の事業について県民の要請に応え、わかりやすく伝える方法を探り、ともに学び、楽しみを分かちあいながら、新たな地域文化の創造と発展に県民とともに取り組んでいきます。

3 社会から託された博物館の役割を実現するための基盤整備

- (1) 使命書に基づいて活動計画を立案し、実績を点検しながら、さらによりよい博物館活動を目指します。
- (2) 社会から託された博物館の役割を積極的に実現するために、機能的で効果的な組織と財務基盤を整備し、優れた人材の育成に努めます。
- (3) 県民が集い、交流・活動し、やすらぎと潤いのある、安全・安心で、清潔な、また来たいと感じてもらえる快適空間を提供し、県民の共有財産である収蔵資料の保管・管理機能の整備を図ります。

12 関係条例・規則等

(1) 博物館条例

昭和55年7月15日 条例第41号

(設置)

第1条 歴史、芸術、民俗等に関する資料の収集、保管、展示等を行い、県民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため、博物館を次のとおり設置する。

名 称	位 置
岩手県立博物館	盛岡市

(指定管理者による管理)

第1条の2 博物館の管理は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項の規定に基づき教育委員会が指定するもの（以下「指定管理者」という。）に行わせる。

(指定管理者が行う業務の範囲)

第1条の3 指定管理者は、この条例の規定により指定管理者が行うこととされた業務のほか、次に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 施設及び設備の維持管理に関する業務
- (2) その他博物館の利用の促進に関する業務

(入館等の許可)

第2条 博物館に入館しようとする者は、指定管理者の許可を受けなければならない。

2 指定管理者は、前項の入館が次の各号のいずれかに該当する場合は、同項の許可をしてはならない。

- (1) 公の秩序又は善良の風俗に反するおそれがあるとき。
- (2) 施設、設備又は資料を汚損し、損傷し、又は亡失するおそれがあるとき。
- (3) その他博物館の管理上適当でないと認めるとき。

3 指定管理者は、博物館の管理上必要があると認めるときは、第1項の許可に条件を付することができる。

第3条 博物館において、館内の資料の撮影、模写、模造等をしようとする者は、教育委員会の許可を受けなければならない。

2 前条第3項の規定は、前項の許可について準用する。この場合において、同条第3項中「指定管理者」とあるのは、「教育委員会」と読み替えるものとする。

(行為の禁止)

第4条 博物館においては、次に掲げる行為をしてはならない。

- (1) 施設、設備又は資料を汚損し、損傷し、又は亡失すること。
- (2) 指定された場所以外の場所にはり紙若しくははり札をし、又は広告を表示すること。
- (3) 静粛を害し、他人に迷惑をかけること。
- (4) 指定された場所以外の場所で喫煙し、又は飲食をすること。
- (5) 立入禁止区域に立ち入ること。

(入館許可の取消し等)

第5条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当する場合は、第2条第1項の許可を受けた者に対し、当該許可を取り消し、その効力を停止し、同条第3項の条件を変更し、又は行為の中止、原状の回復若しくは博物館からの退去を命ずることができる。

- (1) この条例又はこの条例の規定による処分に違反したとき。
- (2) 第2条第3項の条件に違反したとき。
- (3) 偽りその他の不正な手段により第2条第1項の許可を受けたとき。
- (4) 博物館の管理上必要があると認めるとき。
- (5) その他公益上やむを得ない必要が生じたとき。

2 前項の規定は、第3条第1項の許可について準用する。この場合において、前項中「指定管理者」とあるのは「教育委員会」と、「同条第3項」とあり、及び「第2条第3項」とあるのは「第3条第2項において読み替えて準用する第2条第3項」と読み替えるものとする。

(入館料)

第6条 第2条第1項の許可を受けた者（以下「入館者」という。）は、別表に掲げる入館料を納付しなければならない。

2 前項の入館料は、許可の際に徴収する。

(入館料の免除)

第7条 知事は、次の各号のいずれかに該当する場合は、入館料を免除することができる。

- (1) 教育課程に基づく教育活動として、小学校児童、中学校生徒又は高等学校生徒を引率する者が入館するとき。

(2) 身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）第15条第4項の規定により身体障害者手帳の交付を受けている者（15歳未満の者につき、その保護者が身体障害者手帳の交付を受けているときは、当該15歳未満の者）、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第45条第2項の規定により精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者その他規則で定める者が入館するとき。

(3) その他知事が適当と認めるとき。

(入館料の不還付)

第8条 既納の入館料は、還付しない。ただし、次の各号のいずれかに該当する場合は、その全部又は一部を還付することがある。

- (1) 第5条第1項第4号又は第5号の規定に基づき指定管理者が入館の許可を取り消したとき。
- (2) 入館者の責めに帰することができない理由により利用することができなかつたとき。
- (3) その他知事が特別の理由があると認めるとき。

(損害賠償等)

第9条 施設又は設備を汚損し、損傷し、又は亡失した者は、指定管理者の指示するところにより原状に回復し、又は損害を賠償しなければならない。

2 前項の規定は、資料について準用する。この場合において、同項中「指定管理者」とあるのは「知事」と読み替えるものとする。

(博物館協議会)

第10条 博物館法（昭和26年法律第285号）第23条第1項の規定に基づき、博物館に岩手県立博物館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

2 協議会は、委員15人以内で組織し、委員は次に掲げる者のうちから任命する。

- (1) 学校教育の関係者
- (2) 社会教育の関係者
- (3) 家庭教育の向上に資する活動を行う者
- (4) 学識経験のある者

3 委員の任期は、2年とする。ただし、欠員が生じた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(補則)

第11条 この条例の実施に関し、第6条から第9条までについて必要な事項は知事が、博物館の管理その他について必要な事項は教育委員会が定める。

附 則

この条例は、令和5年4月1日から施行する。

別表（第6条関係）

区 分	個 人	20人以上の団体
学生	150円	1人につき80円
一般	330円	1人につき150円

備考1 特別な資料を展示した場合において、その資料を観覧しようとする者については、特別な資料の展示を行うのに要した費用を勘案してその都度知事が定める額（以下「特別入館料」という。）を別に徴収する。

2 幼児に係る入館料並びに小学校児童、中学校生徒及び高等学校生徒に係る入館料（特別入館料を除く。）は、無料とする。

(2) 博物館条例施行規則

昭和55年9月26日 規則第78号

(趣旨)

第1条 この規則は、博物館条例（昭和55年岩手県条例第41号。以下「条例」という。）の実施に関し必要な事項を定めるものとする。

(領収書)

第2条 条例第6条第1項に規定する入館料の領収書については、岩手県立博物館管理運営規則（昭和55年岩手県教育委員会規則第9号）第4条第2項に規定する入館券をもってこれに代えるものとする。

(条例第7条の規則で定める者)

第3条 条例第7条第2号の規則で定める者は、次のとおりとする。

- (1) 知事の定めるところにより療育手帳の交付を受けている者（知的障害者又は知的障害児につき、その保護者が療育手帳の交付を受けている時は、当該知的障害者又は知的障害児）及びその介護を行う者
- (2) 条例第7条第2号の身体障害者手帳の交付を受けている者（15歳未満の者につき、その保護者が身体障害者手帳の交付を受けているときは、当該15歳未満の者）若しくは精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者

又は前号の療育手帳の交付を受けている者（知的障害者又は知的障害児につき、その保護者が療育手帳の交付を受けているときは、当該知的障害者又は知的障害児）と同等以上の障害があると知事が認める者及びこれらの介護を行う者

- (3) 条例第7条第2号の身体障害者手帳の交付を受けている者（15歳未満の者につき、その保護者が身体障害者手帳の交付を受けているときは、当該15歳未満の者）又は精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者の介護を行う者

（入館料の免除及び還付）

第4条 条例第7条又は第8条の規定により入館料の免除又は還付を受けようとする者（以下「申請者」という。）は、別に定める様式による入館料免除（還付）申請書を知事に提出しなければならない。ただし、知事が別に定める場合にあつては、この限りではない。

- 2 知事は、前項の入館料免除（還付）申請書を受理したときは、その内容を審査し、入館料を免除し、又は還付することを適当と認めたときは、別に定める様式による入館料免除（還付）承認書を申請者に交付するものとする。

附 則（平成21年3月13日規則第7号）

- 1 この規則は、平成21年から4月1日から施行する。
- 2 この規則による改正後の県立学校授業料等条例施行規則、学校施設設備基金条例施行規則、高等学校定時制課程及び通信制課程等修学資金貸付条例施行規則、博物館条例施行規則、岩手県に所有権が帰属する埋蔵文化財の取扱いに関する規則及び美術館条例施行規則（以下「県立学校授業料等条例施行規則等」という。）に規定する別に定める様式は、この規則の施行の日以後に提出し、又は交付する申請書等又は通知書について適用し、同日前に提出し、又は交付した申請書等又は通知書についてはなお従前の例による。
- 3 この規則による改正前の県立学校授業料等条例施行規則等に規定する様式による用紙は、当分の間、これを取り繕って使用することができる。

（3）岩手県立博物館管理運営規則

昭和55年9月26日 教育委員会規則第9号

（趣旨）

第1条 この規則は、岩手県立博物館（以下「博物館」という。）の管理運営に関し必要な事項を定めるものとする。

（休館日）

第2条 博物館の休館日は、次のとおりとする。

- (1) 月曜日（国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「休日」という。）に当たるときは、その翌日以後の日であつて当該休日に最も近い休日でない日）
- (2) 資料整理日（資料の整理、点検等を行う9月1日から9月10日までの10日間をいう。）
- (3) 12月29日から翌年1月3日まで

2 博物館条例（昭和55年岩手県条例第41号。以下「条例」という。）第1条の2に規定する指定管理者（以下「指定管理者」という。）は、必要があると認めるときは、博物館の館長（以下「博物館長」という。）の承認を得て、前項の休館日以外の日において臨時に休館し、又は同項の休館日において臨時に開館することができる。

（開館時間）

第3条 博物館の開館時間は、午前9時30分から午後4時30分までとする。ただし、入館時間は、午後4時までとする。

- 2 指定管理者は、必要があると認めるときは、博物館長の承認を得て、前項の開館時間及び入館時間を臨時に変更することができる。

（入館許可の申請）

第4条 条例第2条第1項の規定による許可を受けようとする者は、指定管理者が定めるところにより申請しなければならない。

- 2 指定管理者は、条例第2条第1項の規定による許可をしたときは、指定管理者が別に定める入館券を交付するものとする。

（撮影、貸出等の許可）

第5条 条例第3条第1項の規定による許可を受けようとする者は、別に定める様式による資料撮影等許可（変更）申請書又は別に定める様式による資料貸出許可（変更）申請書を博物館長に提出しなければならない。

- 2 博物館長は、条例第3条第1項の規定による許可をしたときは、別に定める様式による資料撮影等許可書又は別に定める様式による資料貸出許可書を交付するものとする。
- 3 資料の貸出期間は、30日以内とする。ただし、博物館長が特に必要と認めるときは、その期間を延長することができる。
- 4 資料の貸出しを受けた者が、当該資料を汚損し、損傷し、又は亡失したときは、速やかに、別に定める様式による資

料汚損（損傷、亡失）報告書を博物館長に提出し、その指示を受けなければならない。

（汚損等の届出）

第6条 施設又は設備を汚損し、損傷し、又は亡失した者は、速やかに、指定管理者に届け出なければならない。

2 前項の規定は、資料について準用する。この場合において、同項中「指定管理者」とあるのは、「博物館長」と読み替えるものとする。

（協議会の所掌）

第7条 条例第10条の規定による岩手県立博物館協議会（以下「協議会」という。）は、博物館長の諮問に応じ、次に掲げる事項に関し、調査審議するとともに、博物館長に対して意見を述べることができる。

- (1) 資料の収集、保管、展示等に関する事。
- (2) 資料の調査研究、利用等に関する事。
- (3) その他博物館の運営に関する事。

（会長）

第8条 協議会に会長を置き、委員の互選とする。

- 2 会長は、会務を総理し、会議の議長となる。
- 3 会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、あらかじめ会長が指名する委員が、その職務を代理する。

（会議）

第9条 協議会は、会長が招集する。

- 2 協議会は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。
- 3 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

（補則）

第10条 この規則の実施に関し必要な事項は、博物館長が定める。

附 則（平成21年3月6日教育委員会規則第2号）

- 1 この規則は、平成21年から4月1日から施行する。
- 2 この規則による改正後の岩手県教育教員免許状に関する規則、学校教育法施行細則、岩手県立高等学校の管理運営に関する規則、博物館の登録に関する規則、教育財産管理規則、岩手県文化財保護条例施行規則、岩手県立図書館管理運営規則、岩手県立博物館管理運営規則、岩手県立総合教育センター宿泊施設の利用に関する規則、技能教育施設の指定等の手続きに関する規則、岩手県教育委員会が行う聴聞の手続に関する規則、岩手県教育委員会の所管に属する公益信託の引受けの許可及び監督に関する規則、岩手県

教育委員会が保有する個人情報の保護等に関する規則、岩手県立美術館管理運営規則及び岩手県教育委員会行政組織規則の一部を改正する等の規則附則第3項の規定によりなおその効力を有することとされる廃止前の岩手県教育委員会の所管に属する公益法人の設立及び監督に関する規則（以下「岩手県教育職員免許状に関する規則等」という。）

に規定する別に定める様式は、この規則の施行の日以後に提出し、又は交付する申請書等又は通知書等について適用し、同日前に提出し、又は交付した申請書等又は通知書等については、なお従前の例による。

- 3 この規則による改正前の岩手県教職員免許状に関する規則等に規定する様式による用紙は、当分の間、これを取り繕って使用することができる。

令和5年度岩手県立博物館年報

令和6年6月1日

編集：岩手県立博物館

〒020-0102 盛岡市上田字松屋敷 34

Tel 019-661-2831 Fax 019-665-1214

発行：公益財団法人岩手県文化振興事業団

〒020-0023 盛岡市内丸 13-1

Tel 019-654-2235